

県民アンケートの調査結果について

目次

1. 実施概要	1
1.1 実施概要	1
1.2 設問項目	3
2. 結果概要	9
2.1 回答者の概要【質問1・質問2】	9
2.2 普段の外出【質問3】	18
2.3 公共交通の利用状況【質問4】	50
2.3 公共交通の利用満足度【質問5】	66
2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】	71
2.5 スマートフォン等を使って利用したことがある公共交通サービス【質問7】	79
2.6 今後、地域公共交通を維持するために必要だと思う取組み【質問8】	80

1.1 実施概要

アンケート結果の特徴

○自動車の運転に対する考え方

- ・80歳以上でも運転できると考える人が、64歳までは約1割、65～74歳は約4割、75歳以上では9割近くとなっており、高齢になるほどより高齢まで運転が可能と考える割合が高い。
- ・運転をやめた場合の外出頻度は、約9割が今と比べて減ると考えているが、運転をやめた場合の代替りの交通手段としては、若い世代は鉄道やバス、自転車や徒歩が多く、高齢者は家族等による送迎やタクシーが多い。

○移動実態（普段の外出）

【全体的な傾向】

- ・移動の目的・居住地・行き先によらず、自家用車による移動が多数を占め、自動車が日常生活に欠かせない移動手段として定着している。
- ・20歳～74歳までは自家用車を自分で運転して移動する割合が高く、10歳代・75歳以上は送迎による移動が多くなっている。
- ・利用目的によらず、鉄道・路線バス・コミュニティバスの利用割合は総じて低いが、75歳以上では他年代に比べて高くなる傾向がみられる。

【通勤・通学】

- ・通勤・通学先は、在住市町村内が約6割を占め、特に紀南では約7割に近い。
- ・自家用車を自ら運転しての移動が約8割で、高齢になるほどその割合は下がるが、軽自動車の利用は75歳以上でも4割を超えている。
- ・10歳代は鉄道、路線バス、自転車、送迎、75歳以上では軽自動車、送迎が多い。また、利用割合は低いが、75歳以上では、コミュニティバス、タクシーの利用割合が他年代に比べて高い。
- ・通勤・通学先が在住市町村内または和歌山県内の場合は、自動車利用が最も多く、和歌山県外の場合は、鉄道利用が最も多い。

【食料品や日用品の買い物】

- ・買い物の頻度としては、週に1日以上が約8割、週に3日以上が約5割。65～74歳以上で頻度が高く、こまめに買い物をしている傾向が強い。
- ・居住地域や買い物先によらず、自家用車を自ら運転しての移動が約8割を占める。
- ・10歳代は送迎・自転車・徒歩、75歳以上では軽自動車、送迎が多い。また、利用割合は低いが、75歳以上では、路線バス、コミュニティバス、タクシーの利用割合が他年代に比べて高い。

【医療機関への通院】

- ・通院の頻度としては、全体としては週1日以上が約1割、月1～3日が約6割だが、高齢になるほど頻度が高く、75歳以上では週1日以上が2割超、月1～3日が約7割。
- ・居住地域や通院先によらず、自家用車を自ら運転しての移動が約8割を占める。
- ・75歳以上では送迎、軽自動車に次いで、タクシーの利用が多い。

【娯楽・観光等】

- ・娯楽・観光等の頻度は、高齢になるほど低く、現役世代（20-64歳）では、月に1日以上が7割を超える一方、75歳以上では、娯楽・観光目的での外出がほとんどないが約5割を占める。
- ・居住地域や娯楽・観光の行き先によらず、自家用車による移動が約8割を占める。

【地域間移動の状況】

地域	ブロック	移動の特徴
紀北	①和歌山市	・通勤・通学の約8割、日常の買い物や通院の9割以上、娯楽・観光等の約6割が和歌山市内。
	②岩出市・紀の川市	・通勤・通学は約6割がブロック内で、約2割が和歌山市。 ・買い物は約9割、通院は約8割がブロック内。 ・娯楽・観光等は大阪府、和歌山市が多い（各約3割）。
	③海南市・紀美野町	・通勤・通学は約6割がブロック内で、約3割が和歌山市。 ・買い物、通院は約7割がブロック内で、約1割が和歌山市。 ・娯楽・観光等は約4割が和歌山市。
	④橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	・通勤・通学は約7割がブロック内で、約2割が大阪府。 ・買い物、通院は約9割がブロック内。 ・通勤・通学、買い物、通院のブロック内の移動は、橋本市への移動が中心。 ・娯楽・観光等は5割近くが大阪府。
	<まとめ>	○通勤・通学、買い物、通院といった日常生活の移動については、和歌山市は市内移動が8～9割を占め、その他のブロックもブロック内の移動が多くを占めるが、和歌山市や大阪府への移動も一定程度みられる。
紀中	⑤有田市・有田川町・湯浅町・広川町	・通勤・通学は約8割がブロック内、約1割が和歌山市。 ・買い物は約9割、通院は約8割がブロック内。 ・ブロック内移動については、有田市→有田川町、湯浅町→有田川町・有田市、広川町→湯浅町、有田川町→有田市・湯浅町が多い。
	⑥御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	・通勤・通学は8割、買い物と通院は約9割がブロック内。 ・ブロック内の他市町への移動の割合が約3割と他ブロックに比べて高い。目的によらず、御坊市への移動がほとんどを占め、当該ブロックにおける御坊市の求心力が高い。
	<まとめ>	○日常生活の移動については、ブロック内の移動が8～9割を占め、ブロックや地域をまたぐ移動は少ない。御坊市を含むブロックでは、ブロック内での移動も多く、御坊市への移動が多くなっている。
紀南	⑦田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	・通勤・通学、買い物、通院の9割以上、娯楽・観光等の約6割をブロック内の移動が占める。 ・ブロック内の移動は、目的によらず、田辺市への移動が多くを占めているが、買い物については、田辺市や白浜町から上富田町への移動も多い。
	⑧串本町・古座川町・すさみ町	・通勤・通学、買い物の約8割、通院の約7割がブロック内の移動が占めるが、隣接するブロックとの移動が比較的多く、すさみ町からは田辺市、串本町からは新宮市・田辺市、古座川町からは串本町への移動が多くなっている。
	⑨新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	・通勤・通学の約9割、買い物の約98%、通院の約9割をブロック内の移動が占める。ブロック内の移動は、目的によらず新宮市への移動が多くを占め、当該ブロックにおける新宮市の求心力が高い。
	<まとめ>	○田辺市、新宮市を含むブロックは、両都市がブロックの核となり、日常生活の約9割をブロック内の移動が占めている。間に挟まれる串本町を含むブロックは、ブロック内の移動は7～8割にとどまり、田辺市・新宮市へ移動する割合が高くなっている。

1.1 実施概要

○公共交通の利用実態

【公共交通の利用状況】

- ・日常的に公共交通を利用している割合は、鉄道が約 15%、路線バスが約 6%、コミュニティバス・デマンド交通が約 3%、タクシーが約 6%。
- ・地域による差はあまり見られないが、年齢別にみると、鉄道については 10 歳代、路線バスについては 10 歳代および 75 歳以上で利用する割合が高い。特に鉄道については、10 歳代の約 4 割が通学ではほぼ毎日利用している。
- ・コミュニティバス・デマンド交通、タクシーについては、高齢になるほど利用する割合が高く、タクシーについては、75 歳以上の約 2 割が月に 1 日以上利用している。
- ・また、運転免許非保有者が公共交通を利用する割合が高く、鉄道では約 3 割、路線バス・タクシーでは約 2 割、コミュニティバス・デマンド交通では約 1 割が、月に 1 日以上利用しており、運転免許保有者との差が大きい。
- ・各交通機関の利用者層（年齢層）別の主要な利用目的は、以下のとおり。

利用者層	鉄道	路線バス	コミュニティバス・デマンド交通	タクシー
学生（10 歳代）	通学	通学	(利用少)	(利用少)
現役世代（20-64 歳）	通勤、趣味・娯楽	通勤	通院	観光
前期高齢（65-74 歳）	買い物、観光、趣味・娯楽	買い物、通院	買い物	通院、飲食
後期高齢（75 歳以上）	買い物、通院	買い物、通院	通院、買い物	通院、買い物

【公共交通の満足度】

- ・鉄道：「運行の定時性」「乗務員や駅員の対応」に対する満足度が高く、「運行本数や運行間隔」「待ち時間」に対する満足度が低い。
- ・路線バス・コミバス・デマンド交通：総じて満足度が低く、特に「運行本数や運行間隔」「バス停の待合環境」「バス停での情報提供」「自転車等を停めるバス停周辺スペース」に対する満足度が低い。
- ・タクシー：「運行の安全性」「車内の快適性・清潔性」「乗務員の対応」「速達性（目的地までの速さ）」に対する満足度が高く、「タクシーの拾いやすさ」「運賃」に対する満足度が低い。

【公共交通を利用しない理由】

- ・いずれの交通機関とも、自家用車があるのでその交通機関を利用する必要がないと考える人が 7 割を超えており、利便性の高い自家用車から公共交通への転換を図ることのハードルは高いと考えられる。
- ・路線バス、コミュニティバス・デマンド交通については、「自宅の近くにバス停がない」「自分の行きたい目的地に行く便がない」といった回答が比較的多く、バス停を増やす、ルートを工夫する・新設する等により、バス利用への転換の可能性はある。
- ・タクシーについては、「運賃」との回答が 2 番目に多く、タクシーの運賃施策により、タクシー利用への転換の可能性はある。

【スマートフォン等を使って利用したことのある公共交通のサービス】

- ・時刻表の確認や乗り換えの検索といった確認・検索行為については、半数以上が利用しているが、予約・チケット購入といった決済行為については2割程度にとどまっている。
- ・75歳以上では半数以上がスマートフォンを保有しておらず、各サービスを利用する割合も低い。

○公共交通を維持するために必要だと思う取組み

- ・若い世代はサービス向上（運行本数の増加、快適な待ち合い環境等）、高齢者は運賃施策（バスやタクシーの運賃割引、運転免許返納者に対する利用特典等）、施設や車両のバリアフリー化を求める傾向が強い。

1. 実施概要

1.1 実施概要

実施概要は、次のとおりです。

県内 15,000 世帯へ発送し、宛先不明等による返送を除き、有効発送数は 14,784 世帯で、このうち、7,260 人からの回答を得ました（回収率：49.1%）。このうち、郵送による回答が 6,416、web による回答が 844 となっています。

表 実施概要

項目	概要
対象	高校生以上の和歌山県民（2006(平成 18)年 4 月 2 日生まれ以前）
方法	郵送配布・郵送回収または web による回答
期間	紀北地域：2022(令和 4)年 10 月 28 日発送 2022(令和 4)年 11 月 14 日締切（ポスト投函または web 回答） 紀中地域：2022(令和 4)年 10 月 21 日発送 2022(令和 4)年 11 月 7 日締切（ポスト投函または web 回答） 紀南地域：2022(令和 4)年 10 月 14 日発送 2022(令和 4)年 10 月 31 日締切（ポスト投函または web 回答）
有効配布数	14,784 世帯 ※各市町村別の回収状況は次ページ参照
有効回収数	7,260 通（郵送 6,416、Web844） ※各市町村別の回収状況は次ページ参照
回収率	49.1% ※各市町村別の回収率は次ページ参照
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人属性 ・ 普段の外出状況 ・ 地域公共交通の利用状況 ・ 地域公共交通の満足度 ・ スマートフォン等を使って利用したことがある公共交通サービス ・ 地域公共交通を維持するために必要な取組み

なお、集計・分析を行うための地域・ブロック分類を下記の通り設定しています。

表 地域・ブロック分類

地域	ブロック
紀北	①和歌山市
	②岩出市・紀の川市
	③海南市・紀美野町
	④橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町
紀中	⑤有田市・有田川町・湯浅町・広川町
	⑥御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町
紀南	⑦田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町
	⑧串本町・古座川町・すさみ町
	⑨新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村

1.1 実施概要

※市町村別の配布・回収状況は以下のとおりです。なお、アンケートの集計にあたり、質問1④⑤のお住まいの場所が無回答の方（お住まいの場所が不明）については、集計から除外しています。

《市町村別・地域別の配布・回収結果》

市町村別

地域	市区町村	回収			配布枚数			回収率
		郵送 回収分	web 回答分	合計	当初配布	宛先不明 返信	有効配布	
紀北	和歌山市	746	113	859	1,740	27	1,713	50.1%
紀北	海南市	553	70	623	1,214	23	1,191	52.3%
紀北	橋本市	314	39	353	669	4	665	53.1%
紀中	有田市	317	34	351	730	6	724	48.5%
紀中	御坊市	239	23	262	612	4	608	43.1%
紀南	田辺市	605	98	703	1,564	21	1,543	45.6%
紀南	新宮市	296	34	330	747	22	725	45.5%
紀北	紀の川市	528	81	609	1,217	12	1,205	50.5%
紀北	岩出市	403	68	471	1,117	7	1,110	42.4%
紀北	紀美野町	90	6	96	207	4	203	47.3%
紀北	かつらぎ町	87	12	99	175	2	173	57.2%
紀北	九度山町	19	1	20	42	0	42	47.6%
紀北	高野町	11	1	12	33	0	33	36.4%
紀中	湯浅町	133	19	152	306	8	298	51.0%
紀中	広川町	84	12	96	187	0	187	51.3%
紀中	有田川町	317	40	357	674	6	668	53.4%
紀中	美浜町	67	8	75	179	2	177	42.4%
紀中	日高町	89	10	99	200	2	198	50.0%
紀中	由良町	81	4	85	140	2	138	61.6%
紀中	印南町	96	10	106	201	3	198	53.5%
紀南	みなべ町	119	18	137	264	0	264	51.9%
紀中	日高川町	123	8	131	245	4	241	54.4%
紀南	白浜町	252	23	275	588	13	575	47.8%
紀南	上富田町	169	34	203	442	1	441	46.0%
紀南	すさみ町	48	3	51	107	1	106	48.1%
紀南	那智勝浦町	174	22	196	389	8	381	51.4%
紀南	太地町	26	1	27	77	2	75	36.0%
紀南	古座川町	61	5	66	131	1	130	50.8%
紀南	北山村	9	0	9	11	0	11	81.8%
紀南	串本町	326	43	369	792	31	761	48.5%
不明	不明	34	4	38				
総計	総計	6,416	844	7,260	15,000	216	14,784	49.1%

地域別

地域	回収			配布枚数			回収率
	郵送 回収分	web 回答分	合計	当初配布	宛先不明 返信	有効配布	
紀北	2,751	391	3,142	6,414	79	6,335	49.6%
紀中	1,546	168	1,714	3,474	37	3,437	49.9%
紀南	2,085	281	2,366	5,112	100	5,012	47.2%
不明	34	4	38				
総計	6,416	844	7,260	15,000	216	14,784	49.1%

1.2 設問項目

設問項目は、次のとおりです。

依頼文（※紀南地域配布分。紀中地域は回答期限が11月7日、紀北地域は11月14日に変更）

令和4年10月



和歌山県の地域公共交通に関するアンケートのお願い

日頃から県行政に対しましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このアンケート調査は、本県の将来的な公共交通のあり方を検討するため、みなさまの日常的な移動の現状や、地域公共交通へのお考えなどをお伺いするものです。

また、このアンケート調査は、和歌山県内に在住の方から無作為に15,000名を抽出し実施しており、アンケートの送付に必要な情報は各市町村から提供いただいております。

ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨・目的をご理解いただき、アンケートにご協力いただけますよう、お願い申し上げます。また、ご回答にあたっては、下記に記載した「ご回答にあたっての留意点」をご確認の上、ご回答をお願いいたします。

なお、ご回答いただいた内容は、統計的な分析のみに利用し、目的外に使用することはありません。また、回答者の個人が特定されることもありません。

アンケートのご回答にあたっての留意点

- アンケートの回答に要する時間は概ね10分程度です。
- 本調査票を受け取られた宛名のご本人がご記入ください。ご本人による記入が困難な場合には、ご家族の方などがご本人の考えを聞いたうえで、ご記入ください。
- アンケートへのご回答は、同封の調査票に直接記入いただくか、右のQRコードをスマートフォン等で読み込むことでWEBでのご回答も可能です。
- 質問に対して、該当する選択肢や記入する内容がない場合は、無記入でも結構です。
- 直接記入いただいた方は、同封の返信用封筒に入れ、無記名のまま切手を貼らずにポストにご投函ください。
- ポスト投函締切およびWEB 回答期限は、いずれも**10月31日（月）まで**となります。

↓WEBで回答される方は、
下記よりアクセスしてください。



この調査についての不明なことのお問い合わせ

和歌山県
企画部 地域振興局 総合交通政策課
(和歌山県地域公共交通活性化協議会事務局)

TEL : 073-441-2353
(9時00分から17時45分まで(土、日、祝日を除く))
FAX : 073-441-2340
E-Mail : e0205001@pref.wakayama.lg.jp

《裏面もお読みください。》

1.2 設問項目

《本アンケート調査票に登場する交通関連用語については、下記の説明をお読みください。
(なお、アンケート調査票本文にも同じ説明を記載しています)》

用語	説明	登場箇所
コミュニティバス	市町村が主体となって運行するバス	質問3, 4, 5, 6
デマンド交通	予約した複数の人が1台の車両に乗り合わせる“予約型のバス またはタクシー”	質問3, 4, 5, 6, 8
交通系ICカード	鉄道事業者が発行する電子マネーの総称で、あらかじめカード に現金をチャージすることで、公共交通機関を利用できたり、 買い物の支払いにも利用できるカード	質問4
QRコード決済	スマートフォン等を使ってQRコードを読み込むことにより行 う決済手段	質問4
デジタルチケット	スマートフォン等に表示された画面を提示することにより交通 機関を利用できるチケット	質問4, 8
MaaS (マース)	Mobility as a Service の略で、複数の公共交通や移動サービ スを最適に組み合わせ、移動以外の多様なサービスとも連携し、 一括した検索、予約、決済などを提供するサービス	質問8

《さいごに、和歌山県の地域公共交通に対するご意見、ご要望がございましたら、下記に
ご記入ください。》

※ご記入いただいた場合は、お手数ですが、この用紙も返信用封筒に入れてください。

ご意見記入欄



調査票



和歌山県の地域公共交通に関するアンケート調査票



はじめに、あなたご自身のことについて教えてください。

質問1 あなたの性別、年齢、お住まいなどについてお答えください。【それぞれ〇は1つ】

①性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	4. 回答しない					
②年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳	9. 75歳以上
③職業	1. 会社員	2. 自営業	3. 公務員	4. パート・アルバイト	5. 主婦・主夫	6. 学生	7. 無職	8. その他	
④お住まいの市町村	()市・町・村								
⑤ご自宅の郵便番号	〒 □□□□-□□□□								
⑥世帯構成	1. 一人暮らし	2. 家族と同居(夫婦のみ)	3. 家族と同居(2.以外)	4. その他()					
⑦自動車運転免許	1. 持っている	2. 返納を検討中	3. 返納した	4. 取得したことがない					
⑧外出時の介助の必要性	1. 一人で外出が可能		2. 外出には介助、付き添いが必要						

質問2 現在、自動車運転免許を持っている方のみお答えください。【それぞれ〇は1つ】

①現在の運転状況	1. 日常的に運転している		2. 休日のみ運転している		3. ほとんど運転しない				
②運転に対する意識	1. 運転には自信がある								
	2. 住んでいる市町村内での運転は問題がないが、長距離の運転には自信がない								
	3. 運転には自信がない								
③いつ頃まで運転できると思うか	1. 65歳未満	2. 65～69歳	3. 70～74歳	4. 75～79歳	5. 80～84歳	6. 85～89歳	7. 90歳以上		
④運転をやめた場合の外出頻度	1. 今と比べて増える		2. 今と変わらない			3. 今と比べて減る			
⑤運転をやめた場合の代わりの交通手段	1. 鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する		2. タクシーを利用する						
	3. 家族や近所の人に送迎してもらう		4. 自転車や徒歩で移動する						
	5. 外出するのをあきらめる								
	6. その他()								

→裏面に続きます

1.2 設問項目

次に、普段の外出と公共交通の利用状況について教えてください。

質問3 普段の外出についてお聞きします。

目的ごとの外出の状況について、それぞれ選択肢から当てはまる番号を選び、記入してください。

	通勤・通学	食料品や日用品の買い物	医療機関への通院	娯楽・観光等
①外出頻度 【1つ記入】	()	()	()	()
	1. 週5日以上 4. 月に2~3日	2. 週に3~4日 5. 月に1日	3. 週に1~2日 6. その目的での外出はほとんどない	
②主な行き先 【1つ記入】	()	()	()	()
	1. お住まいの市町村内 3. 大阪府	2. お住まいの市町村外(和歌山県内) 4. 奈良県	5. 三重県	6. その他
③②への移動手段 【最大3つまで記入】	(, ,)	(, ,)	(, ,)	(, ,)
	1. 鉄道 4. デマンド交通 ^(※2) 7. 飛行機 10. 自家用車(軽自動車) 13. 自転車	2. 路線バス 5. 貸切バス・高速バス 8. タクシー 11. 自家用車(自分以外が運転) 14. 徒歩	3. コミュニティバス ^(※1) 6. フェリー 9. 自家用車(普通車) 12. バイク・原付 15. その他	

※1: コミュニティバスとは、市町村が主体となって運行するバスのことです。

※2: デマンド交通とは、予約した複数の人が1台の車両に乗り合わせる「予約型のバスまたはタクシー」のことです。

質問4 以下の公共交通の利用状況についてお聞きします。

交通手段ごとの利用状況について、それぞれ選択肢から当てはまる番号を選び、記入してください。

	鉄道	路線バス	コミュニティバス・ デマンド交通	タクシー
①利用頻度 【1つ記入】	()	()	()	()
	1. 週5日以上 5. 月に1日	2. 週に3~4日 6. ほとんど使わない	3. 週に1~2日 ⇒ 6. を選択した交通手段については質問6へ	4. 月に2~3日
②利用目的 【最も利用するものを 1つ記入】	()	()	()	()
	1. 通勤 6. 飲食 11. その他	2. 通学 7. 観光	3. 買い物 8. 趣味・娯楽	4. 通院 9. 習い事 10. 帰省
③よく利用する時間帯 【あてはまるものを すべて記入】	()	()	()	()
	1. 朝9時まで 4. 15時~18時	2. 9時~正午 5. 18時以降	3. 正午~15時 6. 決まっていない	
④運賃の支払い方法 【あてはまるものを すべて記入】	()	()	()	()
	1. 現金 4. クレジットカード 7. 定期券(紙・磁気式) 10. その他	2. 回数券 5. QRコード決済 ^(※2) 8. 定期券(ICカード式)	3. 交通系ICカード ^(※1) 6. デジタルチケット ^(※3) 9. 定期券(スマートフォン式)	

※1: 交通系ICカードとは、鉄道事業者が発行する電子マネーの総称で、あらかじめカードに現金をチャージすることで、公共交通機関を利用できたり、買い物の支払いにも利用できるカードのことです。

※2: QRコード決済とは、スマートフォン等を使ってQRコードを読み込むことにより行う決済手段のことです。

※3: デジタルチケットとは、スマートフォン等に表示された画面を提示することにより交通機関を利用できるチケットのことです。

質問5 質問4の①で1～5を選んだ方に、各公共交通の満足度についてお聞きします。

①鉄道に関する満足度【それぞれ〇は1つ】

	満足 >>>> 不満		満足 >>>> 不満
普通列車*の本数、運行間隔	5 4 3 2 1	駅の待合施設	5 4 3 2 1
普通列車*の運行時間帯(始発・最終)	5 4 3 2 1	駅のバリアフリー(エレベーター、スロープ等の設備面)	5 4 3 2 1
特急列車の本数、運行間隔	5 4 3 2 1	駅のバリアフリー(音声案内、介助等のサポート面)	5 4 3 2 1
特急列車の運行時間帯(始発・最終)	5 4 3 2 1	駅での情報提供(行き先、遅延案内等)	5 4 3 2 1
運行の定時性(時刻表通りの運行)	5 4 3 2 1	駅周辺の駐車場や駐輪場	5 4 3 2 1
駅での乗り継ぎ(バス等)	5 4 3 2 1	運賃	5 4 3 2 1
待ち時間	5 4 3 2 1	キャッシュレス決済の導入状況	5 4 3 2 1
自宅から駅までの距離	5 4 3 2 1	乗務員や駅員の対応	5 4 3 2 1

*普通列車には、快速、急行を含みます。

②路線バスに関する満足度【それぞれ〇は1つ】

	満足 >>>> 不満		満足 >>>> 不満
運行ルート	5 4 3 2 1	バス停の待合環境(屋根やベンチ)	5 4 3 2 1
自宅からバス停までの距離	5 4 3 2 1	バス停での情報提供(行き先、遅延案内等)	5 4 3 2 1
運行時間帯(始発・最終)	5 4 3 2 1	自転車等を停めるバス停周辺スペース	5 4 3 2 1
運行本数、運行間隔	5 4 3 2 1	乗り降りのしやすさ	5 4 3 2 1
運行の定時性(時刻表通りの運行)	5 4 3 2 1	運賃	5 4 3 2 1
列車への乗り継ぎ	5 4 3 2 1	キャッシュレス決済の導入状況	5 4 3 2 1
待ち時間	5 4 3 2 1	乗務員の対応	5 4 3 2 1

③コミュニティバスやデマンド交通に関する満足度【それぞれ〇は1つ】

	満足 >>>> 不満		満足 >>>> 不満
運行ルート	5 4 3 2 1	停留所の待合環境(屋根やベンチ)	5 4 3 2 1
自宅から停留所までの距離	5 4 3 2 1	停留所での情報提供(行き先、遅延案内等)	5 4 3 2 1
運行時間帯(始発・最終)	5 4 3 2 1	自転車等を停める停留所周辺スペース	5 4 3 2 1
運行曜日	5 4 3 2 1	乗り降りのしやすさ	5 4 3 2 1
運行本数、運行間隔	5 4 3 2 1	運賃	5 4 3 2 1
運行の定時性(時刻表通りの運行)	5 4 3 2 1	キャッシュレス決済の導入状況	5 4 3 2 1
列車への乗り継ぎ	5 4 3 2 1	乗務員の対応	5 4 3 2 1
待ち時間	5 4 3 2 1	予約のしやすさ(デマンド交通)	5 4 3 2 1

④タクシーに関する満足度【それぞれ〇は1つ】

	満足 >>>> 不満		満足 >>>> 不満
運行の安全性(安全運転)	5 4 3 2 1	タクシーの拾いやすさ	5 4 3 2 1
車内の快適性・清潔性	5 4 3 2 1	予約のしやすさ	5 4 3 2 1
乗務員の対応	5 4 3 2 1	キャッシュレス決済の導入状況	5 4 3 2 1
速達性(目的地までの速さ)	5 4 3 2 1	運賃	5 4 3 2 1

→裏面に続きます

1.2 設問項目

質問6 質問4の①で「6.ほとんど使わない」と回答した交通手段について、その交通手段を利用しない理由を下記の選択肢から最大3つ選び、ご記入ください

鉄 道	路線バス	コミュニティバス・ デマンド交通	タクシー
(, ,)	(, ,)	(, ,)	(, ,)
1. 自分の行きたい目的地に行く便がない	2. 利用したい時刻や曜日に利用できない	3. 駅やバス停で待つ時間が長い	4. 自宅の近くに駅やバス停がない
5. 運賃が高い	6. 目的地までの所要時間が長い	7. 自家用車で移動するので利用する必要がない	8. 送迎してくれる人がいるので利用する必要がない
9. バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない	10. 運行ルートや駅、バス停を知らない	11. 利用方法が分からない(乗り方、切符の買い方など)	12. 高齢、ケガ、病気などの理由で利用できない
13. 利用可能な範囲にその交通手段がない	14. 混雑で座れないなど、快適に利用できない	15. 新型コロナなど感染症への感染リスクがある	16. その他

質問7 スマートフォン等を使って利用したことがある公共交通に関するサービスに○を付けてください。【○はいくつでも】

1. 時刻表や路線図の確認	2. 経路、運賃、乗り換え検索
3. 運行情報(車両位置情報、遅延、運休など)の確認	4. 乗車予約、チケット購入
5. キャッシュレス決済による支払	6. 鉄道やバスの会社が提供するアプリ
7. スマートフォン等を所持していない	8. その他 ()

質問8 今後、地域公共交通を維持するために必要だと思う取組みに○を付けてください。【○は最大5つ】

利便性の 向上	1. 鉄道駅施設のバリアフリー化(エレベーターなどの設備整備や介助などのサポート面の充実) 2. 誰もが利用しやすい車両導入の推進(ノンステップバスなど) 3. ICカードなどキャッシュレス決済の普及による地域公共交通の利便性の向上 4. 快適に待つことができる駅やバス停の環境整備 5. 鉄道やバスの運行本数の増加 6. 鉄道とバスなどの乗り継ぎのしやすさを高める取組み 7. 予約した複数の人が1台の車両に乗り合わせる「デマンド交通」の導入、拡大 8. 自動運転など新しい技術を活用したサービスの導入 9. MaaS ^(※) やデジタルチケットなどスマートフォン等で利用できるサービスの導入 10. スマートフォン等で得られる経路や乗り換え情報の充実
経済的な 負担の軽減	11. バスやタクシーの運賃割引制度の充実 12. 運転免許返納者に対する公共交通利用特典(運賃割引など)の付与
利用促進の 意識づくり	13. 公共交通の使い方などを学べる乗り方教室や体験会の開催 14. 公共交通を積極的に利用して、維持していこうと思う住民の意識づくり 15. バス停や駅をきれいにするなど、地域が協力して公共交通への愛着を高める取組み
その他	16. 運転士など地域交通を支える人材の確保、育成 17. その他 ()

※ MaaSとは、Mobility as a Serviceの略で、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせ、移動以外の多様なサービスとも連携し、一括した検索・予約・決済などを提供するサービスのことです。

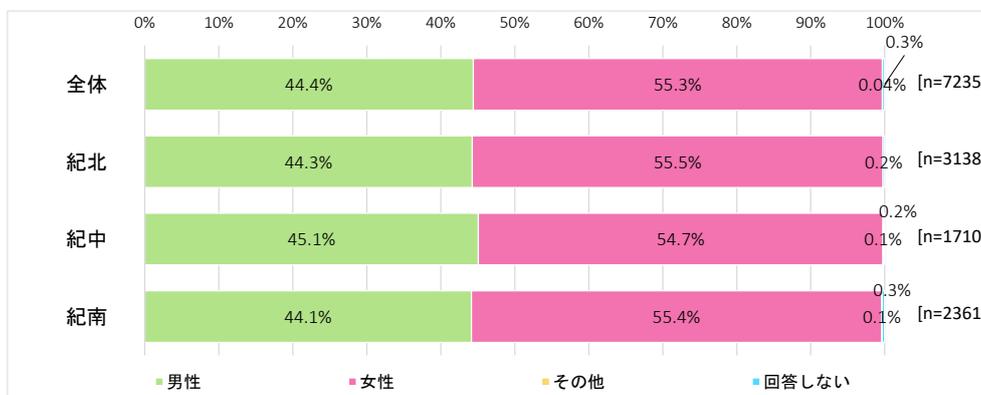
2. 結果概要

2.1 回答者の概要【質問1・質問2】

(1) 属性（性別・年齢等）【質問1】

① 性別

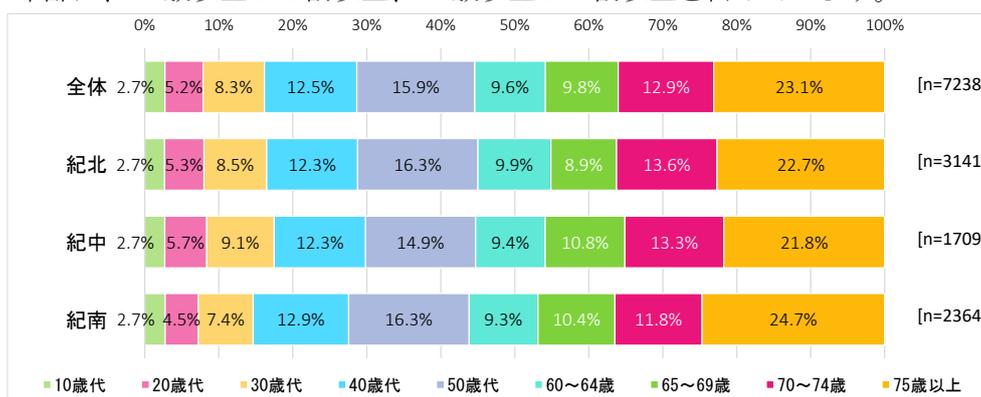
回答者の性別は、女性が約55%を占めています。



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 年齢

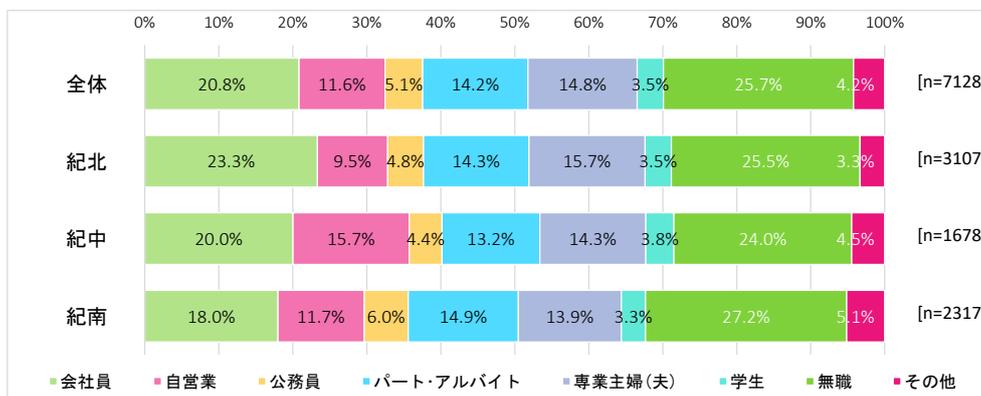
回答者の年齢は、65歳以上が4割以上、75歳以上が2割以上を占めています。



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

③ 職業

回答者の職業は、以下のとおりです。無職が約3割弱で最も多く、次に会社員が約2割となっています。



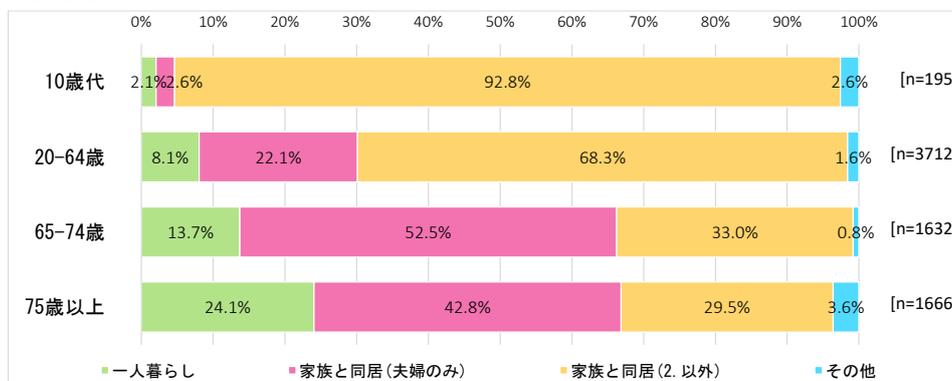
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.1 回答者の概要【質問1・質問2】

④ 世帯構成比

回答者の世帯構成比は、以下のとおりです。65-74歳の約14%、75歳以上の約24%が単身世帯となっています。地域別にみると、75歳以上の単身世帯の割合は、紀南地域が約26%とやや高くなっています。

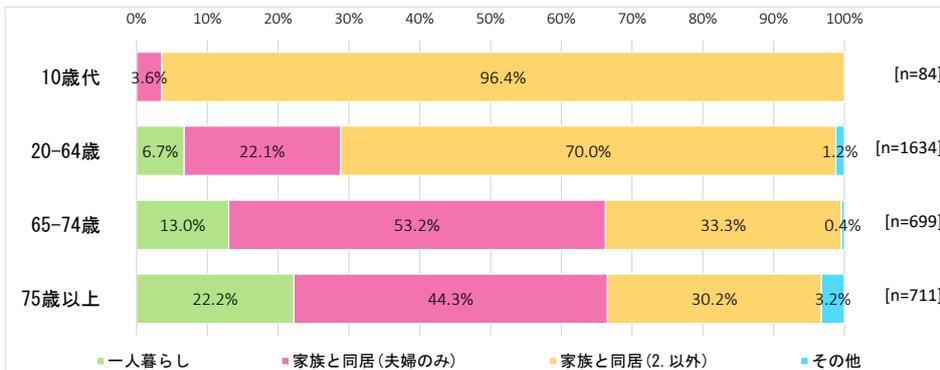
【全県・年齢別】



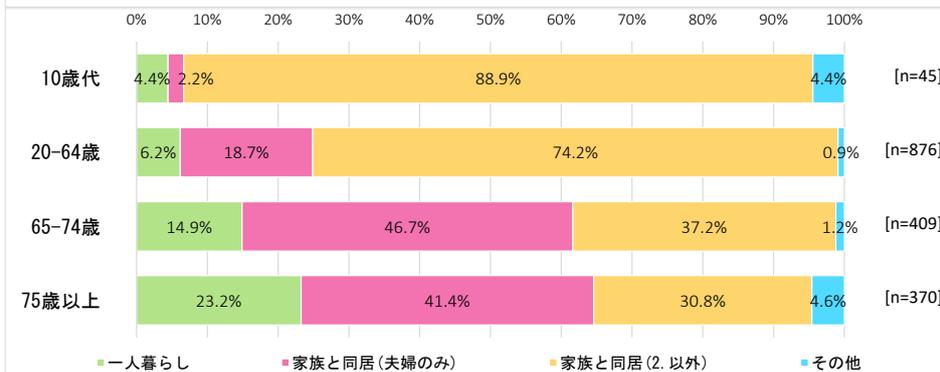
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別・年齢別】

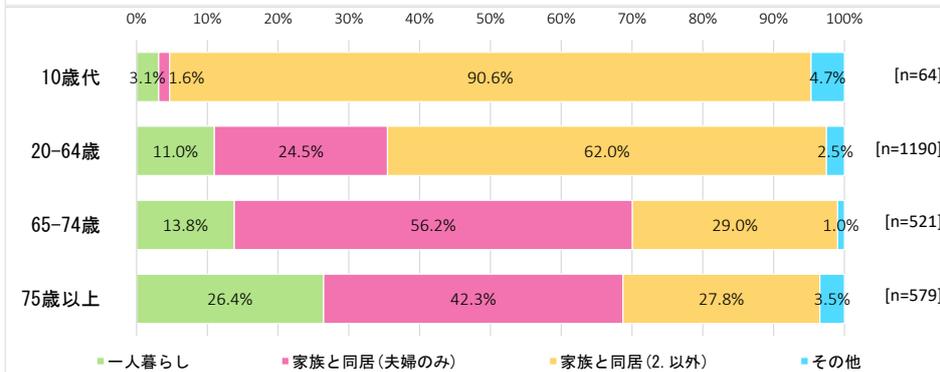
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域

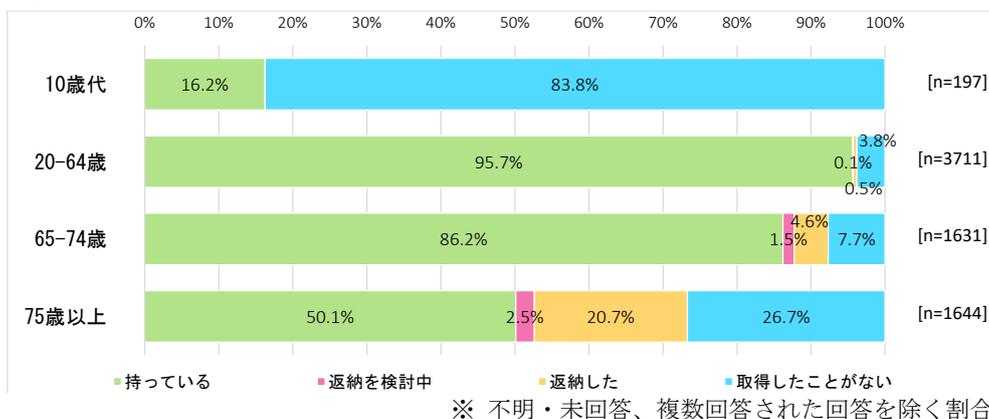


※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

⑤ 自動車運転免許の保有状況

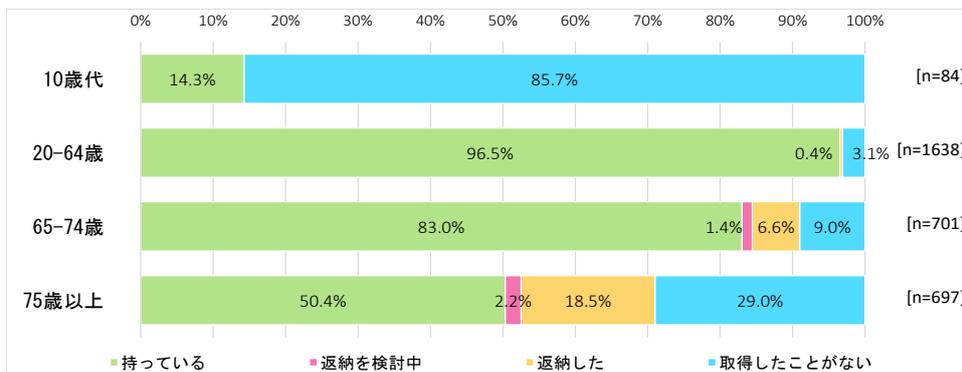
10歳代は約16%、20歳以上は高年齢になるほど保有率が下がり、75歳以上では、約53%（「返納を検討中」を含む）となっています。また、75歳以上では、「返納した」したという方が約21%となっています。

【全県・年齢別】

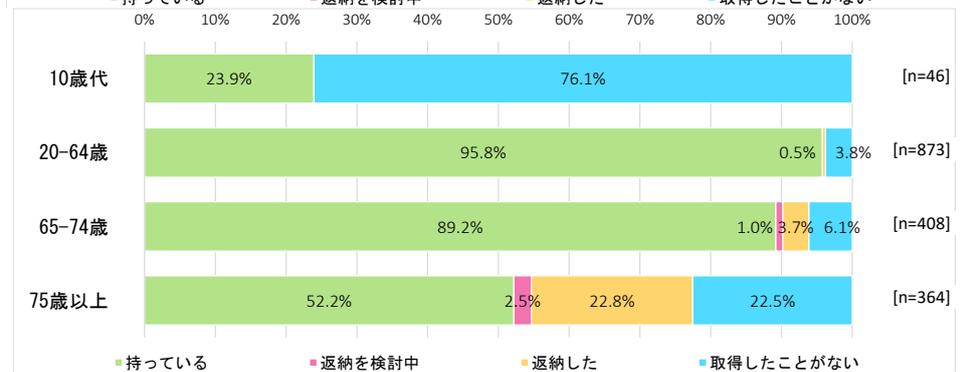


【地域別・年齢別】

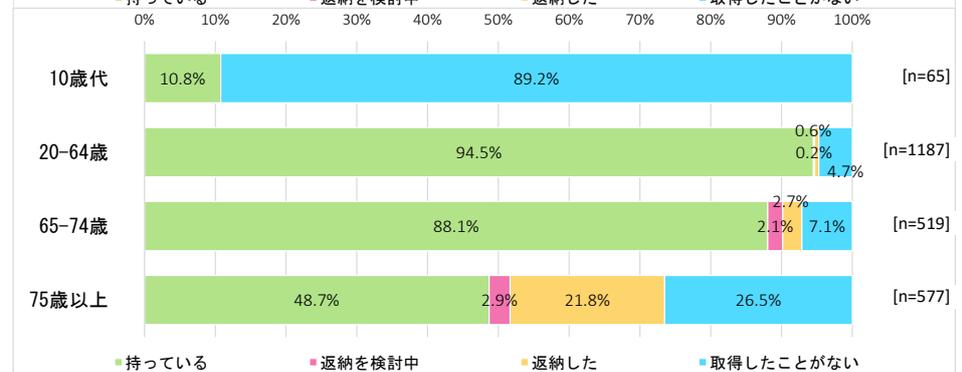
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域



2.1 回答者の概要【質問1・質問2】

⑥ 外出時の介助の必要性

高齢になるほど外出時に介助、付き添いが必要と答える割合が高く、75歳以上では、約22%となっています。

【全県・年齢別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別・年齢別】

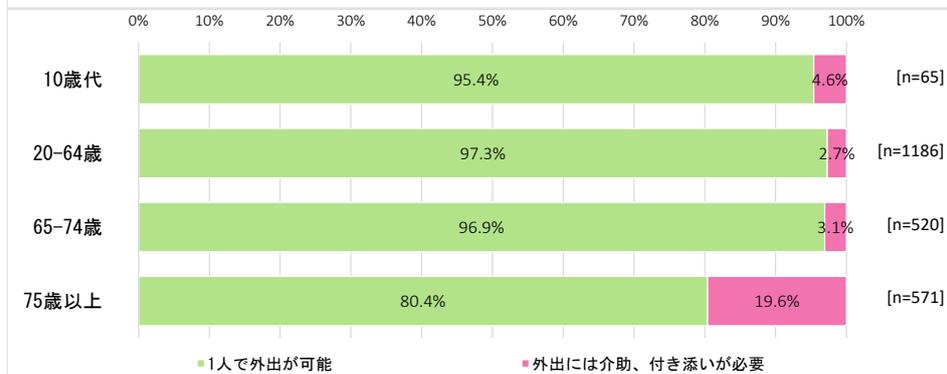
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域



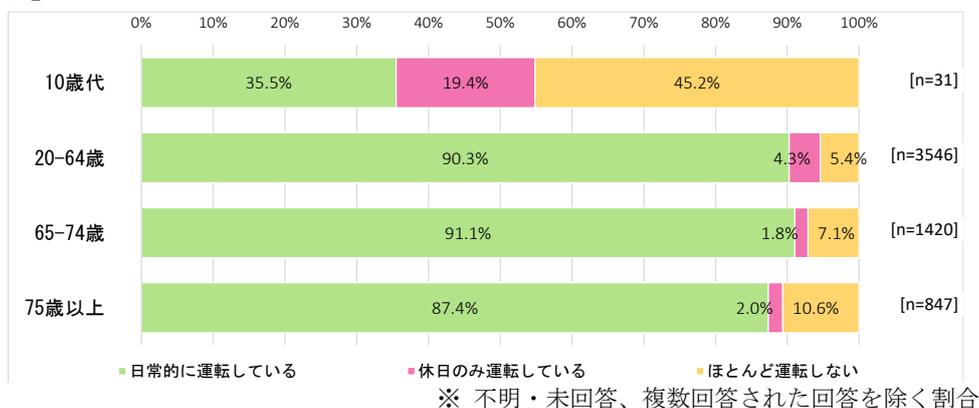
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

(2) 自動車の運転についての考え方【質問2】

① 現在の運転状況

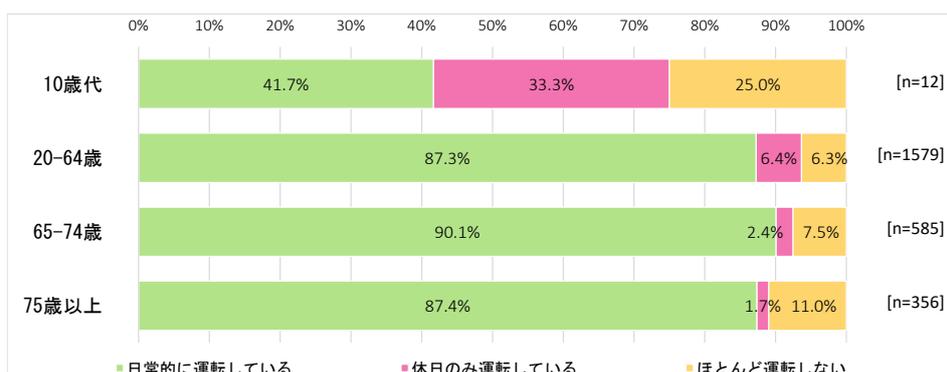
現在、運転免許を保有する方の運転状況については、20歳以上では約9割が休日を含めて日常的に運転していると回答しており、75歳以上でも87%が日常的に運転しています。運転免許を有する10歳代のうち、日常的に運転するのは約36%となっています。

【全県・年齢別】

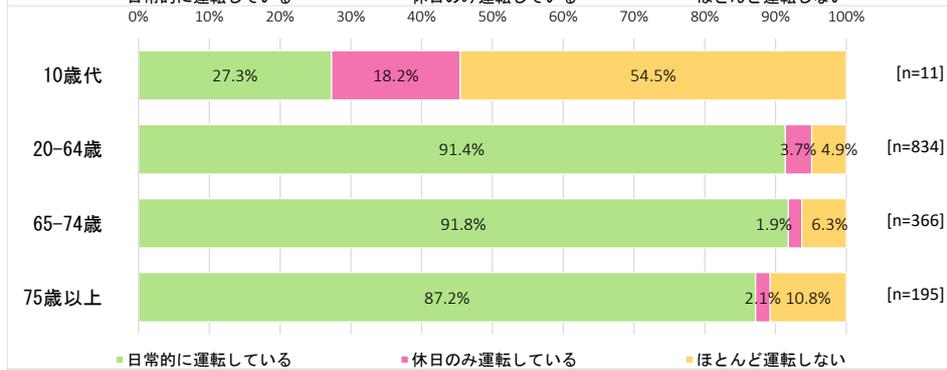


【地域別・年齢別】

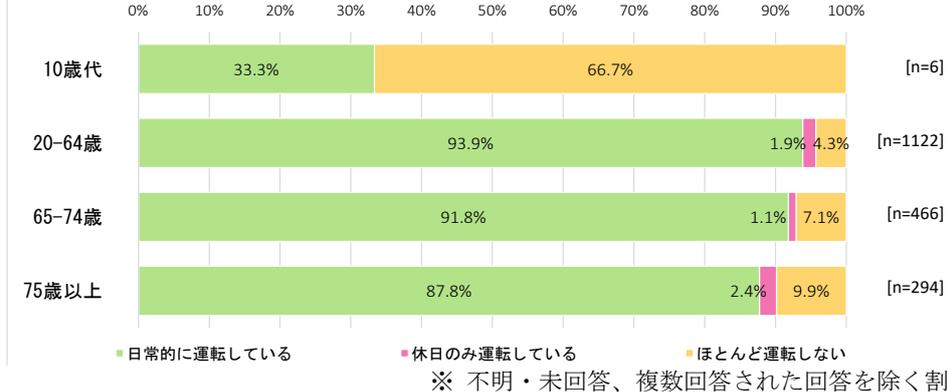
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域

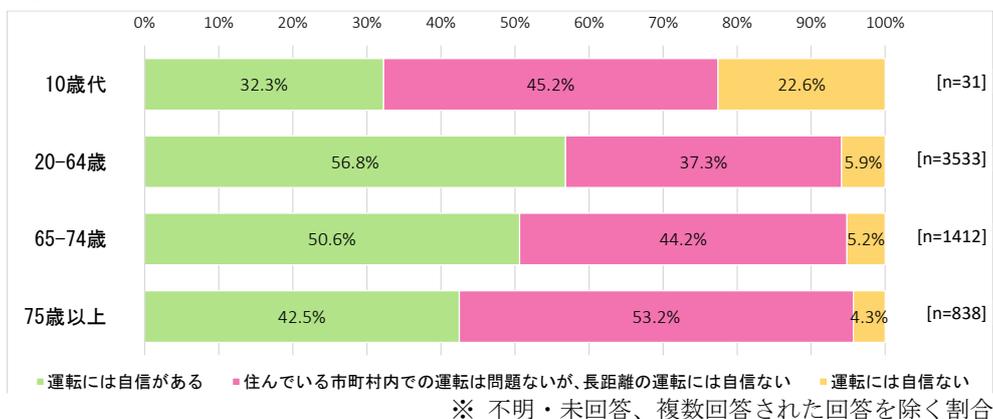


2.1 回答者の概要【質問1・質問2】

② 運転に対する意識

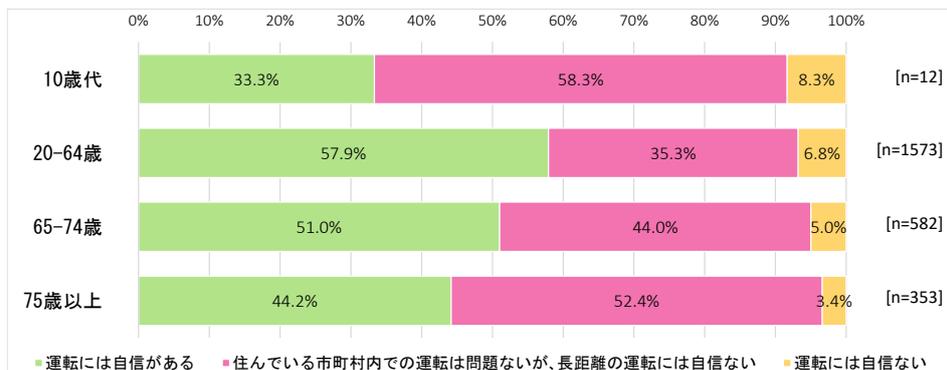
現在、運転免許を保有する方の運転に対する意識（自信）については、高齢になるほど、運転に自信を持っている割合は低くなっており、75歳以上では約53%が「長距離の運転には自信がない」と回答しています。

【全県・年齢別】

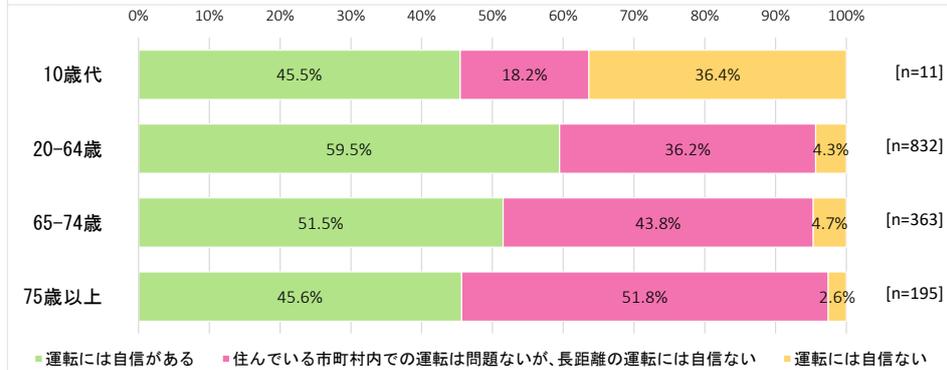


【地域別・年齢別】

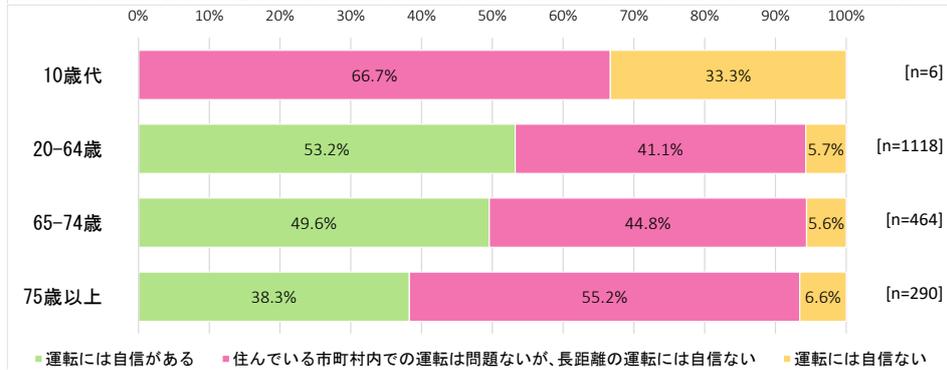
○紀北地域



○紀中地域



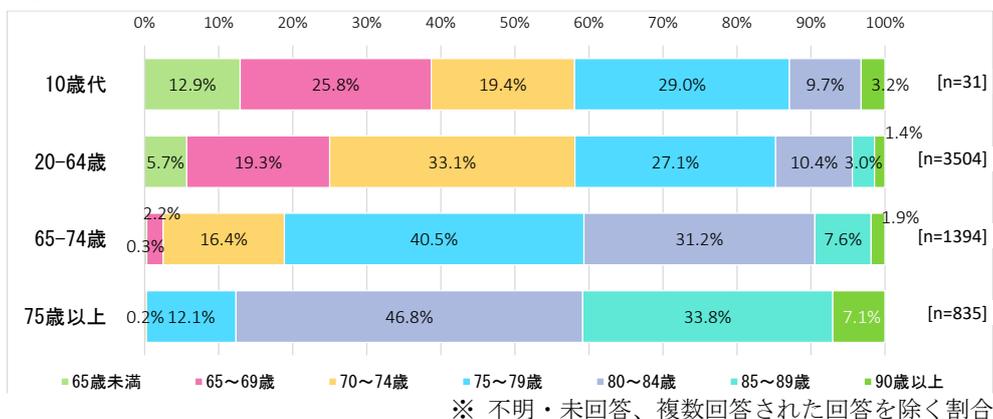
○紀南地域



③ 運転が可能と考える年齢

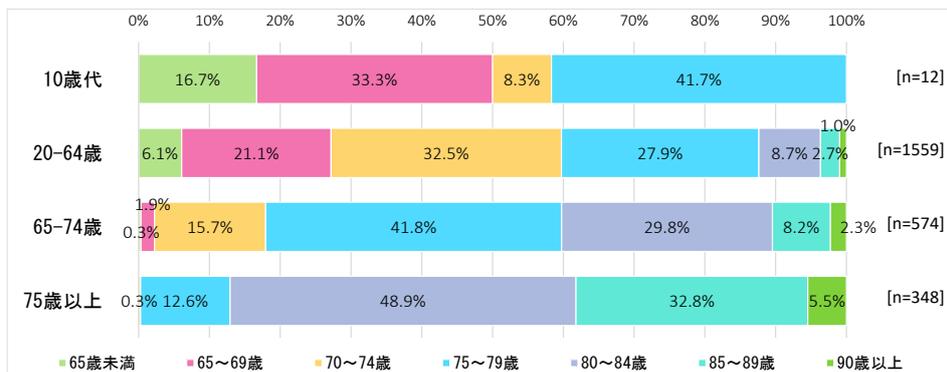
現在、運転免許を有する方が、運転可能と考える年齢について、80歳までと考える割合が、10歳代および20-64歳では8割以上を占めますが、65-74歳では約6割、75歳以上では約1割となっており、高齢になるほど、より高齢まで運転可能と考える傾向が強くなっています。

【全県・年齢別】

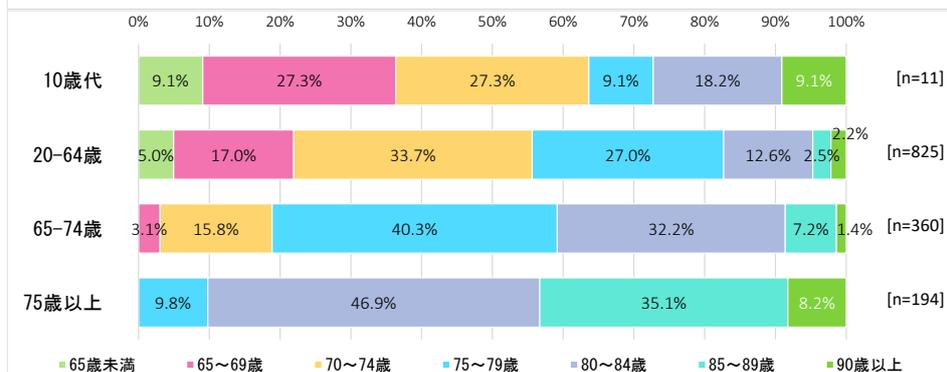


【地域別・年齢別】

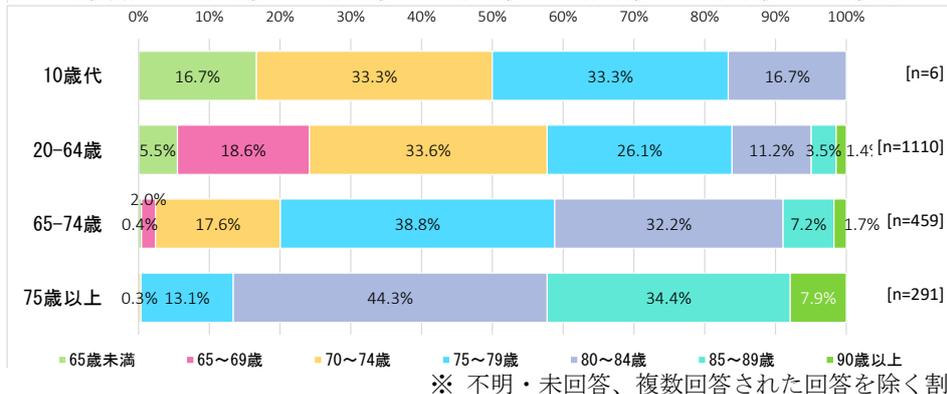
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域

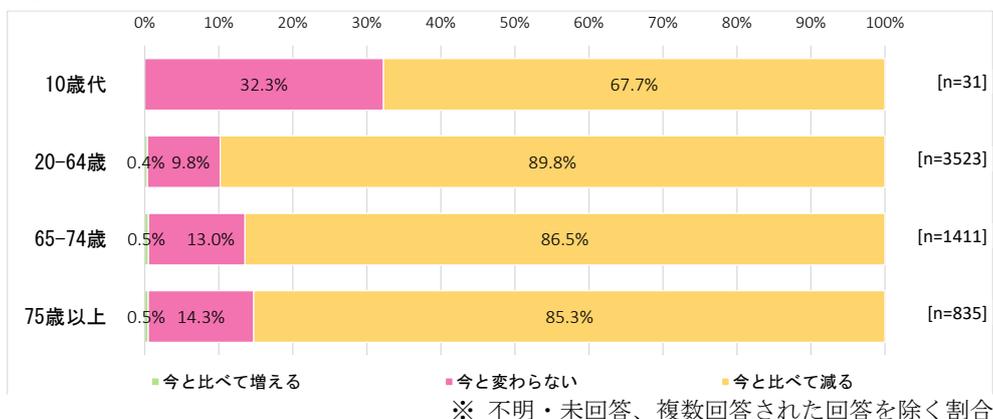


2.1 回答者の概要【質問1・質問2】

④ 運転をやめた場合の外出頻度

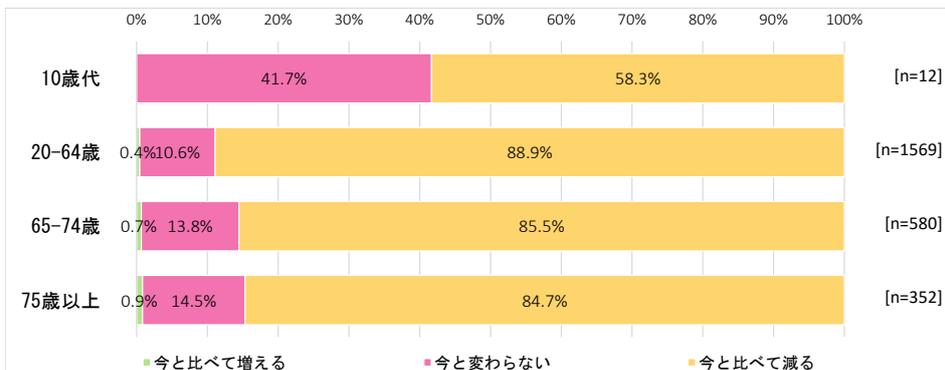
現在、運転免許を保有する方が、運転をやめた場合の外出頻度の変化について、いずれの年代も「今と比べて減る」と回答した割合が高く、20歳以上では約9割を占めています。日常的に運転する割合の低い10歳代は、「今と比べて減る」と回答した割合が他年代に比べて低くなっています。

【全県・年齢別】

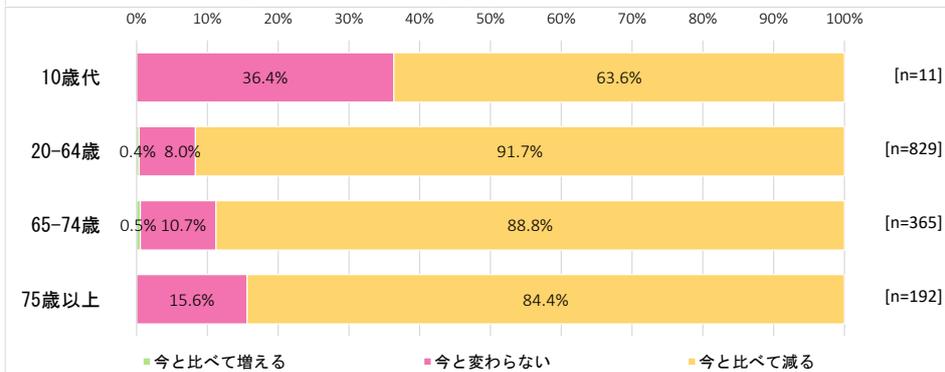


【地域別・年齢別】

○紀北地域



○紀中地域



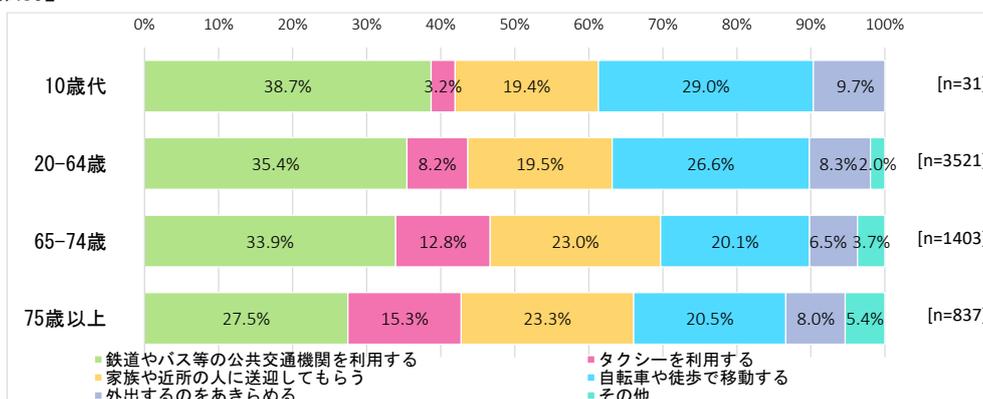
○紀南地域



⑤ 運転をやめた場合の代替の交通手段

運転をやめた場合の代替の交通手段については、若い年代ほど、「鉄道やバス等の公共交通機関を利用する」「自転車や徒歩で移動する」と答えた割合が高く、高齢になるほど「家族や近所の人に送迎してもらう」「タクシーを利用する」と答えた割合が高くなっています。地域別にみると、紀北・紀南は「鉄道やバス等の公共交通機関」、紀中では「送迎」「タクシー」と答えた割合が高くなっています。

【全県・年齢別】



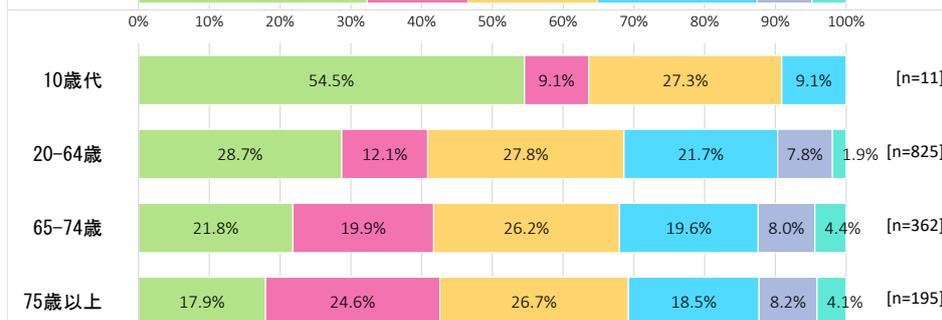
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別・年齢別】

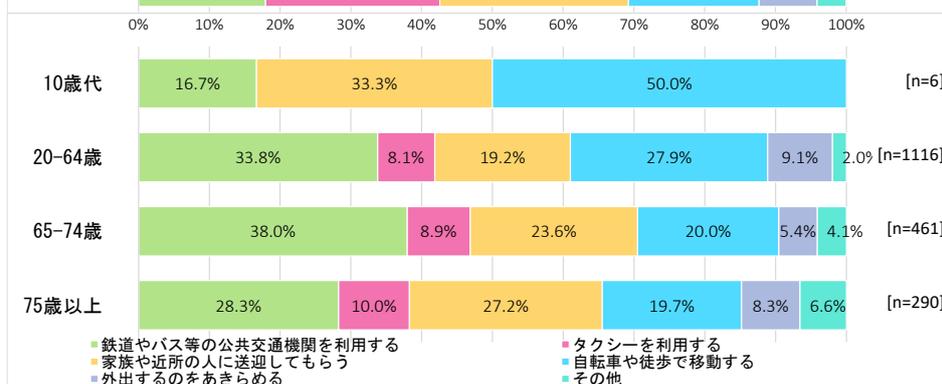
○紀北地域



○紀中地域



○紀南地域



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

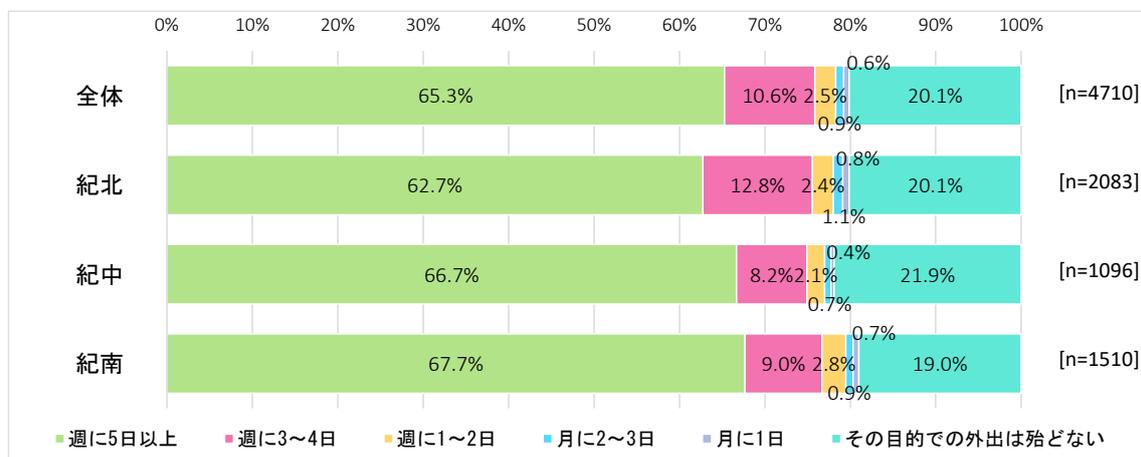
2.2 普段の外出【質問3】

2.2 普段の外出【質問3】

(1) 通勤・通学について

① 通勤・通学の頻度

回答者の通勤・通学の頻度は、「週に5日以上」が約6~7割で最も多くなっています。



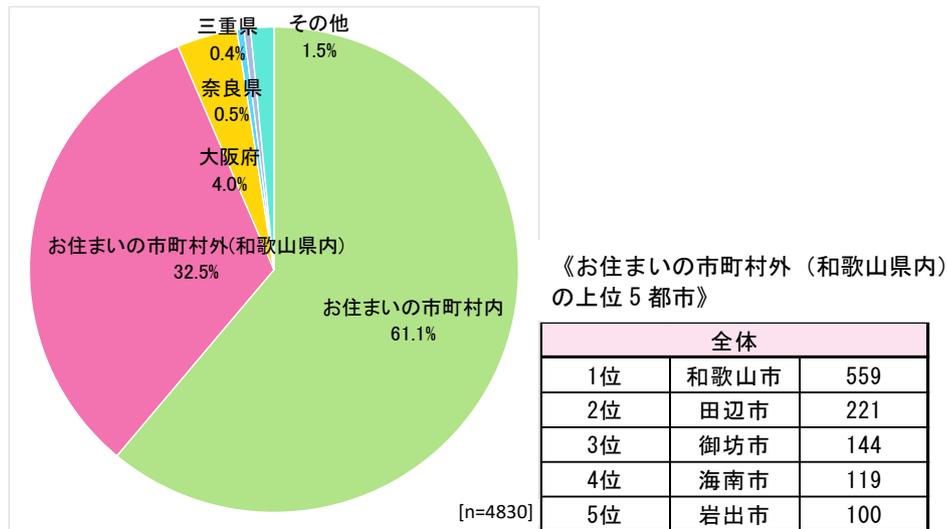
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先については、「お住まいの市町村内」が約61%で最も多く、これに次いで「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約33%となっています。

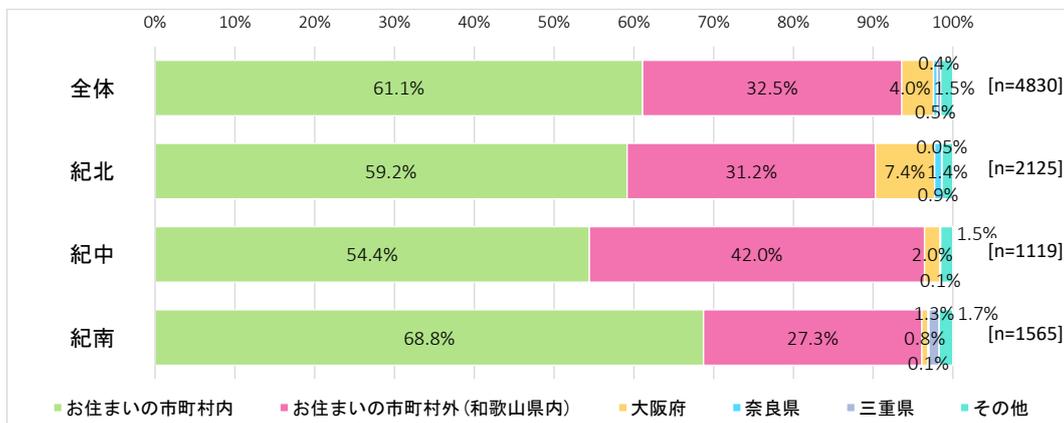
地域別にみると、紀北は「大阪府」が他地域よりもやや多くなっています。紀中は「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が他地域よりも多く、具体的な市町村としては「和歌山市」「御坊市」の順となっています。紀南は「お住まいの市町村内」が他地域よりも多く約69%を占めています。

【全県】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別】



《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

	紀北		紀中		紀南	
1位	和歌山市	394	和歌山市	128	田辺市	193
2位	岩出市	96	御坊市	125	新宮市	97
3位	紀の川市	96	有田川町	56	白浜町	55
4位	海南市	90	有田市	48	串本町	44
5位	橋本市	54	湯浅町	46	上富田町	43

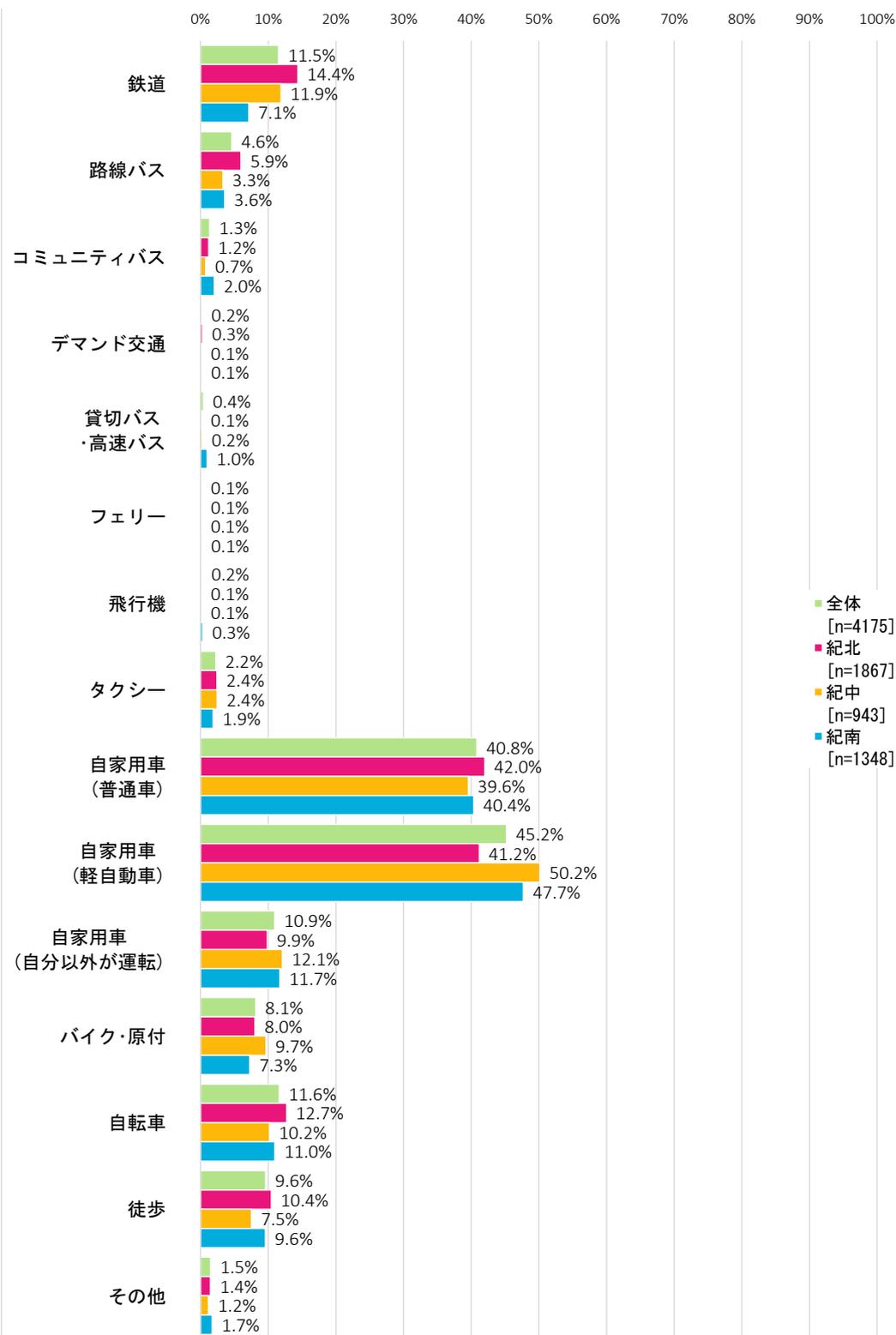
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

③ 通勤・通学の移動手段

通勤・通学時の移動手段については、自家用車（軽自動車）が約45%で最も多く、これに次いで、自家用車（普通車）が約41%となっています。地域による差はそれほどありませんが、紀北では鉄道がやや高く、紀中、紀南では軽自動車の割合が、他地域に比べてやや高くなっています。

【地域別】

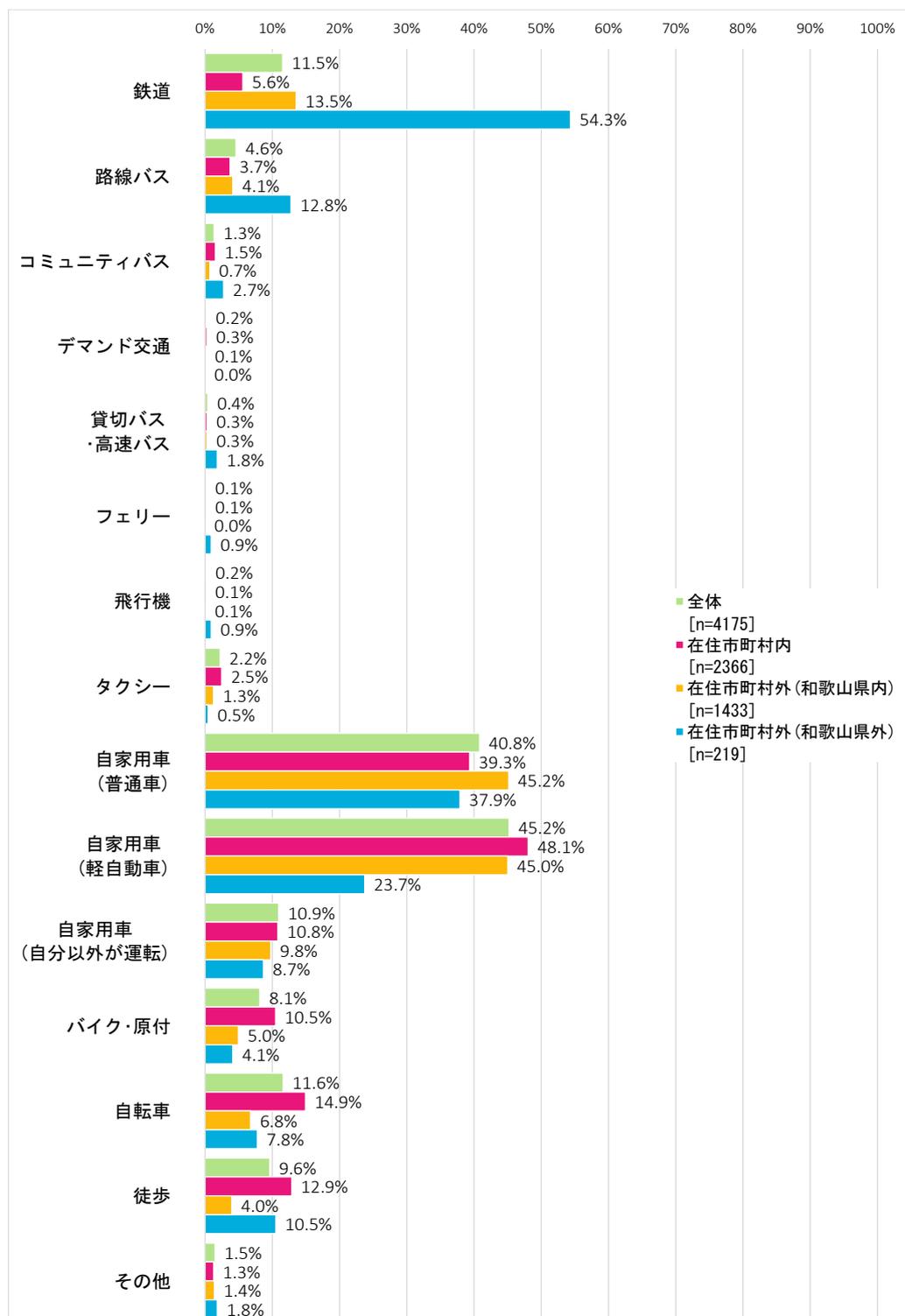


※複数回答可
※不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

通勤・通学先別にみると、通勤・通学先が在住市町村内／外でそれほど差はなく、自家用車による通勤移動が定着しているものと考えられます。一方、通勤・通学先が在住市町村外（和歌山県外）の場合は、鉄道が約54%で最も多く、また、路線バスが約13%で他の通勤・通学先に比べて高くなっています。

【通勤・通学先別】

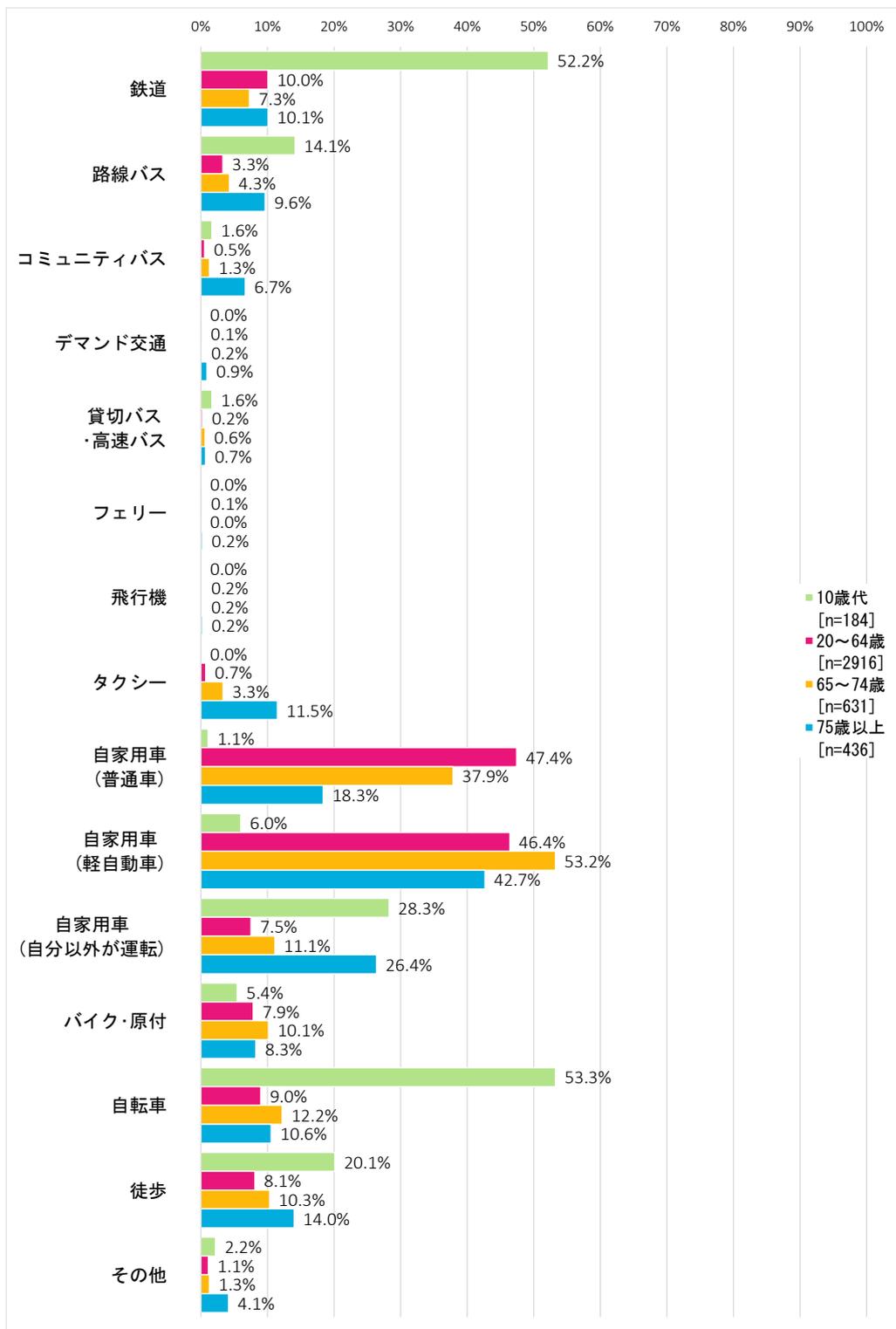


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

年齢別には、10歳代では自転車約53%、鉄道約52%と多く、また、路線バス約14%と他年代に比べて高くなっており、自転車や公共交通を利用した通学移動が中心となっていることが伺えます。一方、20-64歳、65-74歳では自家用車（普通車または軽自動車）が4~5割を占め最も多くなっています。75歳以上では、自家用車（軽自動車）、自家用車（自分以外が運転）が多く、また、タクシーや路線バスも他年代に比べて多くなっています。

【年齢別】

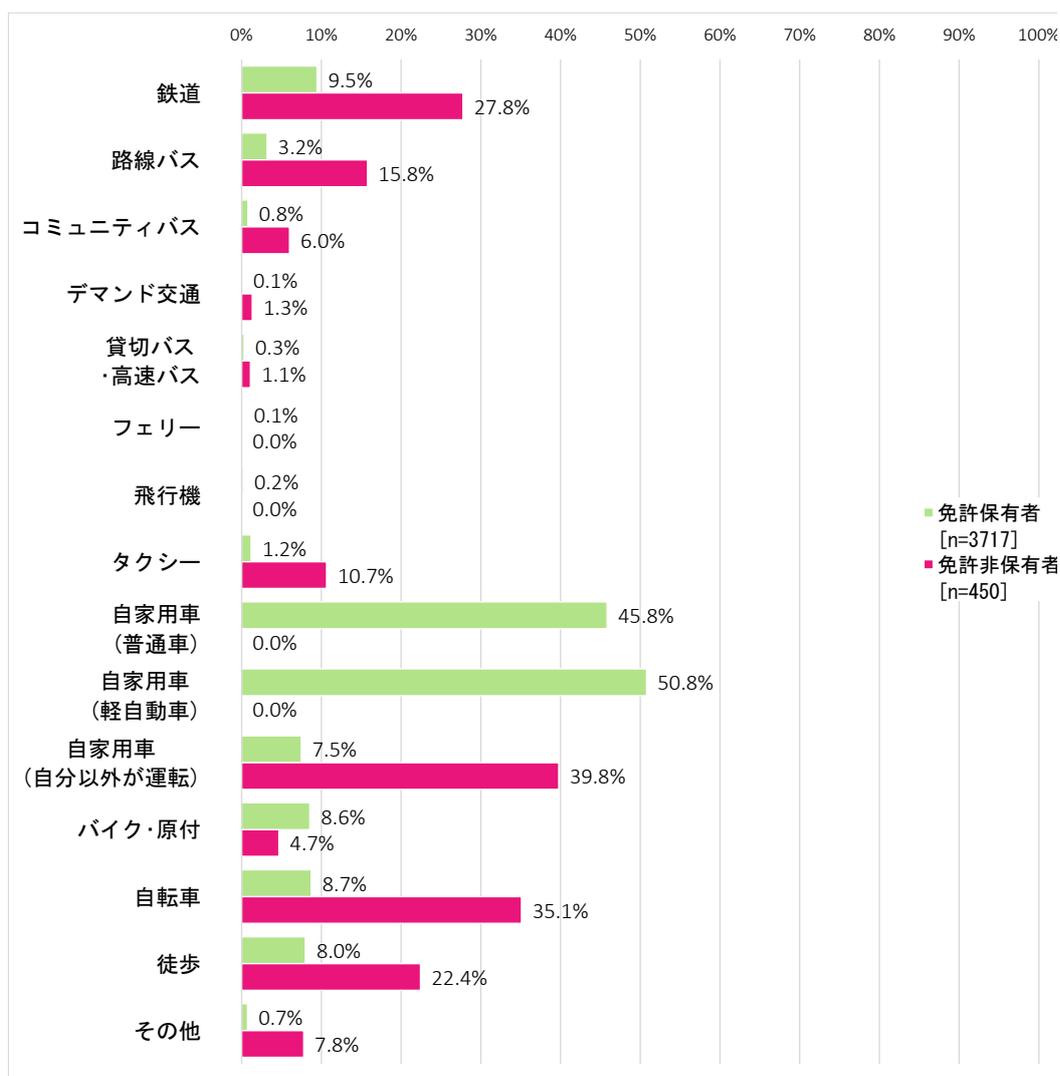


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

運転免許の保有状況別にみると、運転免許保有者は約5割が通勤・通学に自家用車を使っており、他の移動手段はそれぞれ1割未満となっています。運転免許非保有者では、自家用車（自分以外が運転）が約40%で最も多くなっていますが、これに次いで自転車（約35%）、鉄道（約28%）、徒歩（22%）、路線バス（15%）となっています。また、タクシー（約11%）、コミュニティバス（約6%）となっており、運転免許を持たない方にとって、鉄道・バス・タクシーの公共交通が必要な移動手段となっていることが伺えます。

【免許保有別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

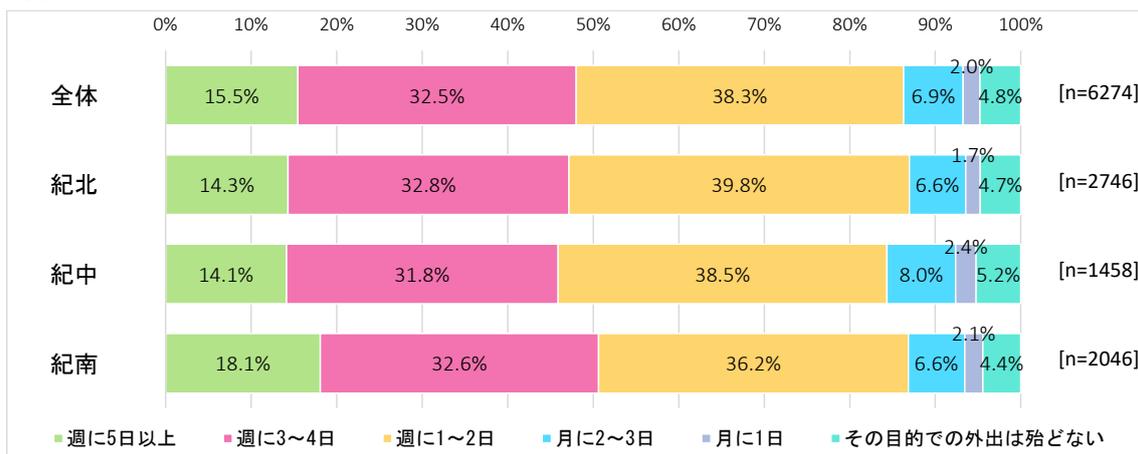
(2) 食料品や日用品の買い物について

① 食料品や日用品の買い物の頻度

回答者の食料品や日用品の買い物の頻度は、週に1~2日が約38%で最も多く、これに次いで、週に3~4日が約33%となっており、週1日以上頻度の人が8割以上となっています。

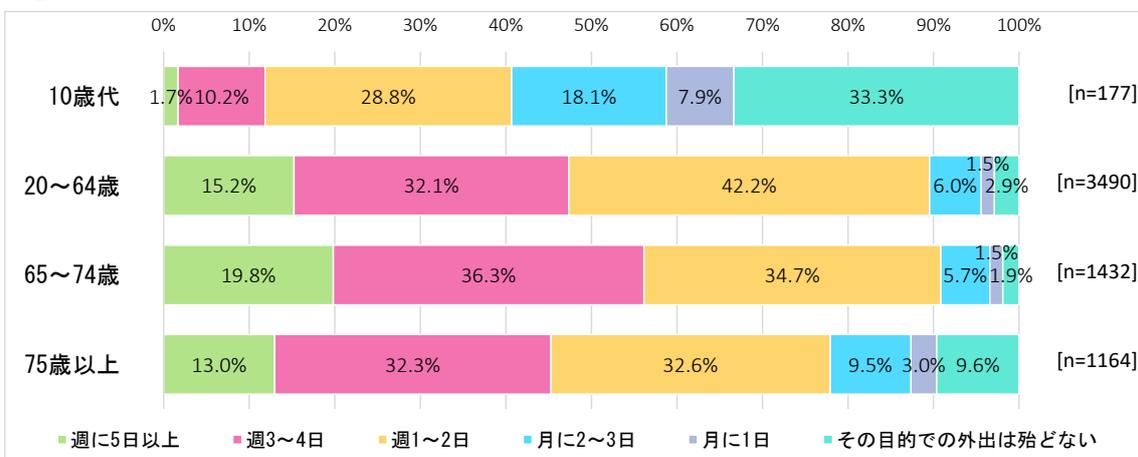
年齢別にみると、65-74歳が週に5日以上が約2割、週に3~4日が約36%で、最も買い物の頻度が高く、こまめに買い物をしています。

【地域別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【年齢別】

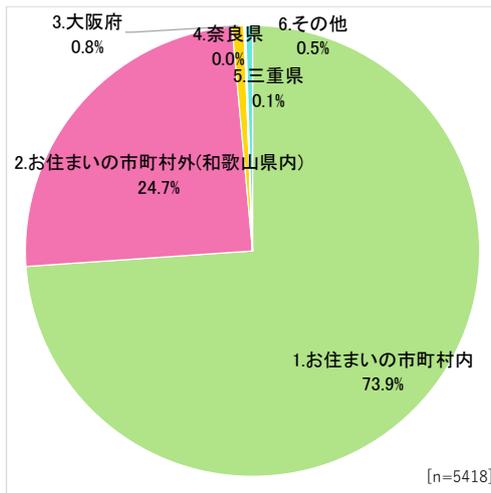


※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 食料品や日用品の買い物先

回答者の食料品や日用品の買い物先は、「お住まいの市町村内」が約74%で最も多く、これに次いで「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約25%となっています。地域別にも概ね同様の傾向ですが、紀中では「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約34%とやや高く、行き先としては御坊市が最も多くなっています。紀中については、市町域が紀北・紀南よりもやや小さい自治体が多く、市町域内に適当な買い物先がない等の理由が考えられます。

【全県】

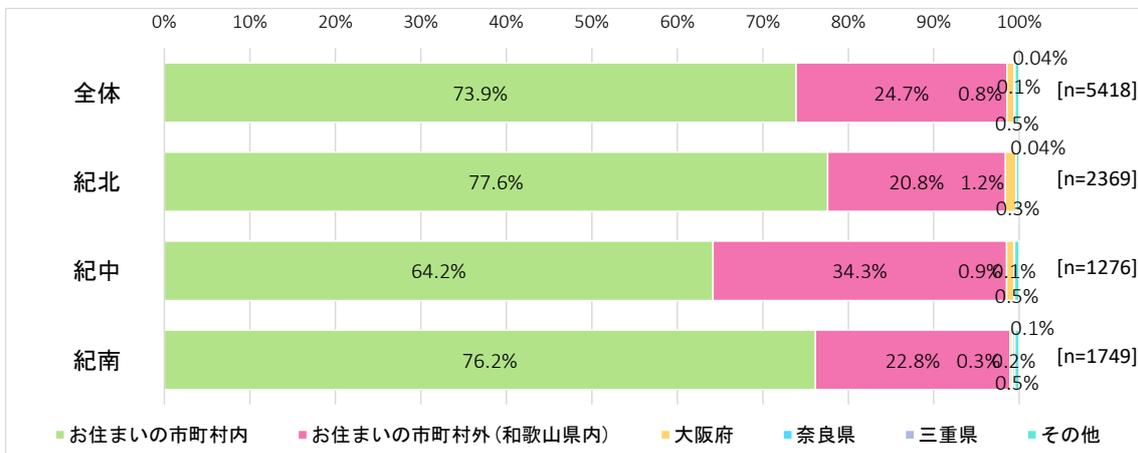


《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

全体		
1位	和歌山市	238
2位	御坊市	183
3位	田辺市	161
4位	岩出市	117
5位	新宮市	104

※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別】



《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

	紀北		紀中		紀南	
1位	和歌山市	175	御坊市	175	田辺市	141
2位	岩出市	110	有田川町	64	新宮市	101
3位	紀の川市	75	和歌山市	52	上富田町	75
4位	海南市	60	湯浅町	50	串本町	41
5位	橋本市	54	有田市	29	白浜町	21

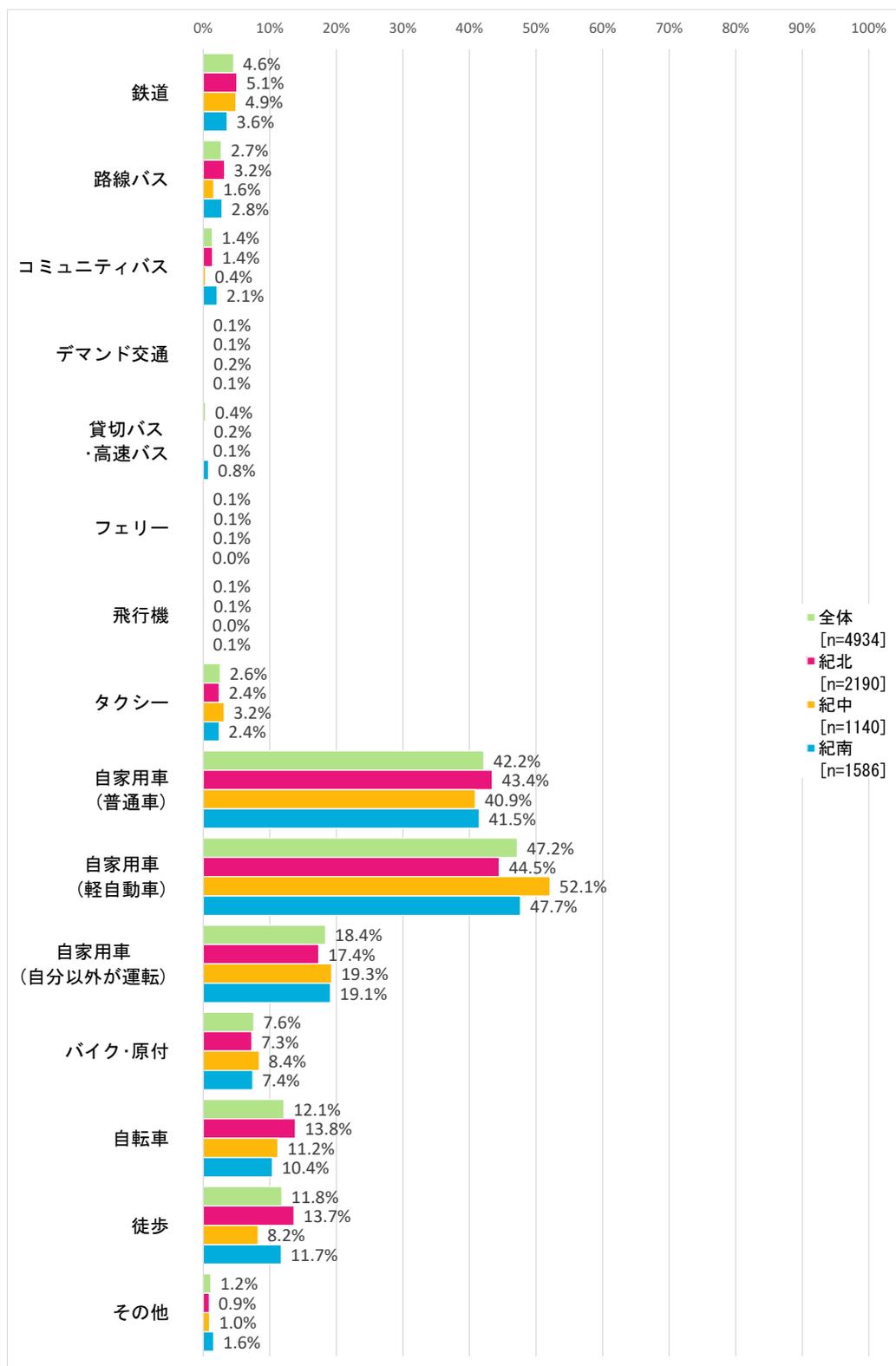
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

③ 食料品や日用品の買い物への移動手段

食料品や日用品の買い物への移動手段は、自家用車（軽自動車）が約47%で最も多く、これに次いで、自家用車（普通車）が約42%となっています。地域による差はそれほどありませんが、紀北では徒歩や自転車、紀中、紀南では軽自動車の割合が、他地域に比べてやや高くなっています。

【地域別】

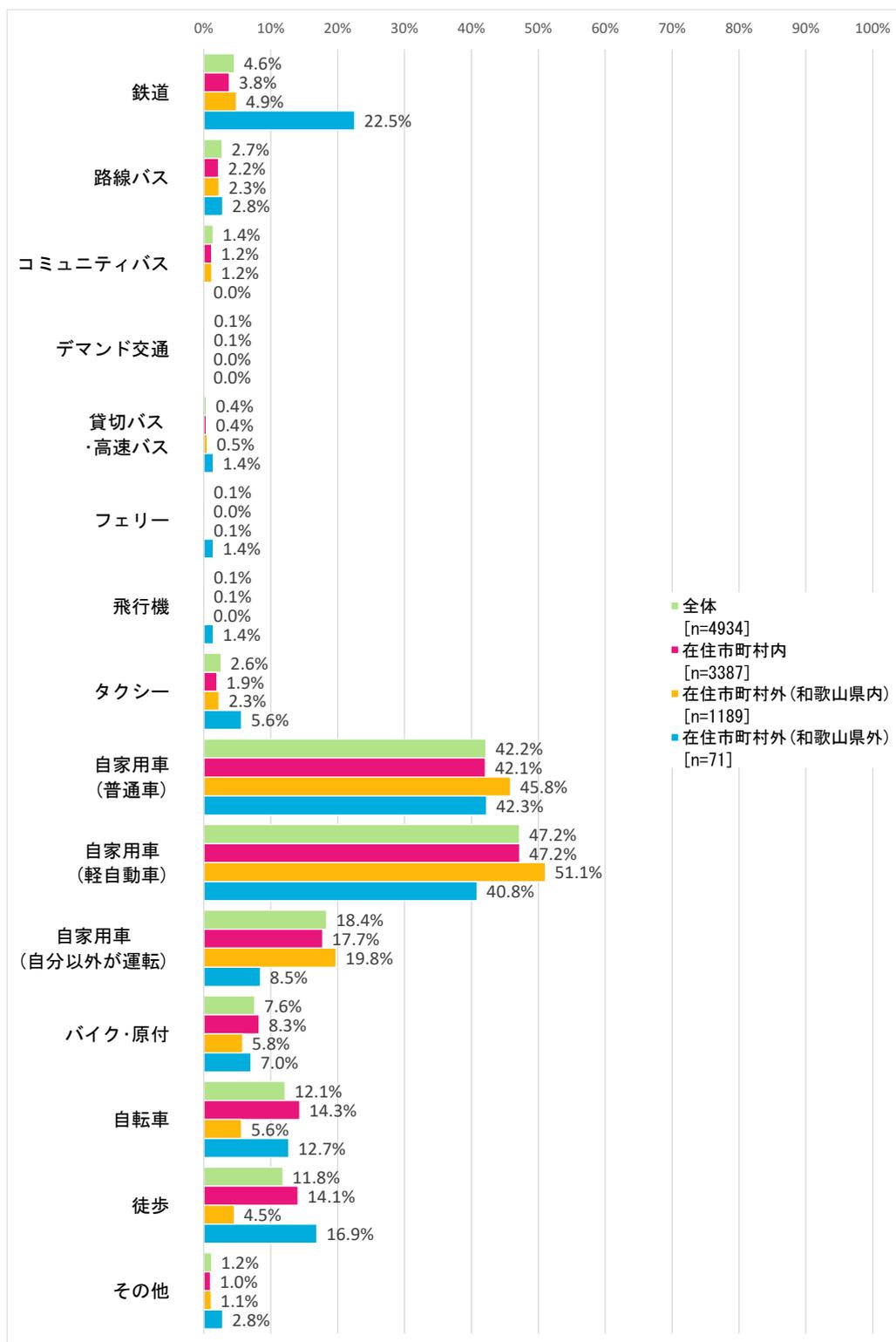


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

買い物先別にみると、買い物先の所在地に拠らず自家用車（普通車または軽自動車）が約4～5割で最も多くなっています。在住市町村外（和歌山県外）については、鉄道が約23%と多くなっていますが、路線バス、コミュニティバス、デマンド交通は行き先が在住市町村外（県内）であっても、いずれも3%を下回っています。

【買い物先別】

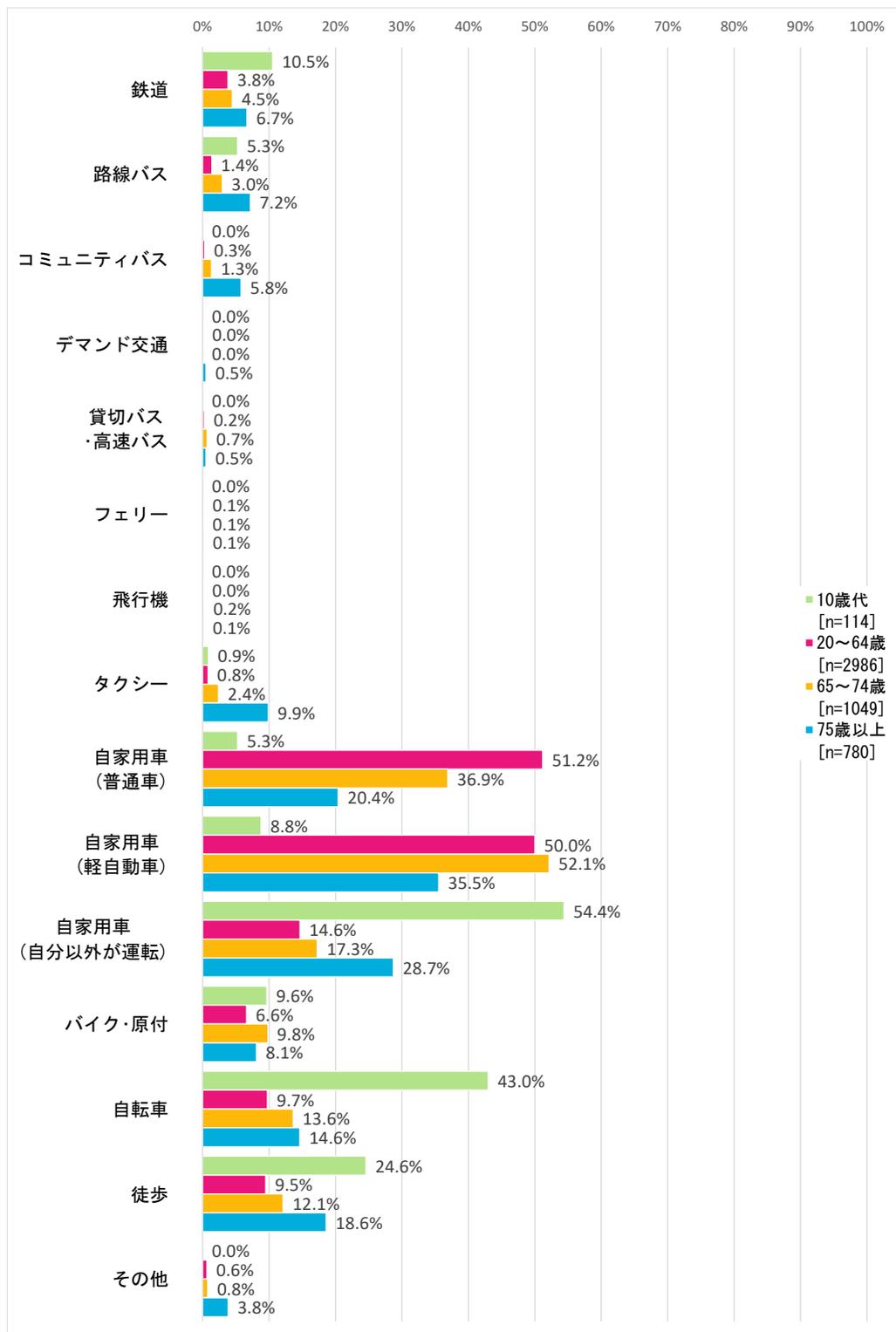


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

年齢別にみると、10歳代は自家用車（自分以外が運転）が約54%で最も多く、これに次いで自転車（約43%）となっています。20-64歳は自家用車（普通車または軽自動車）がいずれも5割を超え、65-74歳では自家用車（普通車）の割合は少し下がりますが、自家用車（軽自動車）が約52%と最も多くなっています。75歳以上では、自家用車の割合はさらに下がり、路線バス、コミュニティバス、タクシーの利用割合が、他年代に比べて多くなっています。

【年齢別】

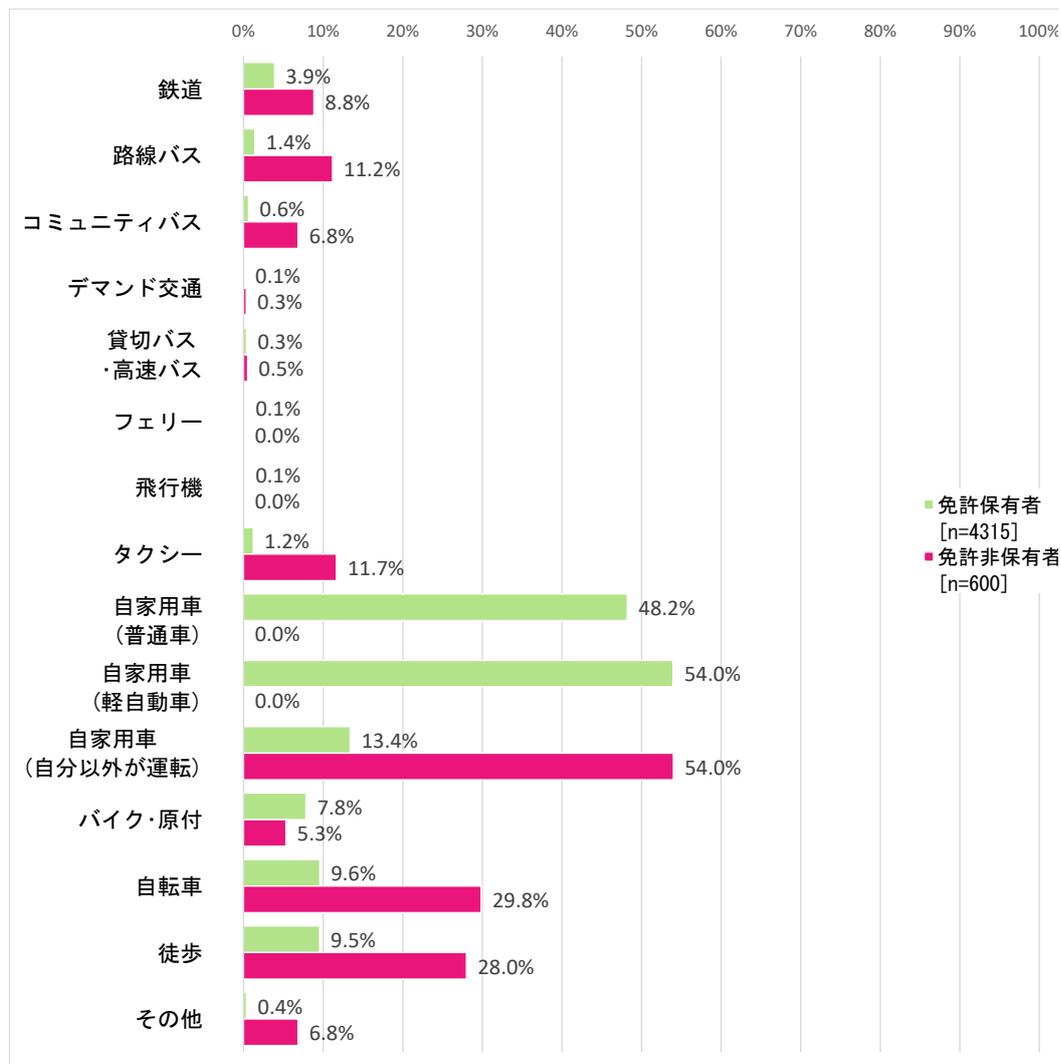


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

運転免許の保有状況別にみると、運転免許保有者は約5割が買い物に自家用車を使っており、他の移動手段は自家用車（自分以外が運転）を除き1割未満となっています。運転免許非保有者では、自家用車（自分以外が運転）が約54%で最も多くなっていますが、これに次いで自転車（約30%）、徒歩（28%）、タクシー（12%）、路線バス（11%）となっており、運転免許を持たない方にとって、タクシーやバスの必要性が高くなっています。

【免許保有別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

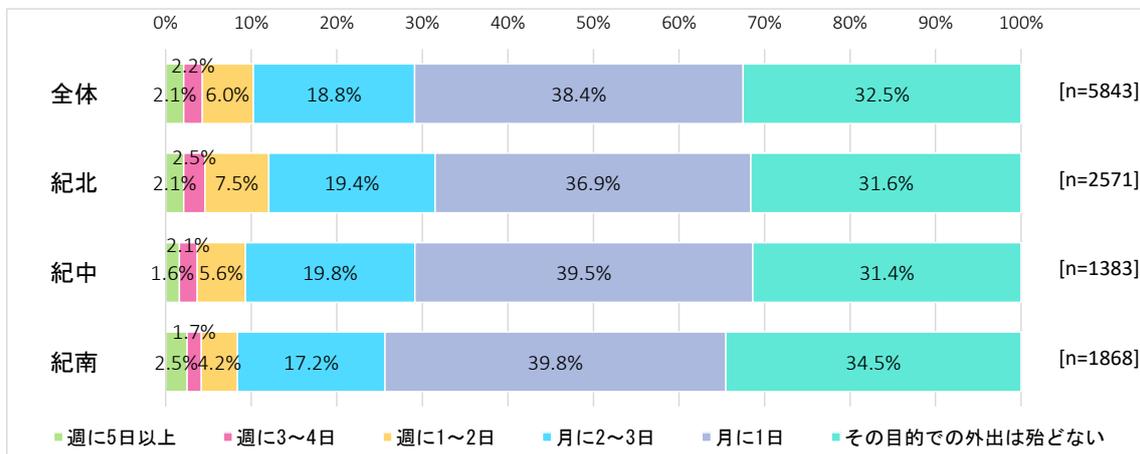
2.2 普段の外出【質問3】

(3) 医療機関への通院について

① 医療機関への通院の頻度

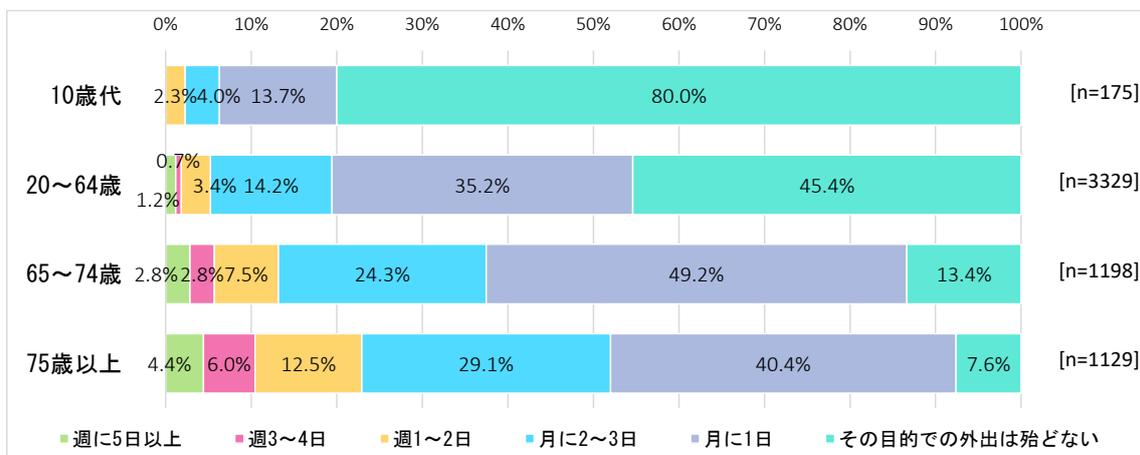
回答者の医療機関への通院の頻度は、月に1日が約38%で最も多く、これに次いで、月に2～3日が約19%となっています。

【地域別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【年齢別】

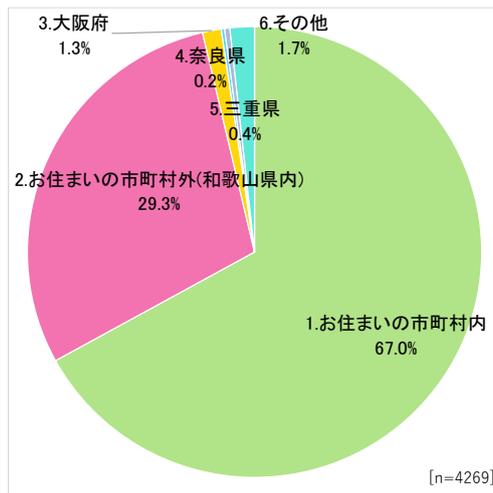


※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 医療機関への通院先

回答者の通院先は、「お住まいの市町村内」が約67%で最も多く、これに次いで、「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約29%となっています。地域別にみると、紀中は「お住まいの市町村内」が約56%で他地域に比べて低くなっています。買い物と同じように、比較的市町域が小さな自治体が多いため、市町域内に総合病院等が少ないことが要因として考えられます。

【全県】

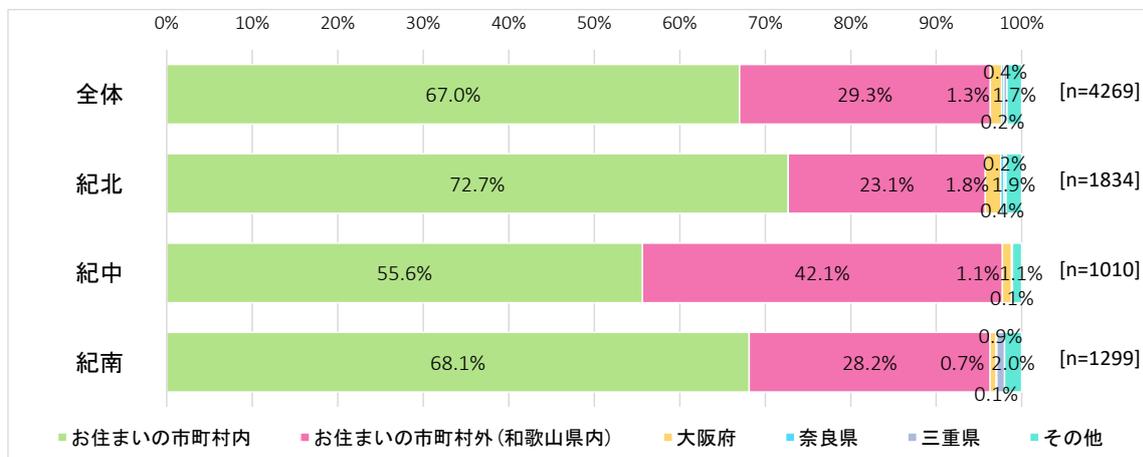


《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

全体		
1位	和歌山市	356
2位	田辺市	174
3位	御坊市	154
4位	岩出市	62
5位	新宮市	59

※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別】



《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

	紀北		紀中		紀南	
1位	和歌山市	224	御坊市	140	田辺市	167
2位	岩出市	56	和歌山市	113	新宮市	58
3位	紀の川市	43	有田市	34	白浜町	24
4位	海南市	37	湯浅町	30	那智勝浦町	20
5位	橋本市	32	有田川町	26	和歌山市	19

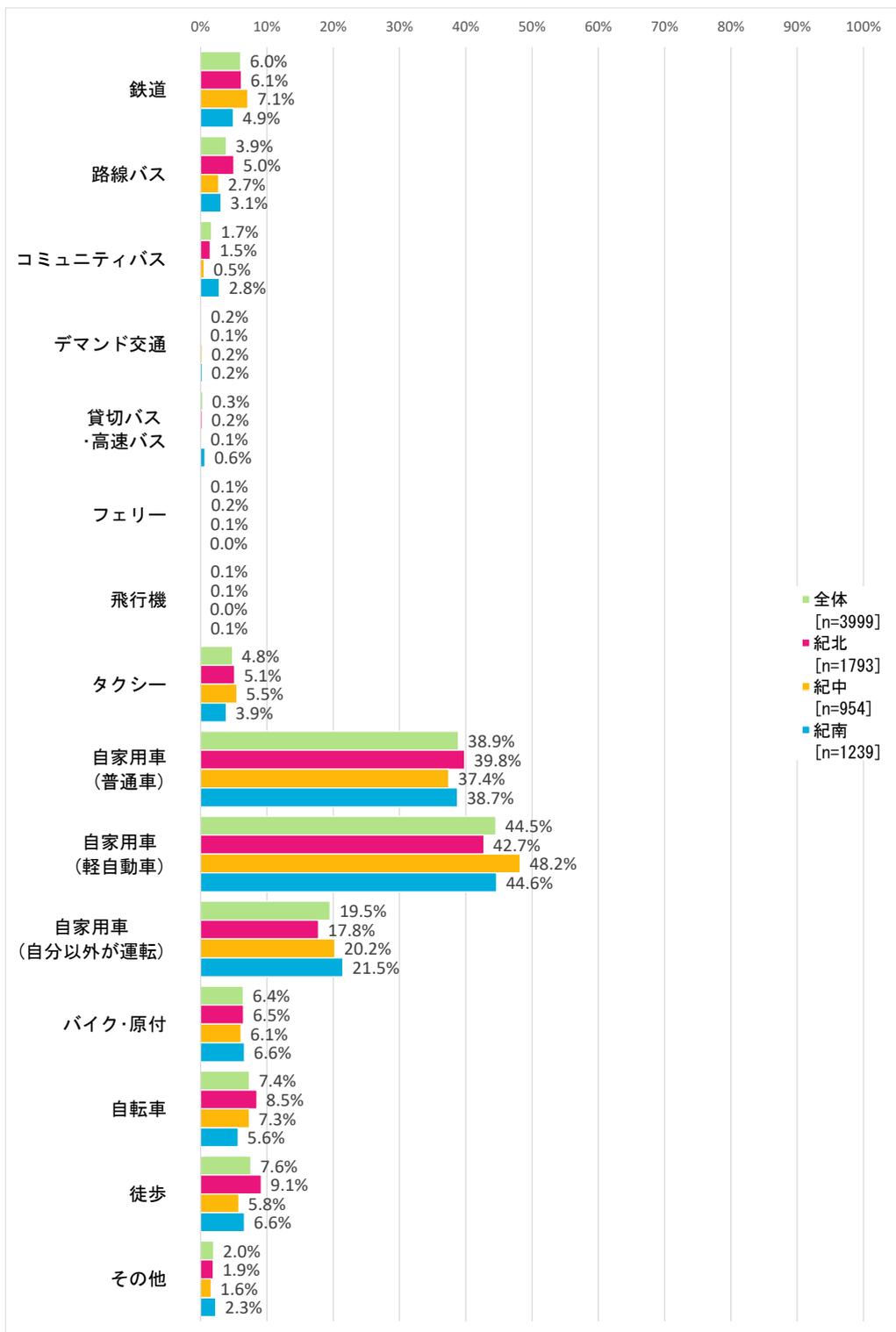
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

③ 医療機関への通院への移動手段

通院先への移動手段は、自家用車（軽自動車）が約45%で最も多く、これに次いで、自家用車（普通車）が約39%となっています。地域による差はそれほどありませんが、紀北では徒歩や自転車や路線バス、紀中では鉄道や軽自動車、紀南では自家用車（自分以外が運転）やコミュニティバスの割合が、他地域に比べてやや高くなっています。

【地域別】

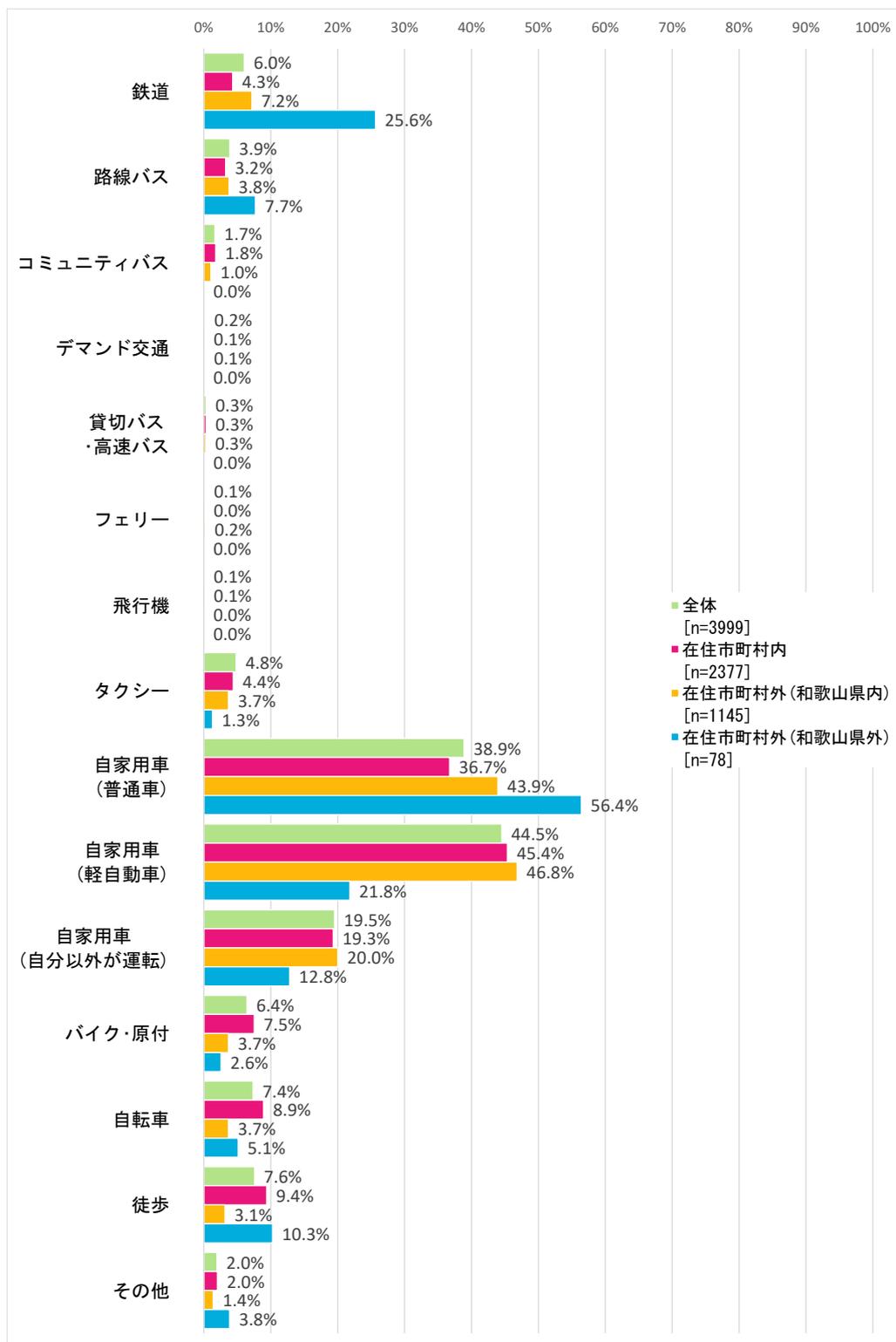


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

通院先別にみると、通院先の所在地に抛らず自家用車（普通車または軽自動車）が約4～5割で最も多くなっています。在住市町村外（和歌山県外）については、鉄道が約26%、路線バスが約8%で他の所在地に比べて高くなっています。

【通院先別】

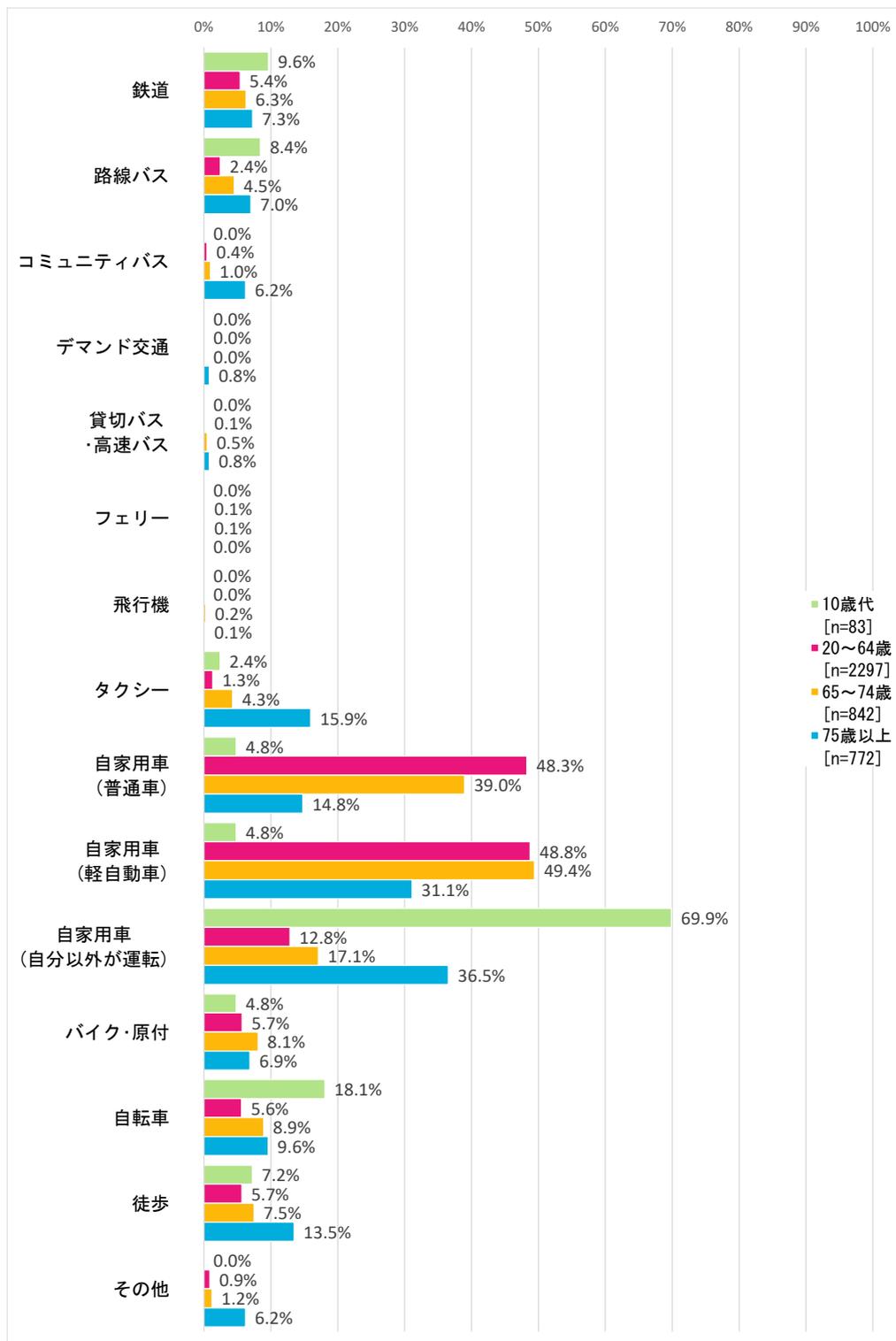


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

年齢別にみると、10歳代は自家用車（自分以外が運転）が約70%で最も多く、20-64歳は自家用車（普通車または軽自動車）がいずれも約5割、65-74歳では自家用車（普通車）の割合は少し下がりますが、自家用車（軽自動車）が約49%と最も多くなっています。75歳以上では、自家用車の割合はさらに下がり、路線バス、コミュニティバス、タクシーの利用割合が、他年代に比べて多くなっています。

【年齢別】

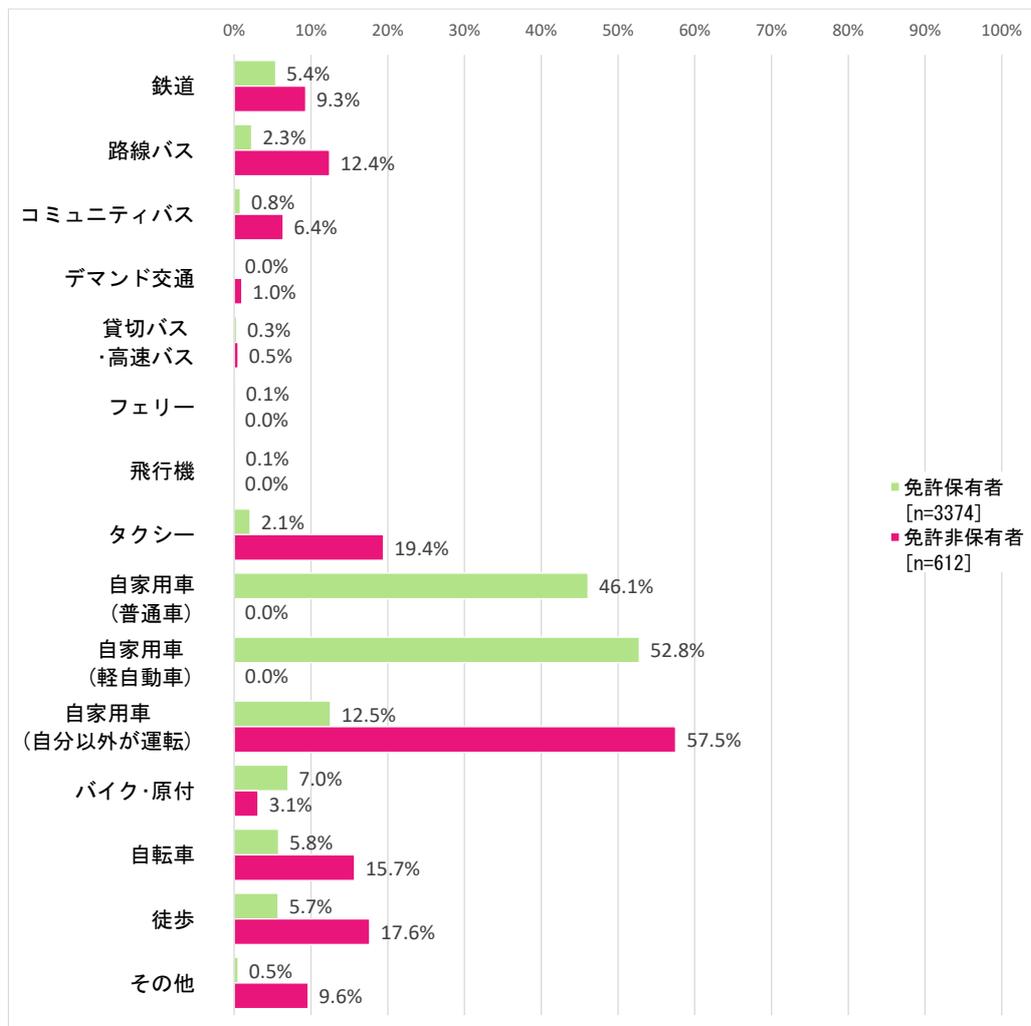


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

運転免許の保有状況別にみると、運転免許保有者は約5割が通院に自家用車を使っており、他の移動手段は自家用車（自分以外が運転）を除き1割未満となっています。運転免許非保有者では、自家用車（自分以外が運転）が約58%で最も多くなっていますが、これに次いでタクシー（約19%）、徒歩（約18%）、自転車（約16%）、路線バス（約12%）となっており、運転免許を持たない方にとって、タクシーやバスの必要性が高くなっています。

【免許保有別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

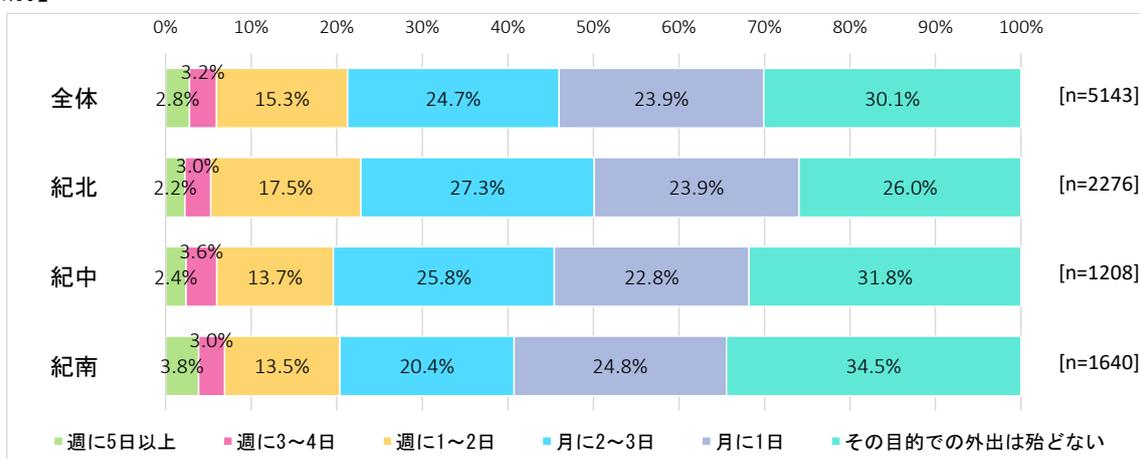
(4) 娯楽・観光等について

① 娯楽・観光等の頻度

回答者の娯楽・観光等の頻度を聞いたところ、その目的での外出は殆どないが約30%で最も多くなっています。娯楽・観光での外出があると答えた中では、月に2~3回が約25%でもっと多くなっています。地域別にみると、娯楽・観光目的での外出がほとんどないと回答した割合は、紀中、紀南地域のほうが高くなっています。

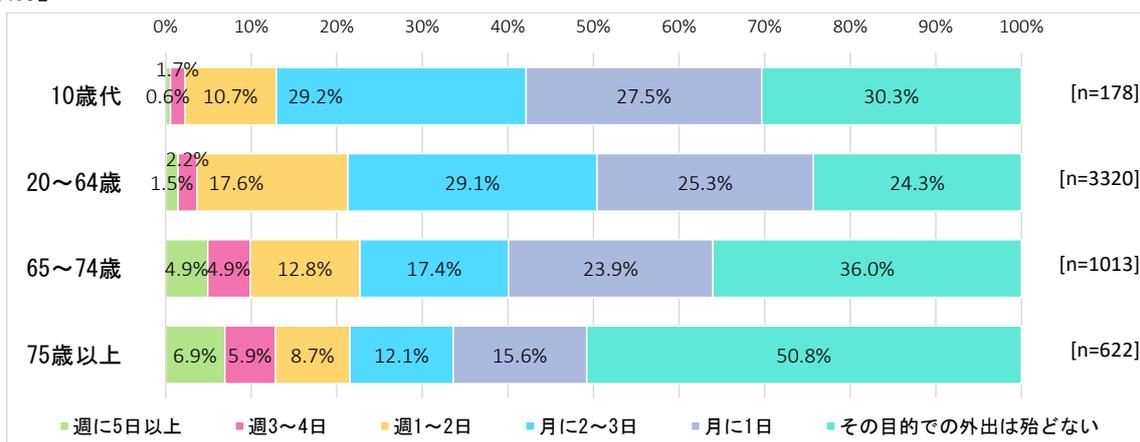
年齢別にみると、高齢になるほど、娯楽・観光目的での外出頻度は低くなっており、20 - 64歳では約5割が月に2~3日以上とする一方、75歳以上の約5割は娯楽・観光目的での外出は殆どないと答えています。

【地域別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【年齢別】

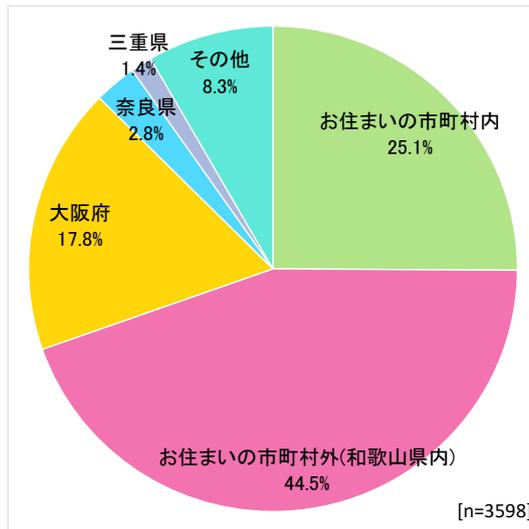


※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 娯楽・観光等の行き先

回答者の娯楽・観光等の行き先は、「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約45%で最も多く、これに次いで、「お住まいの市町村内」が約25%となっています。地域別にみると、紀中は「お住まいの市町村外（和歌山県内）」が約59%で他地域に比べて高くなっています。また、紀南では「お住まいの市町村内」が約33%で他地域に比べて高くなっています。

【全県】

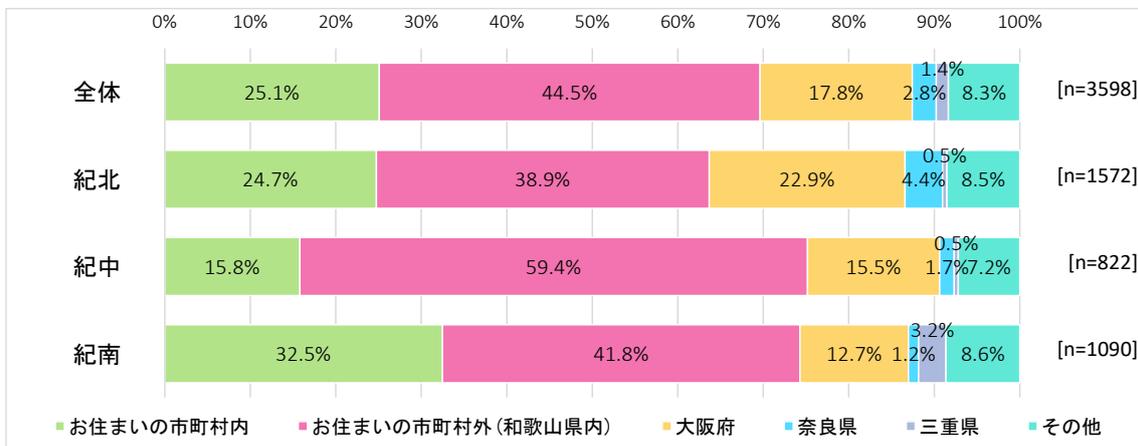


《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

全体		
1位	和歌山市	650
2位	田辺市	166
3位	白浜町	70
4位	新宮市	67
5位	岩出市	61

※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

【地域別】



《お住まいの市町村外（和歌山県内）の上位5都市》

	紀北		紀中		紀南	
1位	和歌山市	309	和歌山市	249	田辺市	120
2位	岩出市	56	御坊市	30	和歌山市	90
3位	白浜町	20	田辺市	27	新宮市	63
4位	田辺市	18	白浜町	20	白浜町	30
5位	紀の川市	16	有田市	15	那智勝浦町	20

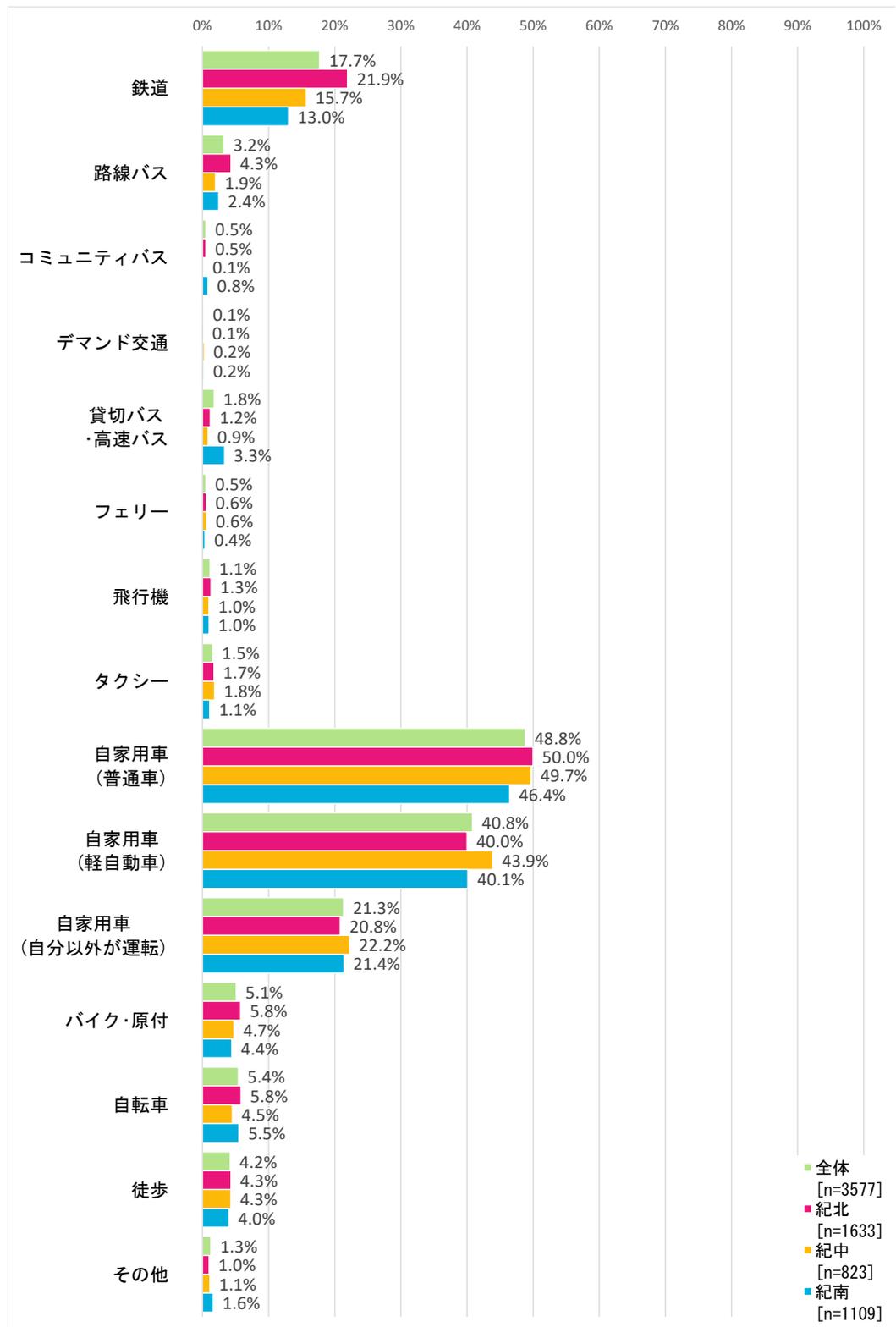
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

③ 娯楽・観光等への移動手段

娯楽・観光等への移動手段は、自家用車（普通車）が約49%で最も多く、これに次いで、自家用車（軽自動車）が約41%となっています。地域による差はそれほどありませんが、紀北では鉄道・路線バス、紀南では貸切バス・高速バスの割合が、他地域に比べてやや高くなっています。

【地域別】

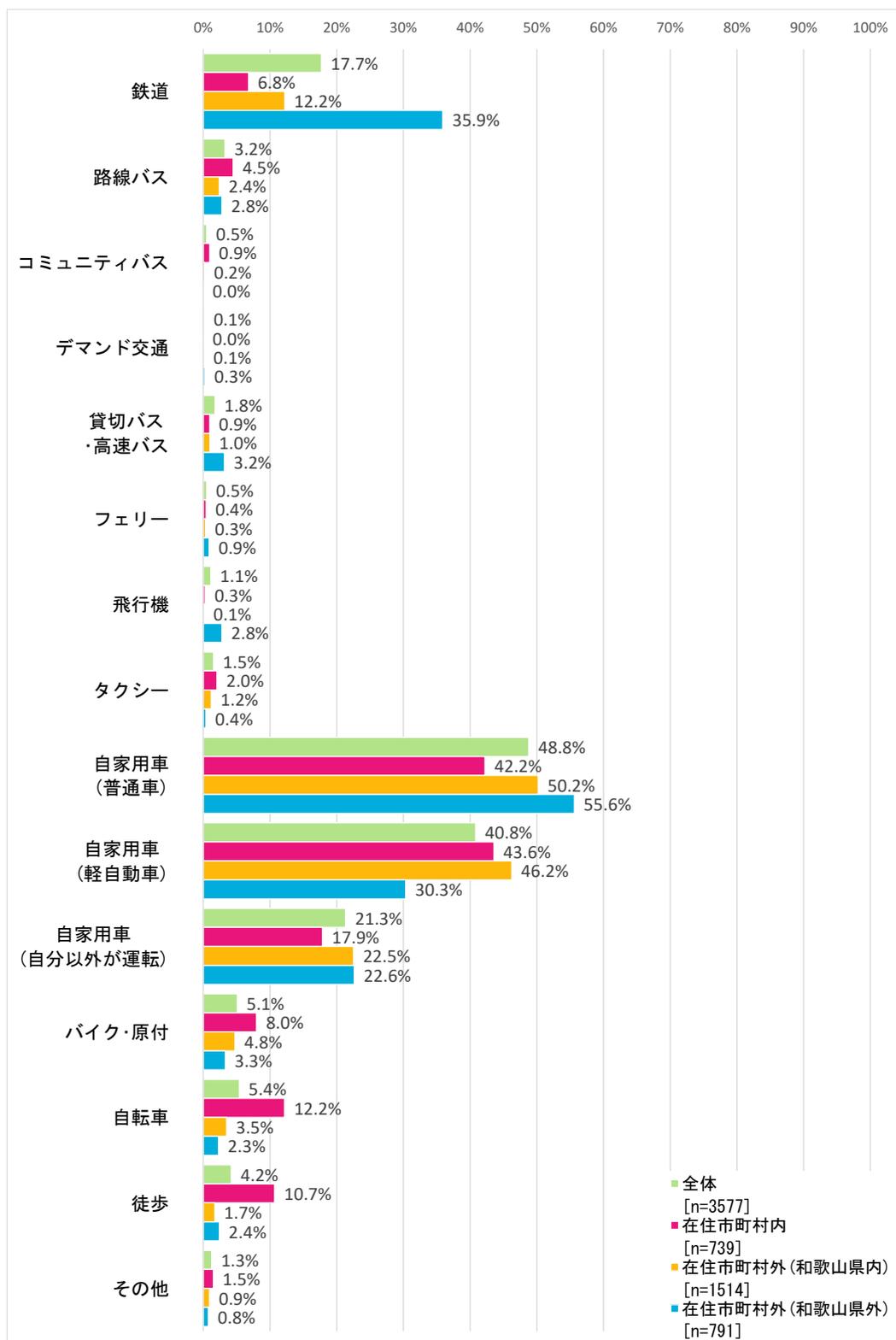


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

観光・娯楽先別にみると、観光・娯楽先の所在地に拠らず自家用車（普通車または軽自動車）が約4～5割で最も多く、特に在住市町村外（和歌山県外）については、自家用車（普通車）が約56%となっています。また、在住市町村内については、自転車・徒歩、在住市町村外（和歌山県外）については鉄道、貸切バス・高速バスの割合が他地域に比べ高くなっています。

【観光・娯楽先別】

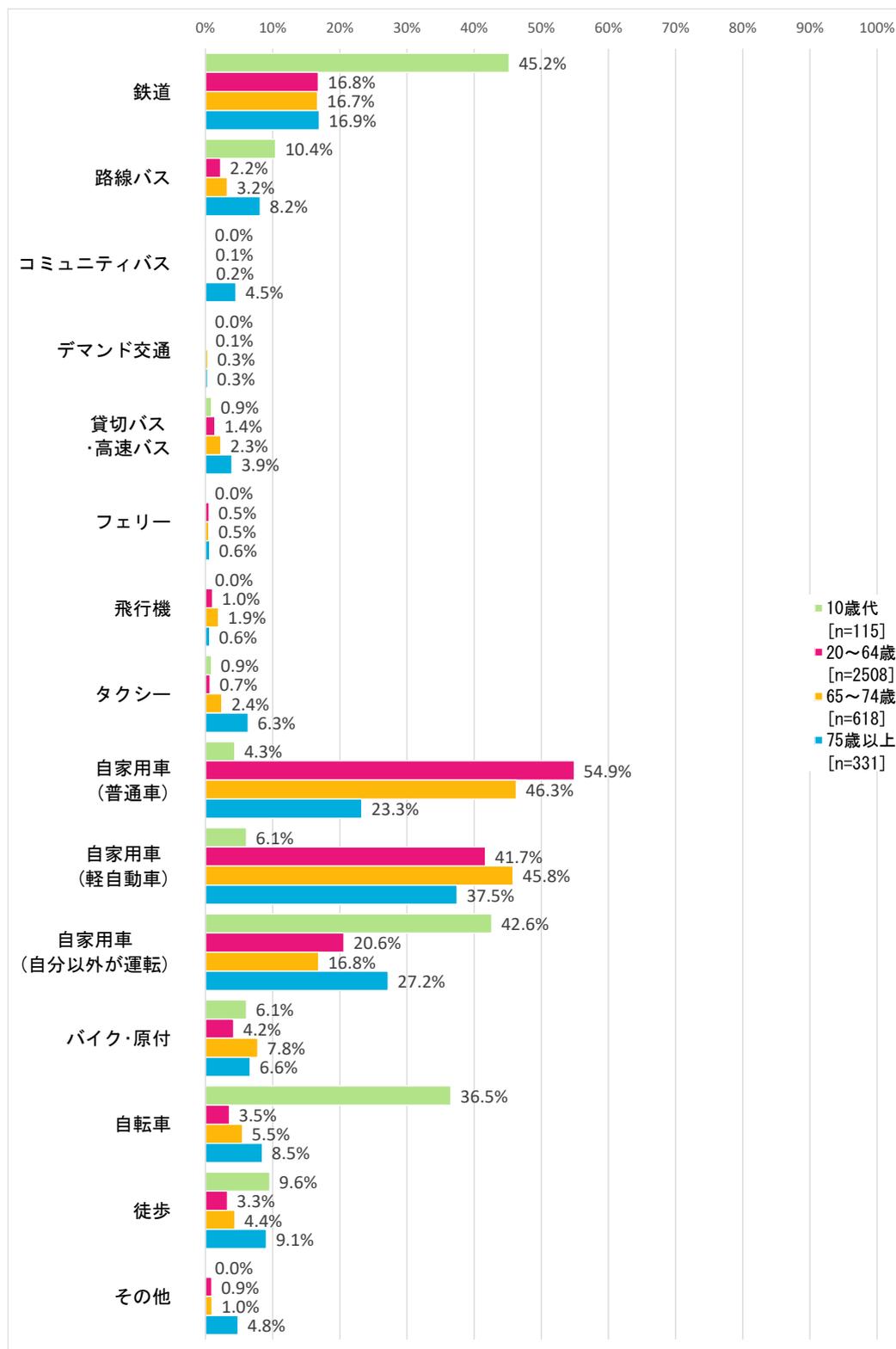


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

年齢別にみると、10歳代は鉄道が約45%で最も多く、自転車も約36%となっています。20-64歳は自家用車（普通車）が約55%と最も高く、65-74歳では自家用車（普通車）と自家用車（軽自動車）が同程度で約46%、75歳以上では、自家用車の割合はさらに下がり、路線バス、コミュニティバス、タクシーの利用割合が、他年代に比べて多くなっています。

【年齢別】

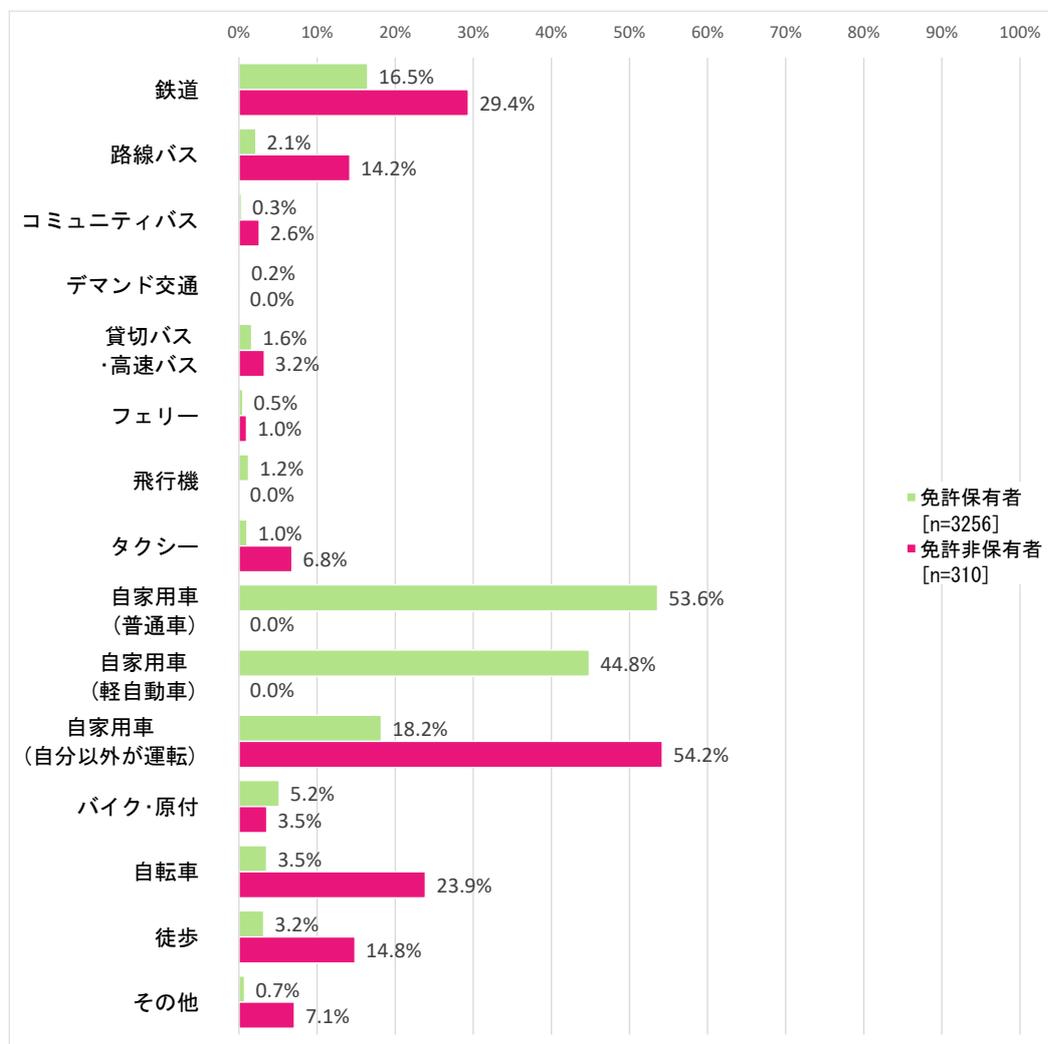


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

運転免許の保有状況別にみると、運転免許保有者は約4~5割が自家用車を使っており、他の移動手段は2割未満となっています。運転免許非保有者では、自家用車（自分以外が運転）が約54%で最も多くなっていますが、これに次いで鉄道（約29%）、自転車（約24%）となっています。

【免許保有別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.2 普段の外出【質問3】

(4) 地域ブロック別の外出状況について

① 和歌山市

通勤・通学の約85%、食料品や日用品の買い物や通院の95%以上が居住市内での移動となっています。娯楽・観光等については、居住市域内は約58%で、大阪府内が約18%となっています。

居住地ブロック：和歌山市				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	85%	96%	96%	58%
居住地市町村外(大阪府)	4%	0%	1%	18%
居住地市町村外(その他)	2%	0%	2%	12%
和歌山市	0%	0%	0%	0%
岩出市・紀の川市	4%	3%	1%	3%
海南市・紀美野町	2%	0%	0%	2%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	1%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	1%	0%	0%	1%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	1%	0%	0%	0%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	1%	0%	0%	4%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	1%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	0%
合計	100% [n=624]	100% [n=639]	100% [n=539]	100% [n=432]

② 岩出市・紀の川市

通勤・通学は約45%が居住市内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約23%、岩出市・紀の川市（ブロック内の他市へ通勤・通学）が約17%となっており、ブロック内での移動は約62%となっています。

買い物は約78%が居住市内での移動となっており、これに次いで、岩出市・紀の川市（ブロック内の他市へ買い物）が約14%で、ブロック内での移動が約92%を占めています。

通院は約67%が居住市内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約17%、岩出市・紀の川市（ブロック内の他市へ通院）が約12%で、ブロック内での移動が約79%となっています。

娯楽・観光等は大阪府および和歌山市が約27%と最も多く、ブロック内での移動は26%となっています。

居住地ブロック：岩出市・紀の川市				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	45%	78%	67%	19%
居住地市町村外(大阪府)	7%	1%	1%	27%
居住地市町村外(その他)	1%	0%	2%	15%
和歌山市	23%	6%	17%	27%
岩出市・紀の川市 ブロック内の他市町	17%	14%	12%	7%
海南市・紀美野町	3%	0%	1%	0%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	4%	1%	1%	2%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	0%	0%	0%	0%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	0%	0%	0%	1%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	0%	0%	0%	2%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	0%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	0%
合計	100% [n=827]	100% [n=872]	100% [n=652]	100% [n=525]

③ 海南市・紀美野町

通勤・通学は約47%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約27%、海南市・紀美野町（ブロック内の他市町へ通勤・通学）が約14%で、ブロック内での移動が約61%となっています。

買い物は約63%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約14%、海南市・紀美野町（ブロック内の他市町へ買い物）が約11%で、ブロック内での移動が約74%となっています。

通院は約62%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約19%、海南市・紀美野町（ブロック内の他市町へ通院）が約9%で、ブロック内での移動が約71%となっています。

娯楽・観光等は和歌山市が約43%と最も多く、ブロック内での移動が20%となっています。

居住地ブロック：海南市・紀美野町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	47%	63%	62%	17%
居住地市町村外(大阪府)	2%	1%	1%	15%
居住地市町村外(その他)	1%	1%	3%	10%
和歌山市	27%	14%	19%	43%
岩出市・紀の川市	3%	6%	3%	3%
海南市・紀美野町 ブロック内の他市町	14%	11%	9%	3%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	1%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	4%	2%	1%	3%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	1%	0%	1%	2%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	1%	0%	0%	4%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	0%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=514]	[n=519]	[n=397]	[n=308]

2.2 普段の外出【質問3】

④ 橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町

通勤・通学は約50%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約18%、大阪府が約17%で、ブロック内での移動が約68%となっています。

買い物は約73%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約17%で、ブロック内での移動が約90%を占めています。

通院は約70%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約15%で、ブロック内での移動が約85%を占めています。

娯楽・観光等は大阪府が約46%で最も多くなっています。

通勤・通学、買い物、通院のブロック内での移動についてみると、いずれの目的とも、九度山町・かつらぎ町・高野町→橋本市への移動が多くなっています。通勤・通学については、これに加えて、橋本市→かつらぎ町への移動も見られます。

居住地ブロック：橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	50%	73%	70%	12%
居住地市町村外(大阪府)	17%	3%	6%	46%
居住地市町村外(その他)	6%	1%	4%	25%
和歌山市	2%	2%	1%	6%
岩出市・紀の川市	4%	4%	3%	6%
海南市・紀美野町	1%	0%	0%	0%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	18%	17%	15%	2%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	0%	0%	0%	0%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	0%	0%	0%	0%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	0%	0%	0%	1%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	0%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=348]	[n=366]	[n=289]	[n=221]

《ブロック内市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院）》

目的地	居住地市町村			
	橋本市	九度山町	かつらぎ町	高野町
通勤・通学				
橋本市	5	16	1	
九度山町	2	0	0	
かつらぎ町	14	1	2	
高野町	4	0	1	
買い物				
橋本市	4	13	1	
九度山町	0	0	0	
かつらぎ町	3	1	1	
高野町	0	0	0	
通院				
橋本市	2	12	2	
九度山町	0	1	0	
かつらぎ町	6	0	0	
高野町	2	0	0	

⑤ 有田市・有田川町・湯浅町・広川町

通勤・通学は約54%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約21%、和歌山市が約14%で、ブロック内での移動が約75%となっています。ブロック内での移動は、有田市・湯浅町→有田川町、広川町→湯浅町、有田川町→有田市・湯浅町への移動が多くなっています。

買い物は約71%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約18%で、ブロック内での移動が約89%を占めています。ブロック内での移動は、有田市→有田川町、広川町→湯浅町への移動が多くなっています。

通院は約58%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、和歌山市が約17%、ブロック内の他市町が約16%で、ブロック内での移動が約74%を占めています。ブロック内での移動は、有田市→有田川町、湯浅町→有田市・有田川町、広川町→湯浅町、有田川町→有田市・湯浅町への移動が多くなっています。

娯楽・観光等は和歌山市が約41%で最も多くなっています。

居住地ブロック：有田市・有田川町・湯浅町・広川町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	54%	71%	58%	15%
居住地市町村外(大阪府)	2%	1%	1%	18%
居住地市町村外(その他)	2%	1%	2%	11%
和歌山市	14%	6%	17%	41%
岩出市・紀の川市	0%	0%	1%	1%
海南市・紀美野町	4%	2%	3%	2%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	0%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町 ブロック内の他市町	21%	18%	16%	4%
御坊市・美浜町・日高町・田良町・日高川町・印南町	2%	1%	3%	1%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	1%	0%	1%	5%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	0%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	0%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=678]	[n=725]	[n=559]	[n=405]

《ブロック内市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院）》

通勤・通学				
居住地市町村				
目的地	有田市	湯浅町	広川町	有田川町
有田市	7	7	7	13
湯浅町	7	13	14	14
広川町	2	2	2	2
有田川町	12	11	5	

買い物				
居住地市町村				
目的地	有田市	湯浅町	広川町	有田川町
有田市	2	1	4	4
湯浅町	5	30	3	3
広川町	0	1	0	0
有田川町	26	9	5	

通院				
居住地市町村				
目的地	有田市	湯浅町	広川町	有田川町
有田市	7	3	10	10
湯浅町	4	10	11	11
広川町	0	2	0	0
有田川町	8	7	5	

2.2 普段の外出【質問3】

⑥ 御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町

通勤・通学は約48%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約35%で、ブロック内での移動が約83%となっています。

買い物は約57%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約34%で、ブロック内での移動が約91%を占めています。

通院は約58%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約32%で、ブロック内での移動が約90%を占めています。

娯楽・観光等は和歌山市が25%で最も多く、これに次いで、居住市町内が22%となっています。

通勤・通学、買い物、通院に関しては、他ブロックに比べてブロック内の他市町間での移動が多くなっており、ブロック内での移動は、どの目的についても御坊市への移動がほとんど占めており、御坊市の求心力が高くなっています。

居住地ブロック：御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	48%	57%	58%	22%
居住地市町村外(大阪府)	2%	1%	1%	17%
居住地市町村外(その他)	1%	1%	1%	11%
和歌山市	6%	2%	4%	25%
岩出市・紀の川市	1%	0%	0%	1%
海南市・紀美野町	0%	0%	0%	1%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	0%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町 <small>ブロック内の他市町</small>	4%	2%	1%	2%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	35%	34%	32%	11%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	4%	3%	1%	9%
串本町・古座川町・すさみ町	0%	0%	0%	0%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	0%	0%	0%	1%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=513]	[n=535]	[n=430]	[n=327]

《ブロック内市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院）》

通勤・通学	居住地市町村					
	目的地	日高川町	御坊市	由良町	日高町	美浜町
日高川町		4	1	3	0	1
御坊市	26		19	21	14	15
由良町	1	3		2	1	1
日高町	0	2	1		2	0
美浜町	1	5	5	5		1
印南町	3	2	0	2	2	

買い物	居住地市町村					
	目的地	日高川町	御坊市	由良町	日高町	美浜町
日高川町		1	0	0	0	0
御坊市	39		37	36	25	25
由良町	0	1		0	1	0
日高町	0	0	1		0	0
美浜町	0	0	0	0		0
印南町	0	0	0	0	0	

通院	居住地市町村					
	目的地	日高川町	御坊市	由良町	日高町	美浜町
日高川町		1	0	0	0	1
御坊市	29		28	23	17	23
由良町	0	1		1	0	0
日高町	0	0	0		1	0
美浜町	0	2	0	1		0
印南町	1	0	0	0	0	

⑦ 田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町

通勤・通学は約62%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約29%で、ブロック内での移動が約91%となっています。

買い物は約75%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約21%で、ブロック内での移動が約96%を占めています。

通院は約72%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約22%で、ブロック内での移動が約94%を占めています。

娯楽・観光等は居住市町内が39%で最も多く、これに次いで、ブロック内の他市町が約21%となっています。

ブロック内での移動は、どの目的についても、各町から田辺市への移動が多くを占めていますが、買い物については田辺市や白浜町から上富田町への移動も多くなっています。

居住地ブロック：田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	62%	75%	72%	39%
居住地市町村外(大阪府)	1%	0%	1%	14%
居住地市町村外(その他)	2%	1%	2%	10%
和歌山市	2%	1%	2%	11%
岩出市・紀の川市	0%	0%	0%	0%
海南市・紀美野町	0%	0%	0%	0%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	0%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	1%	0%	0%	0%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	2%	1%	1%	1%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町 <small>ブロック内の他市町</small>	29%	21%	22%	21%
串本町・古座川町・すさみ町	1%	0%	0%	2%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	1%	1%	0%	1%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=985]	[n=1009]	[n=752]	[n=602]

《ブロック内市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院、娯楽・観光等）》

目的地	居住地市町村			
	田辺市	みなべ町	白浜町	上富田町
通勤・通学				
田辺市		36	40	47
みなべ町	8		2	2
白浜町	18	2		14
上富田町	18	2	8	
買い物				
田辺市		29	30	21
みなべ町	2		0	1
白浜町	2	1		5
上富田町	27	2	26	
通院				
田辺市		23	38	41
みなべ町	0		1	1
白浜町	6	2		1
上富田町	2	1	5	
娯楽・観光等				
田辺市		22	33	30
みなべ町	0		0	0
白浜町	13	0		6
上富田町	3	0	1	

2.2 普段の外出【質問3】

⑧ 串本町・古座川町・すさみ町

通勤・通学は約61%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内および隣接するブロックの他市町が約9~16%で、ブロック内での移動が約77%となっています。

買い物は約71%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内および隣接するブロックの他市町が約8~11%で、ブロック内での移動が約82%となっています。

通院は約60%が居住市町内での移動となっており、これに次いで、ブロック内および隣接するブロックの他市町が約8~17%で、ブロック内での移動が約68%を占めています。

娯楽・観光等は居住市町内が26%で最も多く、これに次いで当該ブロック東側の新宮市等を含むブロックが約20%となっています。

ブロック内での移動は、すさみ町→田辺市、串本町→新宮市・田辺市、古座川町→串本町の移動が多くなっています。

居住地ブロック：串本町・古座川町・すさみ町				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	61%	71%	60%	26%
居住地市町村外(大阪府)	0%	0%	0%	16%
居住地市町村外(その他)	2%	0%	1%	16%
和歌山市	2%	0%	1%	6%
岩出市・紀の川市	0%	0%	0%	0%
海南市・紀美野町	0%	0%	0%	0%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	0%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	0%	0%	0%	1%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	0%	0%	1%	0%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	9%	10%	17%	13%
串本町・古座川町・すさみ町	16%	11%	8%	2%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	9%	8%	11%	20%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=324]	[n=355]	[n=245]	[n=186]

《ブロック内及び隣接するブロック市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院、娯楽・観光等）》

通勤・通学	居住地市町村		
	すさみ町	串本町	古座川町
目的地			
田辺市	11	8	1
みなべ町	1	0	0
白浜町	5	0	0
上富田町	2	1	0
すさみ町		4	1
串本町	1		14
古座川町	0	6	
新宮市	0	20	3
那智勝浦町	0	5	0
太地町	0	2	0
北山村	0	0	0

買い物	居住地市町村		
	すさみ町	串本町	古座川町
目的地			
田辺市	9	12	1
みなべ町	0	0	0
白浜町	3	0	0
上富田町	9	0	0
すさみ町		0	0
串本町	0		14
古座川町	0	1	
新宮市	1	26	1
那智勝浦町	0	2	0
太地町	0	0	0
北山村	0	0	0

通院	居住地市町村		
	すさみ町	串本町	古座川町
目的地			
田辺市	5	28	0
みなべ町	0	0	0
白浜町	2	3	0
上富田町	3	0	0
すさみ町		0	0
串本町	2		3
古座川町	0	1	
新宮市	0	15	2
那智勝浦町	0	7	3
太地町	0	1	0
北山村	0	0	0

娯楽・観光等	居住地市町村		
	すさみ町	串本町	古座川町
目的地			
田辺市	2	13	2
みなべ町	1	1	0
白浜町	2	3	0
上富田町	0	0	0
すさみ町		0	0
串本町	1		0
古座川町	0	1	
新宮市	0	31	3
那智勝浦町	0	4	0
太地町	0	0	0
北山村	0	0	0

⑨ 新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村

通勤・通学は約67%が居住市町村内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約21%で、ブロック内での移動が約88%となっています。

買い物は約78%が居住市町村内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約20%で、ブロック内での移動が約98%を占めています。

通院は約72%が居住市町村内での移動となっており、これに次いで、ブロック内の他市町が約16%で、ブロック内での移動が約88%を占めています。

娯楽・観光等は居住市町村内が35%で最も多く、これに次いで、その他が約25%となっています（主に三重県が多い）。

ブロック内での移動は、どの目的についても、各市町村から新宮市への移動が多くを占めており、新宮市の求心力が高くなっています。

居住地ブロック：新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村				
目的地	通勤・通学	買い物	通院	娯楽・観光等
居住地市町村内	67%	78%	72%	35%
居住地市町村外(大阪府)	1%	0%	0%	12%
居住地市町村外(その他)	7%	2%	6%	25%
和歌山市	2%	0%	1%	4%
岩出市・紀の川市	0%	0%	0%	0%
海南市・紀美野町	0%	0%	0%	0%
橋本市・九度山町・かつらぎ町・高野町	0%	0%	0%	0%
有田市・有田川町・湯浅町・広川町	0%	0%	0%	0%
御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町	0%	0%	0%	0%
田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町	2%	0%	3%	4%
串本町・古座川町・すさみ町	1%	1%	1%	2%
新宮市・那智勝浦町・太地町・北山村	21%	20%	16%	17%
合計	100%	100%	100%	100%
	[n=393]	[n=420]	[n=308]	[n=231]

《ブロック内市町村間での移動について（通勤・通学、買い物、通院）》

通勤・通学	居住地市町村			
目的地	新宮市	那智勝浦町	太地町	北山村
新宮市	33	5	4	0
那智勝浦町	5	0	0	0
太地町	2	0	0	0
北山村	0	0	0	0

買い物	居住地市町村			
目的地	新宮市	那智勝浦町	太地町	北山村
新宮市	35	9	2	0
那智勝浦町	2	5	0	0
太地町	0	0	0	0
北山村	0	0	0	0

通院	居住地市町村			
目的地	新宮市	那智勝浦町	太地町	北山村
新宮市	24	3	3	0
那智勝浦町	7	2	0	0
太地町	0	0	0	0
北山村	0	0	0	0

娯楽・観光等	居住地市町村			
目的地	新宮市	那智勝浦町	太地町	北山村
新宮市	20	1	2	0
那智勝浦町	9	3	0	0
太地町	0	0	0	0
北山村	0	0	0	0

2.3 公共交通の利用状況【質問4】

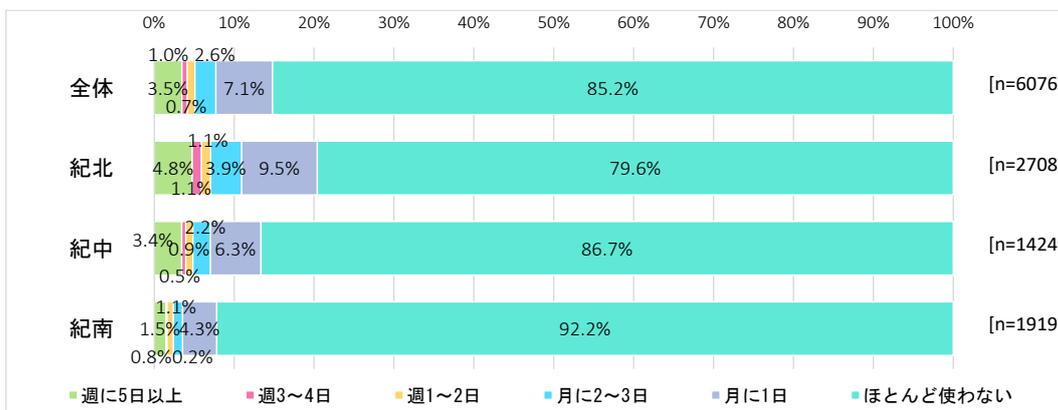
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

(1) 鉄道の利用について

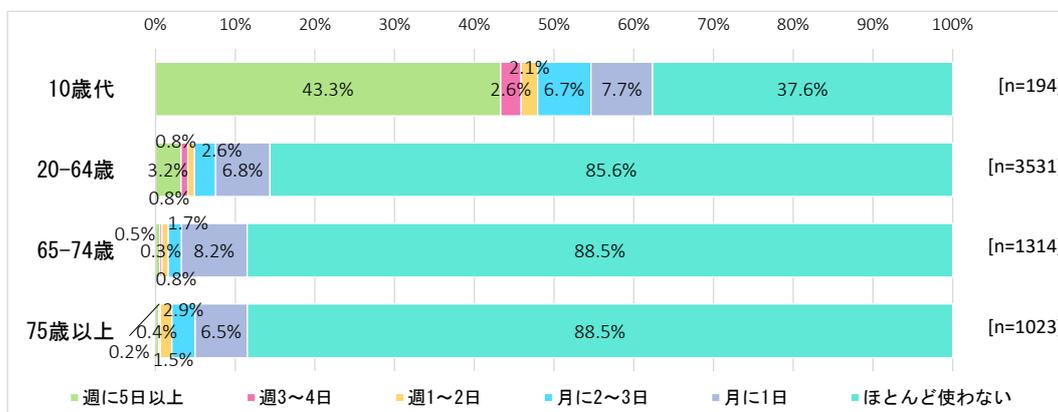
① 鉄道の利用頻度

鉄道の利用頻度については、約15%が「月に1日」以上利用すると回答しています。地域別にみると、紀北で約20%、紀中で約13%、紀南で8%となっており、県南部ほど利用頻度は低くなっています。年齢別にみると、10歳代は「週5日以上」が約43%で最も多く、20歳以上では「ほとんど使わない」が86%～89%を占めています。運転免許の保有状況別にみると、「月に1日」以上利用する割合が、運転免許保有者が約13%であるのに対して、免許非保有者は約26%と約2倍となっています。

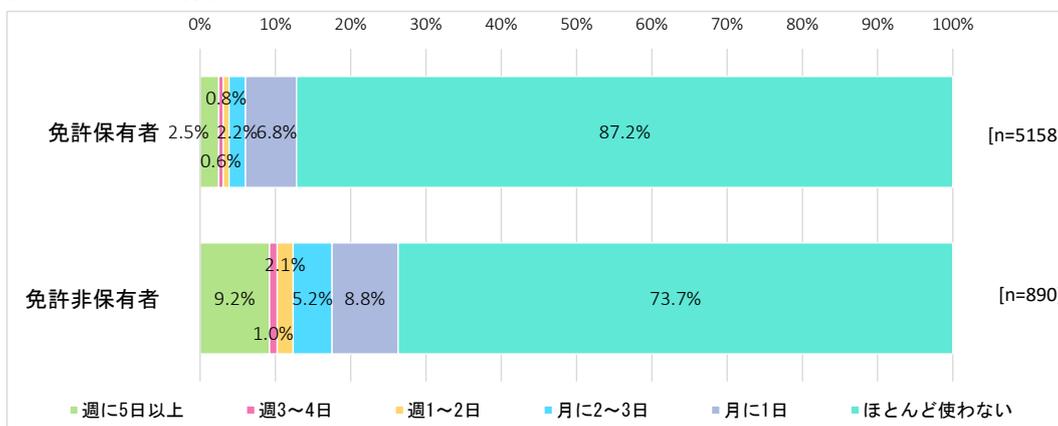
【地域別】



【年齢別】



【運転免許の保有状況別】



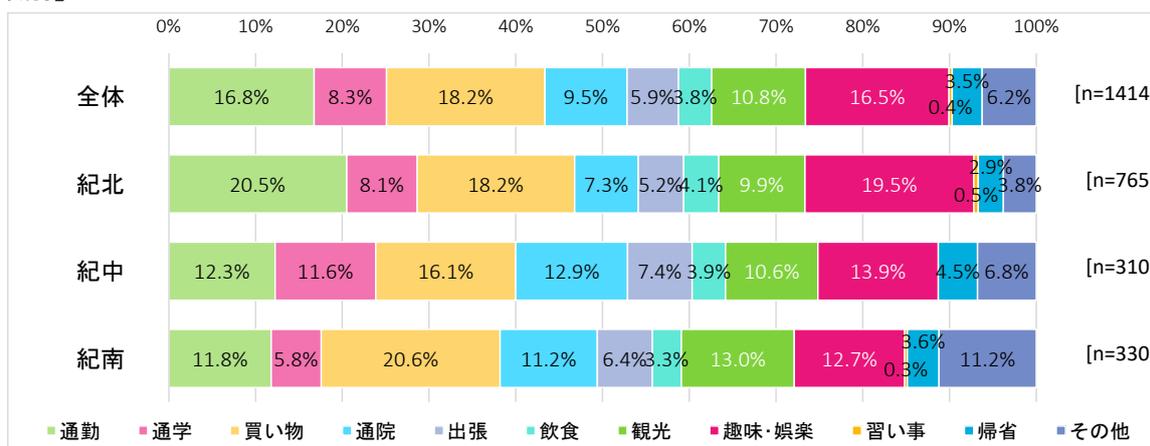
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 鉄道の利用目的

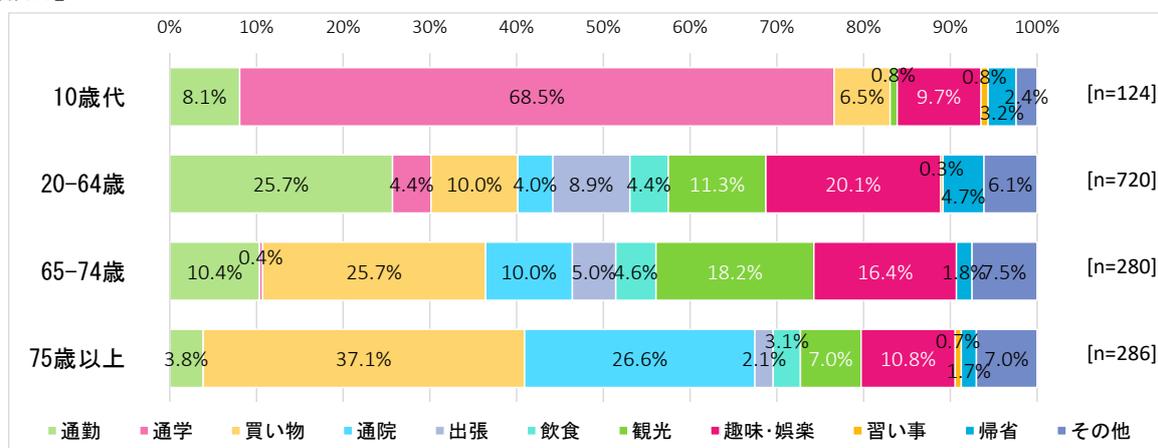
鉄道の利用目的については、買い物（約18%）、通勤（約17%）、趣味・娯楽（約17%）の順となっています。地域別にみると、紀北では通勤（約21%）、趣味・娯楽（約20%）、紀南では買い物（約21%）が他地域に比べてやや多くなっています。

年齢別にみると、10歳代では通学が約69%で圧倒的に多くなっています。20-64歳では通勤（約26%）や趣味・娯楽（約20%）、65-74歳以上では買い物（約26%）、75歳以上では買い物（約37%）、通院（約27%）が、それぞれ多くなっています。

【地域別】



【年齢別】



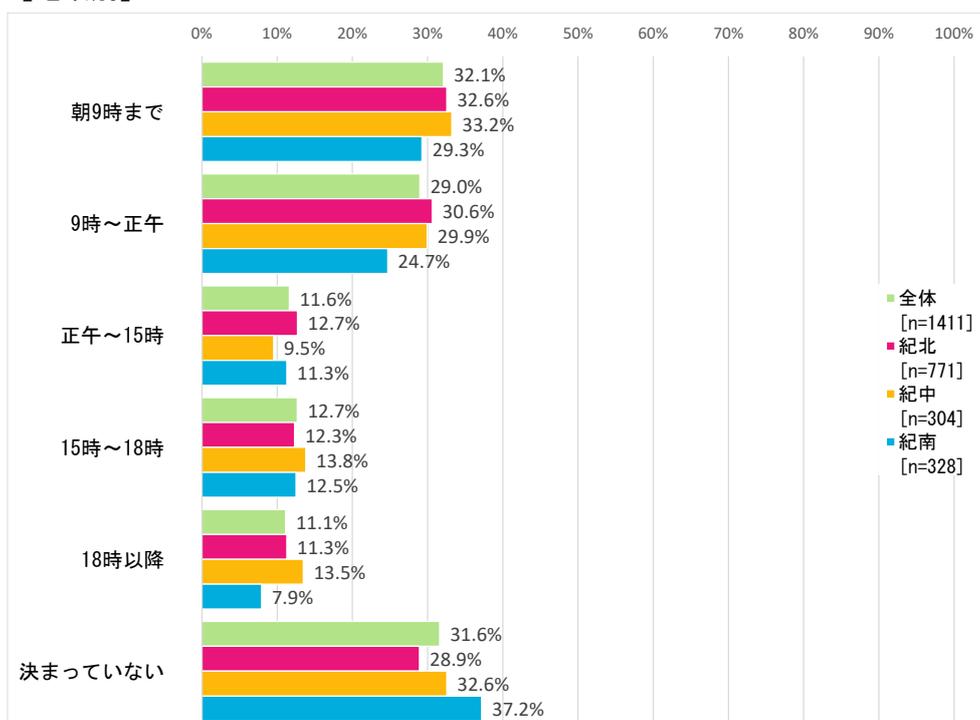
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

2.3 公共交通の利用状況【質問4】

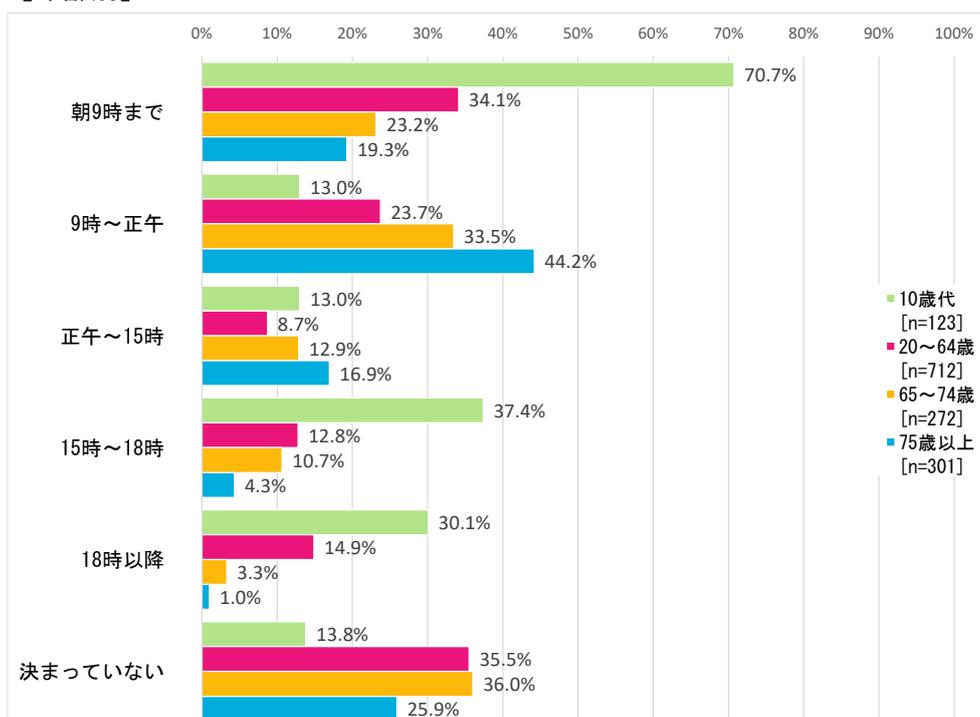
③ 鉄道をよく利用する時間帯

鉄道をよく利用する時間帯については、「朝9時まで」が最も多く約32%、これに次いで「9時～正午」が約29%となっており、午前中の利用が多くなっています。地域による差はそれほどありません。年齢別にみると、通学での利用が多い10歳代は、「朝9時まで」と「15～18時」の集中する一方、高齢になるほど、「9時～正午」の利用が多くなる傾向があります。

【地域別】



【年齢別】



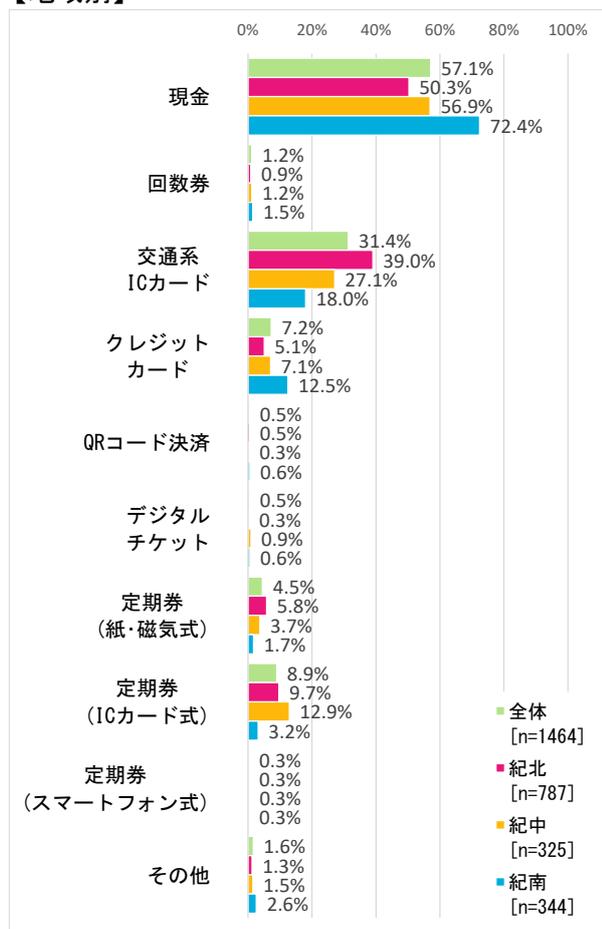
※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

④ 鉄道の運賃の支払い方法

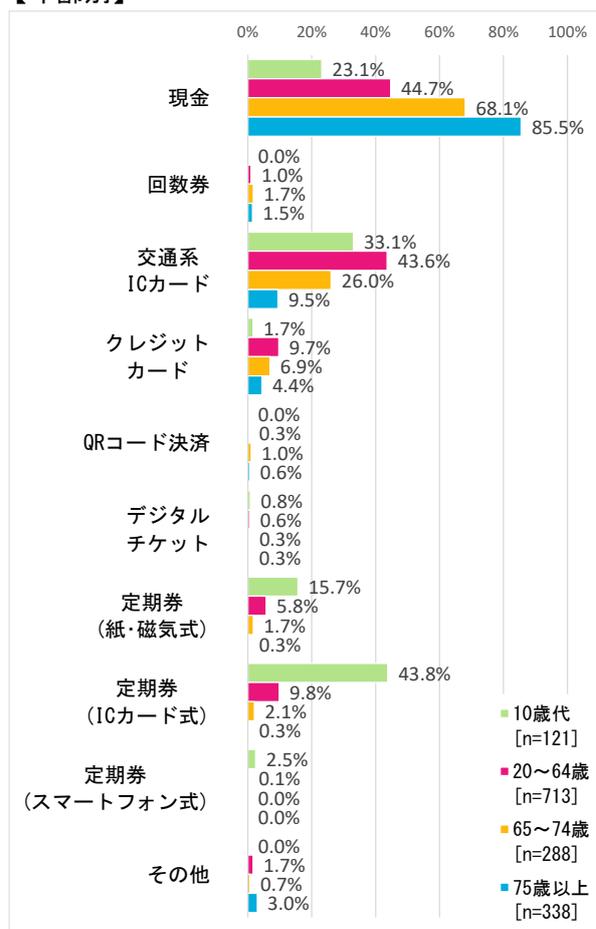
鉄道の運賃の支払い方法については、「現金」が約57%で最も多く、これに次いで「交通系ICカード」が約31%となっています。ICカードは紀北では約39%ですが、紀中で約27%、紀南で18%と南部ほど利用率が低くなっています。「定期券」については紙・磁気式が約5%、ICカード式が約9%となっています。

年齢別にみると、10歳代は定期の利用率が高く、20歳以上は、高齢になるほど、現金の利用率が高く、交通系ICカードの利用率が低くなっています。75歳以上では、現金が約86%であるのに対し、交通系ICカードは約10%にとどまっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

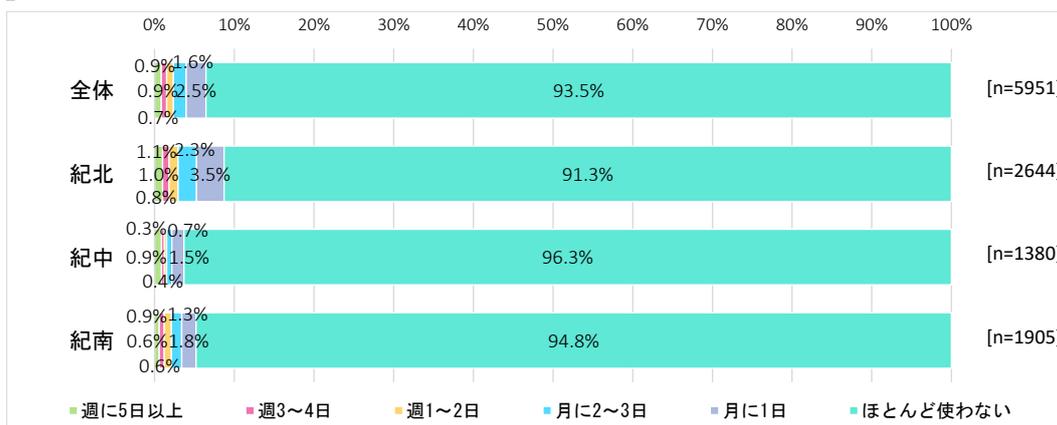
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

(2) 路線バスの利用について

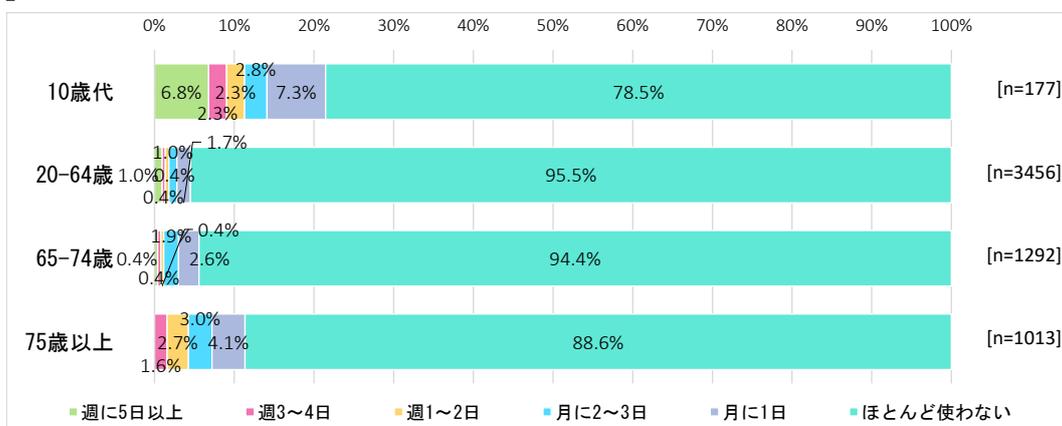
① 路線バスの利用頻度

路線バスの利用頻度については、約6%が「月に1日」以上利用すると回答しています。地域別にみると、紀北で約9%、紀中で約4%、紀南で5%となっており、紀北に比べ紀南・紀中は利用頻度が低くなっています。年齢別にみると、10歳代は約21%が「月に1日」以上利用すると回答した一方、20-64歳および65-74歳では約5%、75歳以上では約11%となっています。運転免許の保有状況別にみると、「月に1日」以上利用する割合が、運転免許保有者が約4%であるのに対して、免許非保有者は約19%と約5倍となっています。

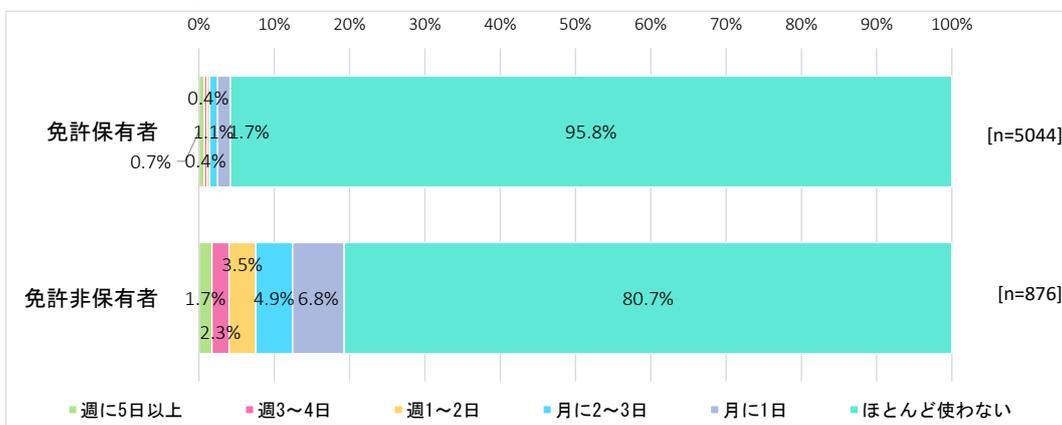
【地域別】



【年齢別】



【運転免許の保有状況別】



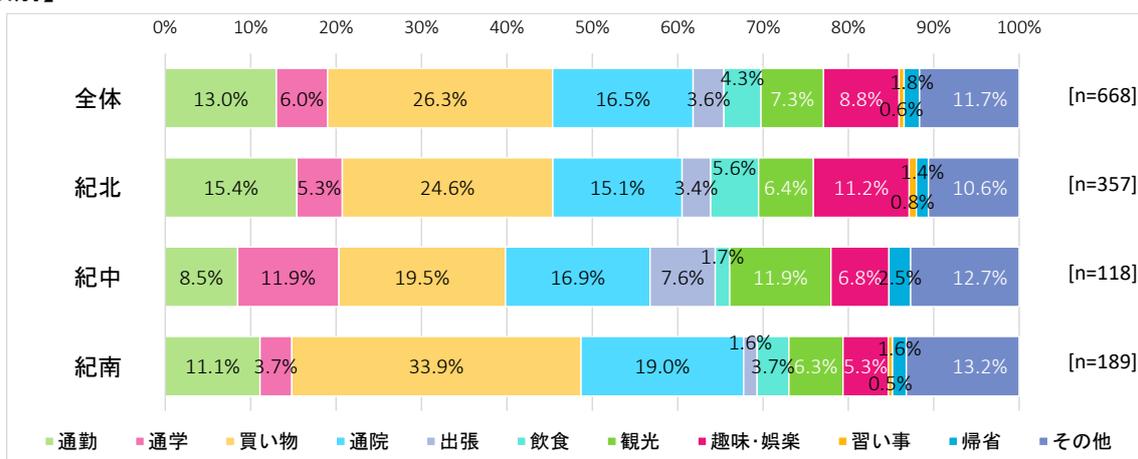
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② 路線バスの利用目的

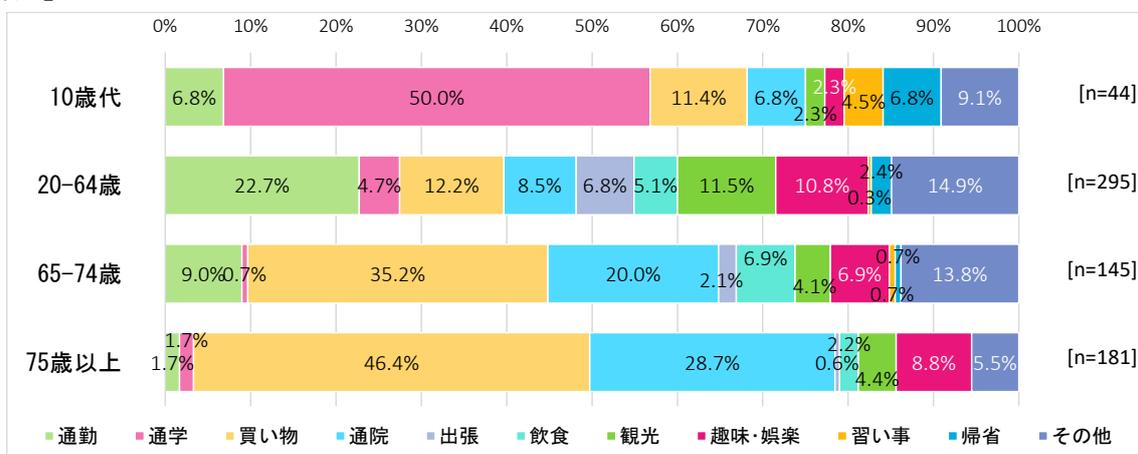
路線バスの利用目的については、買い物（約26%）、通院（約17%）、通勤（約13%）の順となっています。地域別にみると、紀北では買い物（約25%）、通勤（約15%）、紀中では観光（約12%）、紀南では買い物（約34%）、通院（約19%）が他地域に比べやや多くなっています。

年齢別にみると、10歳代では通学（50%）、20-64歳では通勤（約23%）、65-74歳以上では買い物（約35%）、75歳以上では買い物（約46%）、通院（約29%）が、それぞれ多くなっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

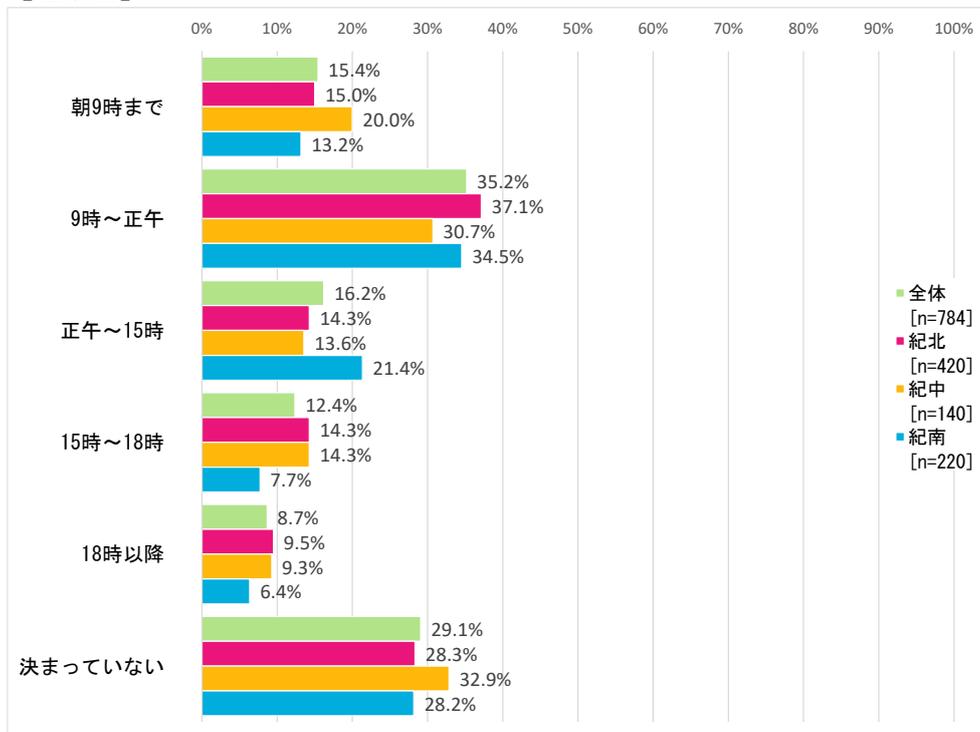
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

③ 路線バスをよく利用する時間帯

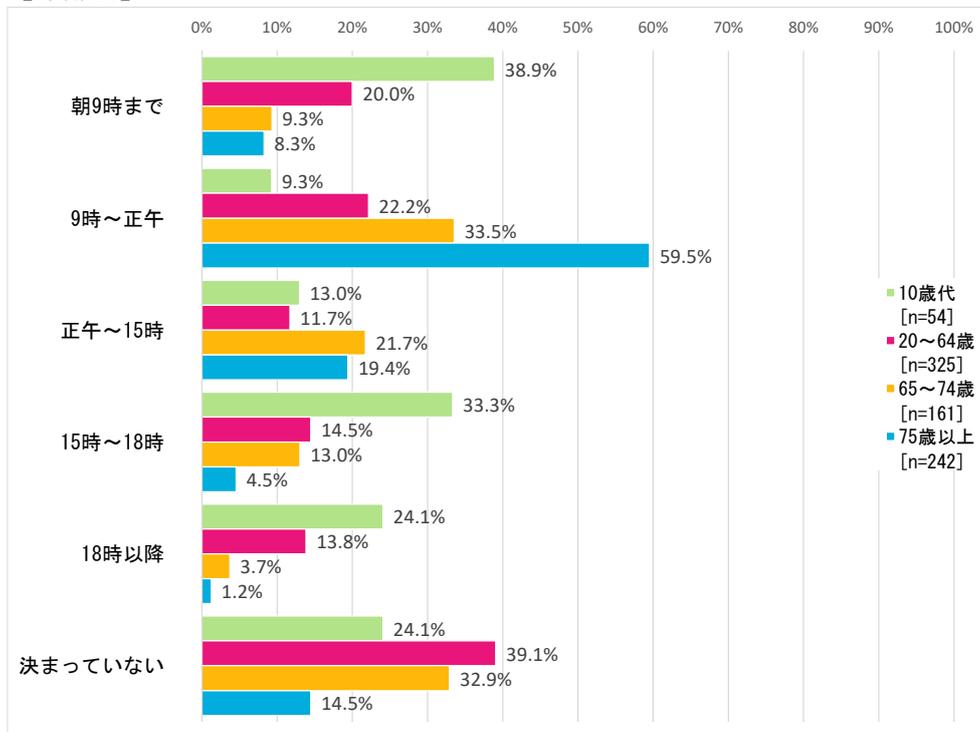
路線バスをよく利用する時間帯については、「9時～正午」が約35%で最も多く、「正午～15時」「朝9時まで」が約15～16%で同程度となっています。

地域差はそれほどありませんが、紀中では「朝9時まで」、紀南では「正午～15時」が他地域に比べてやや高くなっています。

【地域別】



【年齢別】



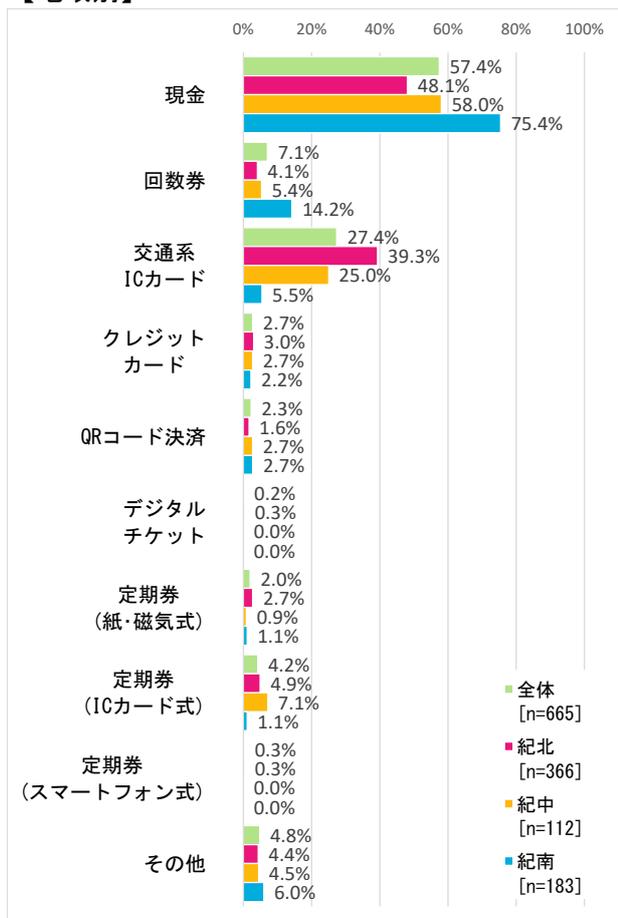
※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

④ 路線バスの運賃の支払い方法

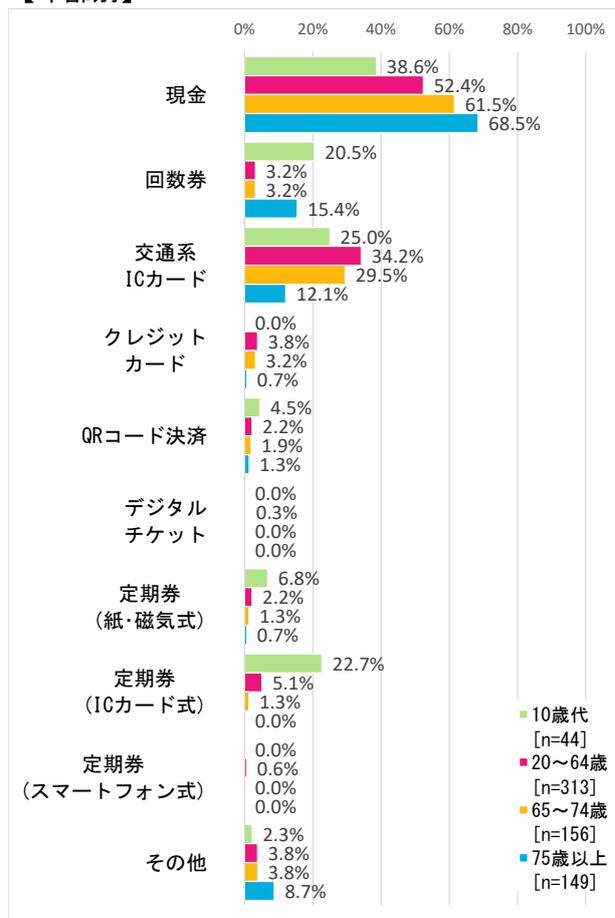
路線バスの運賃の支払い方法については、「現金」が約57%で最も多く、これに次いで「交通系ICカード」が約27%となっています。ICカードは紀北では約39%ですが、紀中で約25%、紀南で6%と紀南で特に低くなっています。

年齢別にみると、10歳代は定期の利用率が高く、20歳以上は、高齢になるほど、現金の利用率が高く、交通系ICカードの利用率が低くなっています。75歳以上では、現金が約69%であるのに対し、交通系ICカードは約12%にとどまっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

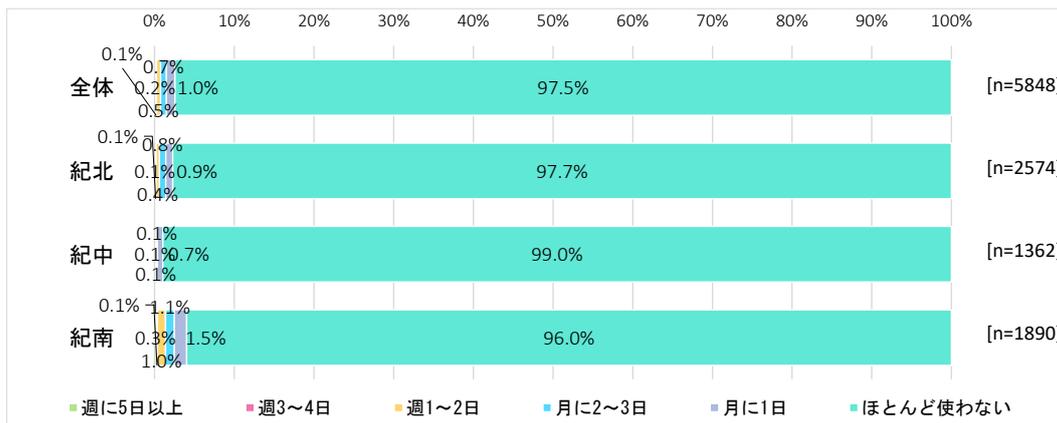
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

(3) コミュニティバス・デマンド交通の利用について

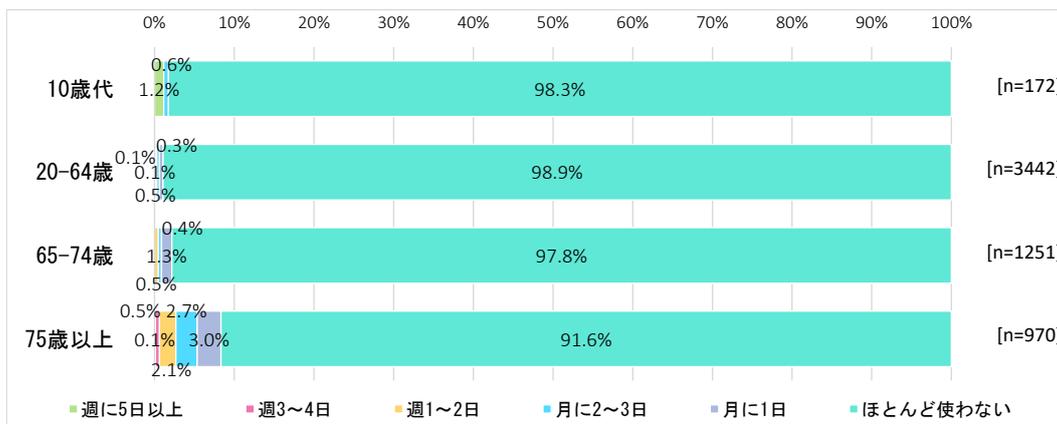
① コミュニティバス・デマンド交通の利用頻度

コミュニティバス・デマンド交通の利用頻度については、約3%が「月に1日」以上利用すると回答しています。地域差はそれほどなく、年齢別にみると、10～74歳までは約2%ですが、75歳以上では約8%となっています。また、運転免許の保有状況別にみると、「月に1日」以上利用する割合が、運転免許保有者が約1%であるのに対して、免許非保有者は約10%と約10倍となっています。

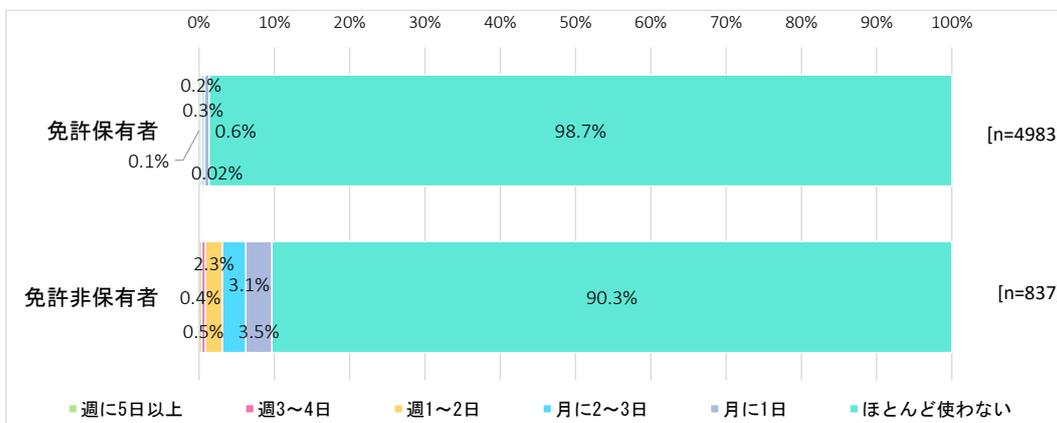
【地域別】



【年齢別】



【運転免許の保有状況別】



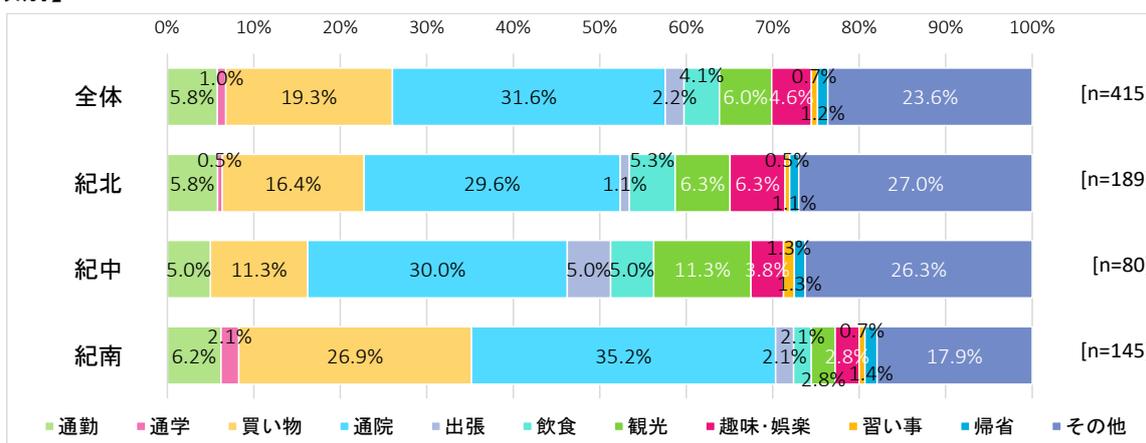
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② コミュニティバス・デマンド交通の利用目的

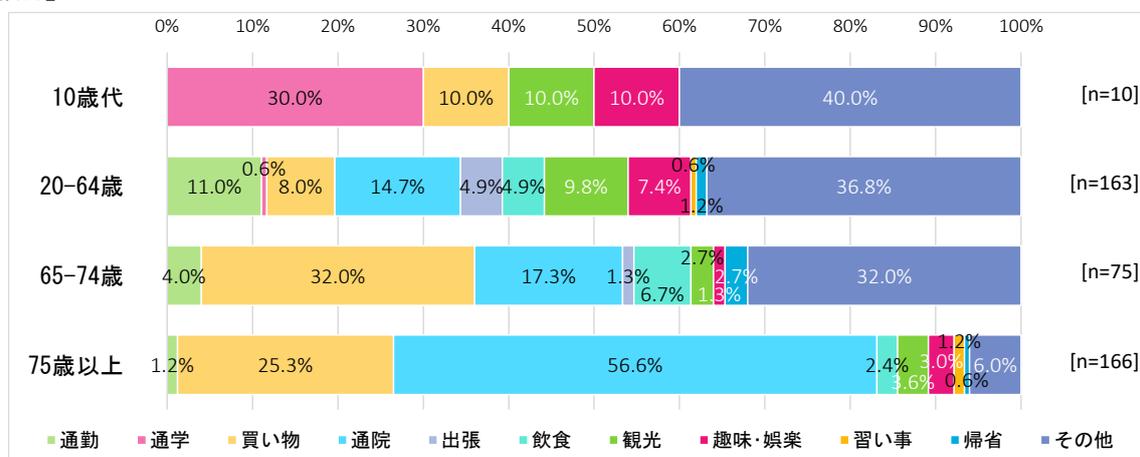
コミュニティバス・デマンド交通の利用目的については、通院が約32%で最も多く、これに次いで買い物が約19%となっています。

地域別にみると、紀中では観光（約11%）、紀南では買い物（約27%）、通院（約35%）が他地域に比べやや多くなっています。年齢別にみると、10歳代では通学、20歳以上では買い物や通院が多くなっており、特に75歳以上では、通院が約57%、買い物が約25%となっており、高齢者の買い物や通院の用途に多く利用されている状況です。

【地域別】



【年齢別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

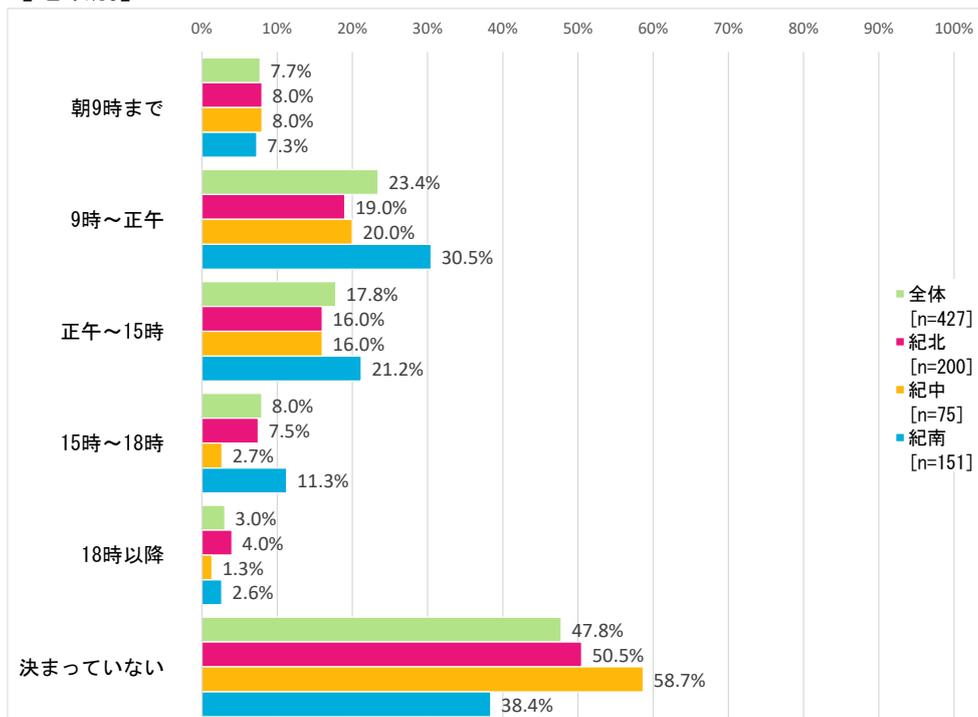
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

③ コミュニティバス・デマンド交通をよく利用する時間帯

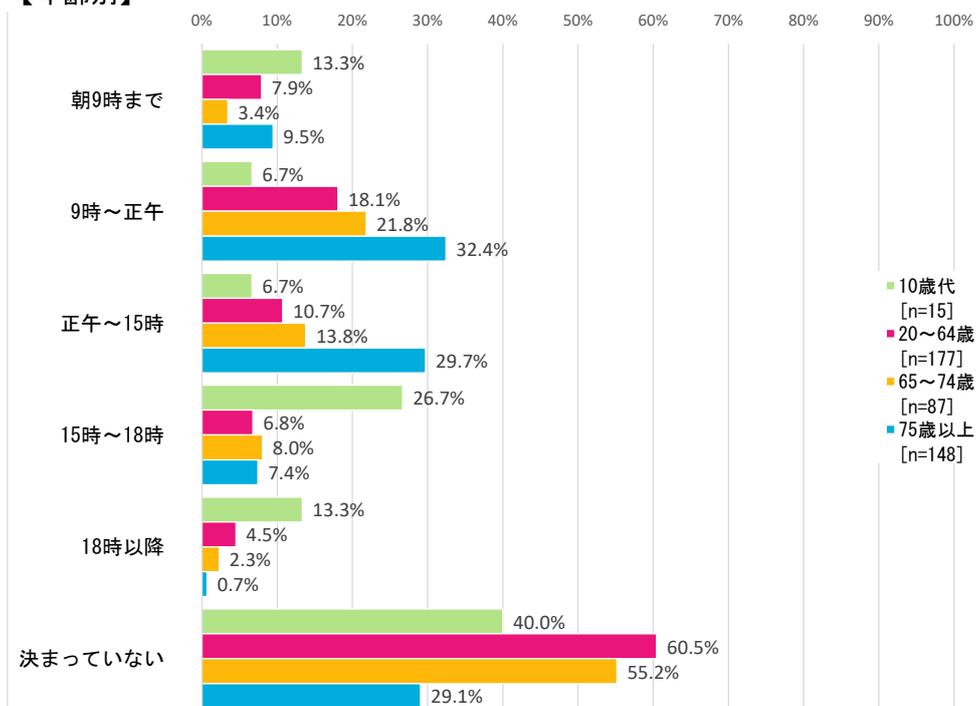
コミュニティバス・デマンド交通をよく利用する時間帯については、「決まっていない」が約48%で最も多く、これに次いで、「9時～正午」が約23%、「正午～15時」が約18%となっています。

地域別にみると、紀南では利用する時間帯が決まっている割合が他地域に比べ高く、紀中では利用する時間が決まっている割合が他地域に比べ低くなっています。年齢別にみると、高齢になるほど、「9時～正午」および「正午～15時」で利用する割合が高くなっています。

【地域別】



【年齢別】



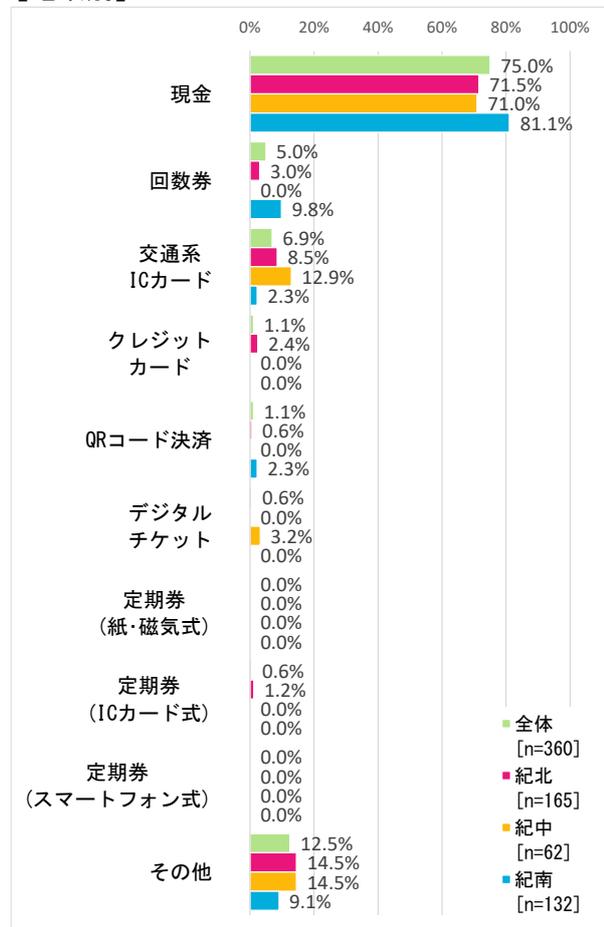
※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

④ コミュニティバス・デマンド交通の運賃の支払い方法

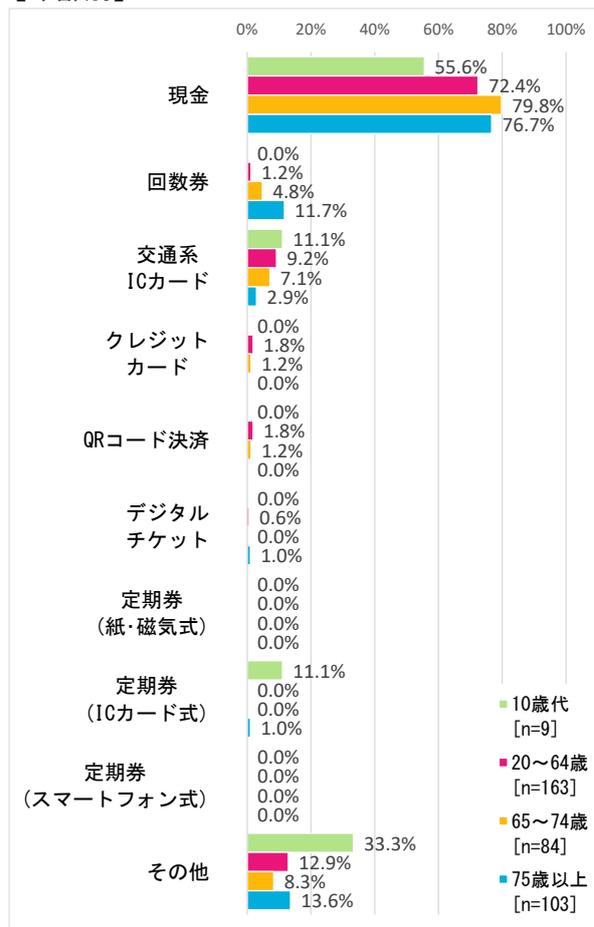
コミュニティバス・デマンド交通の運賃の支払い方法については、「現金」が約75%で圧倒的に多くなっています。

年齢別にみると、10歳代は定期や交通系ICカードを利用する割合が高く、20歳以上は、高齢になるほど、現金の利用率が高く、交通系ICカードの利用率が低くなっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

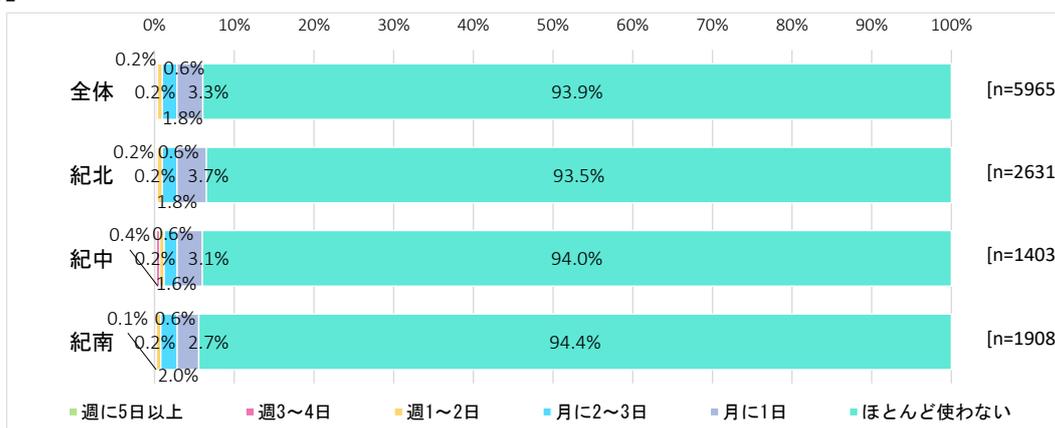
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

(4) タクシーの利用について

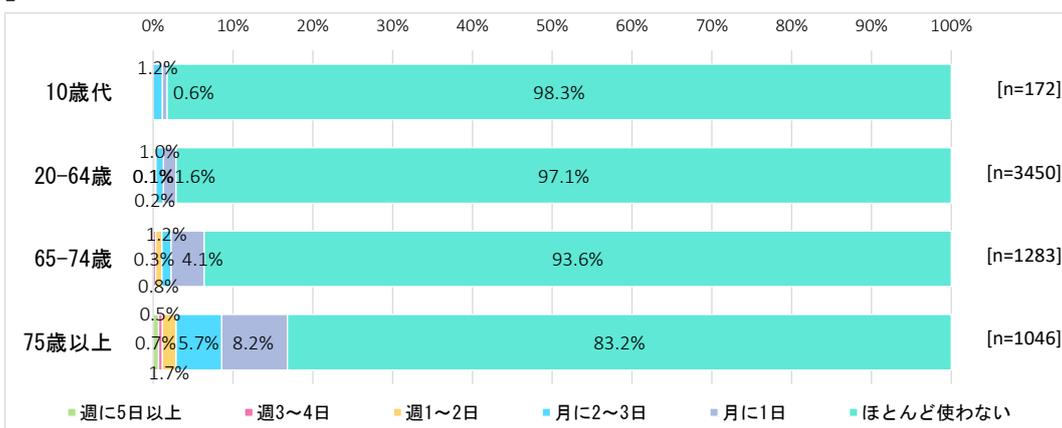
① タクシーの利用頻度

タクシーの利用頻度については、約6%が「月に1日」以上利用すると回答しています。地域差はほとんどなく、高齢であるほど、また、運転免許を保有してないほどタクシーの利用頻度が高く、75歳以上では約17%、免許非保有者では約20%が月に1日以上利用しています。

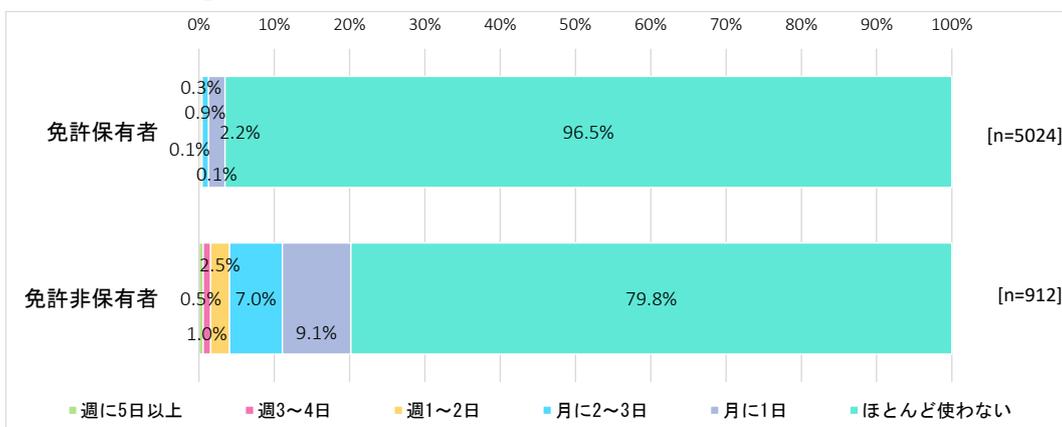
【地域別】



【年齢別】



【運転免許の保有状況別】



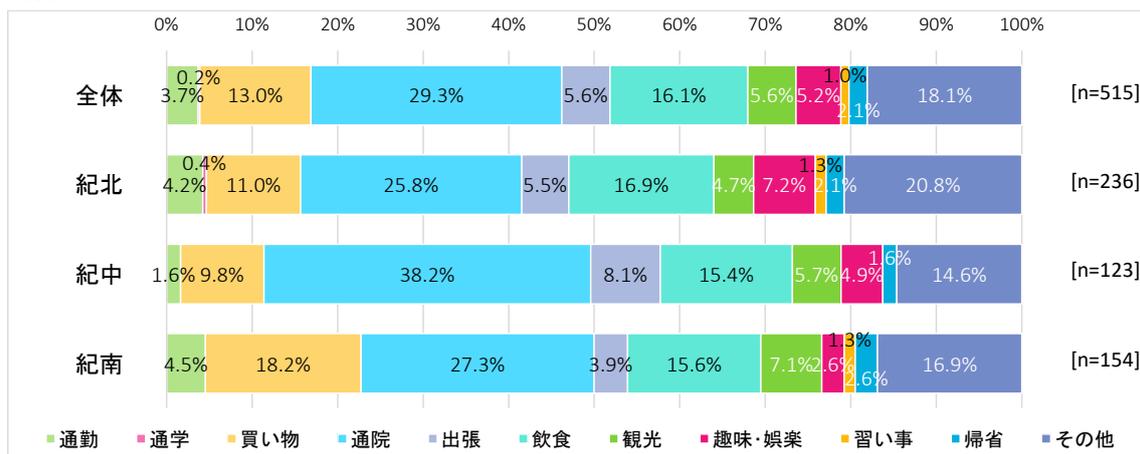
※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

② タクシーの利用目的

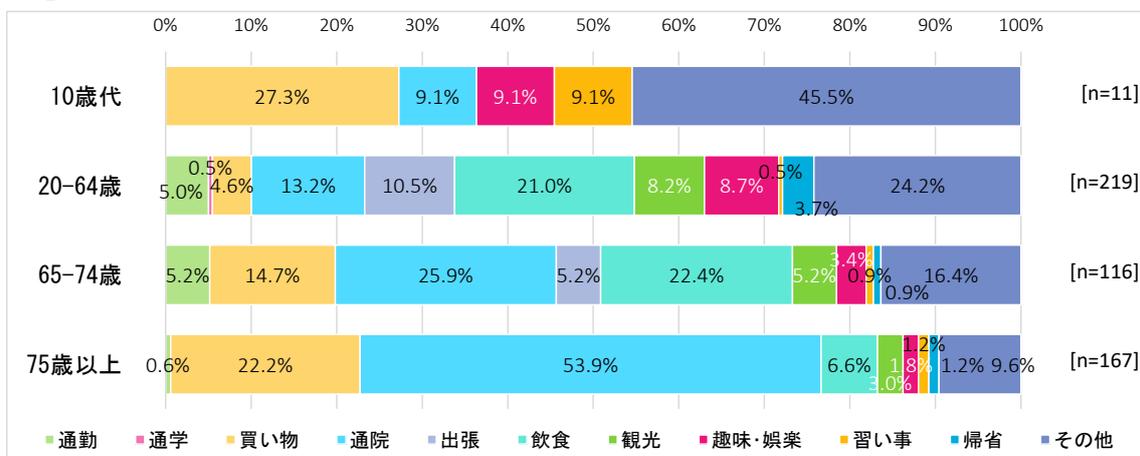
タクシーの利用目的については、通院が約29%で最も多く、これに次いで飲食が約16%、買い物が約13%となっています。

地域別にみると、紀中では通院（約38%）、紀南では買い物（約18%）が他地域に比べやや高くなっています。年齢別にみると、高齢になるほど、買い物、通院で利用する割合が高くなっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 不明・未回答、複数回答された回答を除く割合

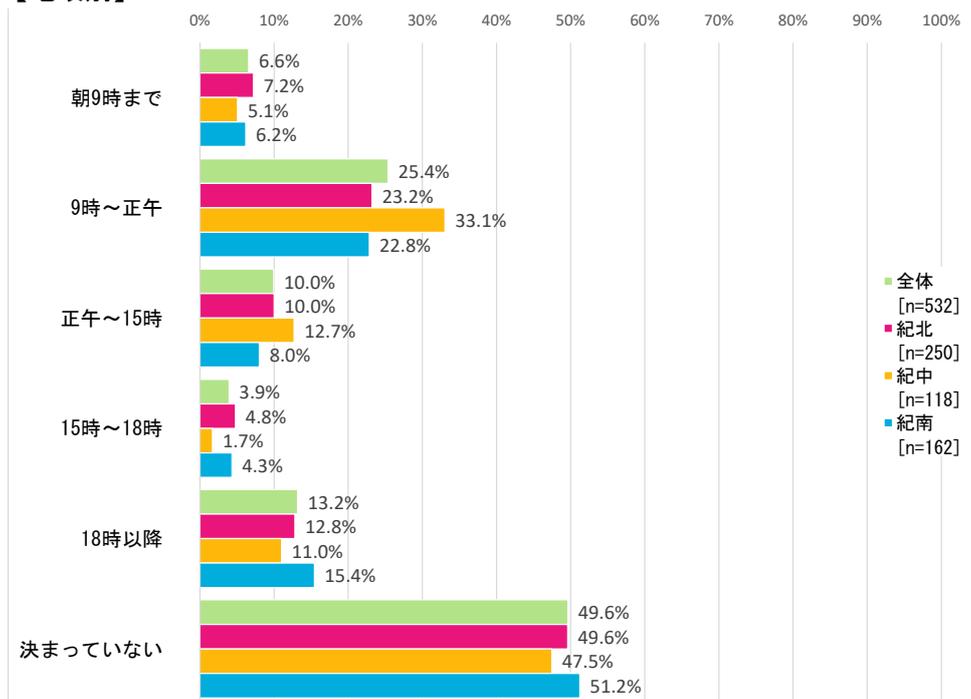
2.3 公共交通の利用状況【質問4】

③ タクシーをよく利用する時間帯

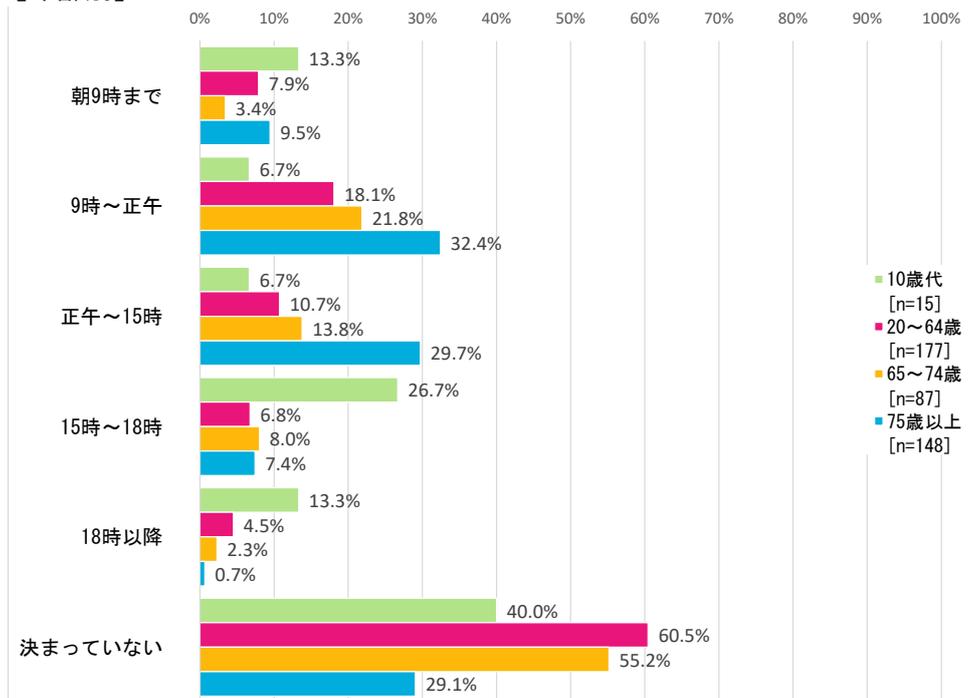
タクシーをよく利用する時間帯については、「決まっていない」が約50%で最も多く、これに次いで、「9時～正午」が約25%、「18時以降」が約13%となっています。

地域差はそれほどありませんが、紀中では「9時～正午」が他地域に比べてやや高くなっています。年齢別にみると、高齢になるほど、「9時～正午」および「正午～15時」で利用する割合が高く、「決まっていない」割合が低くなっており、診察予約など予め決まった時間帯の移動でタクシーを利用していることが伺えます。

【地域別】



【年齢別】

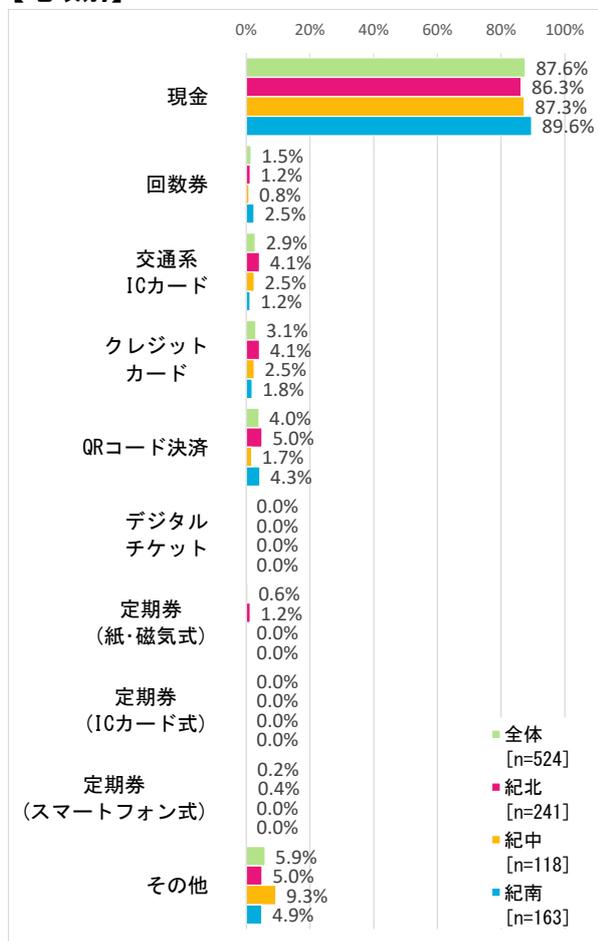


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

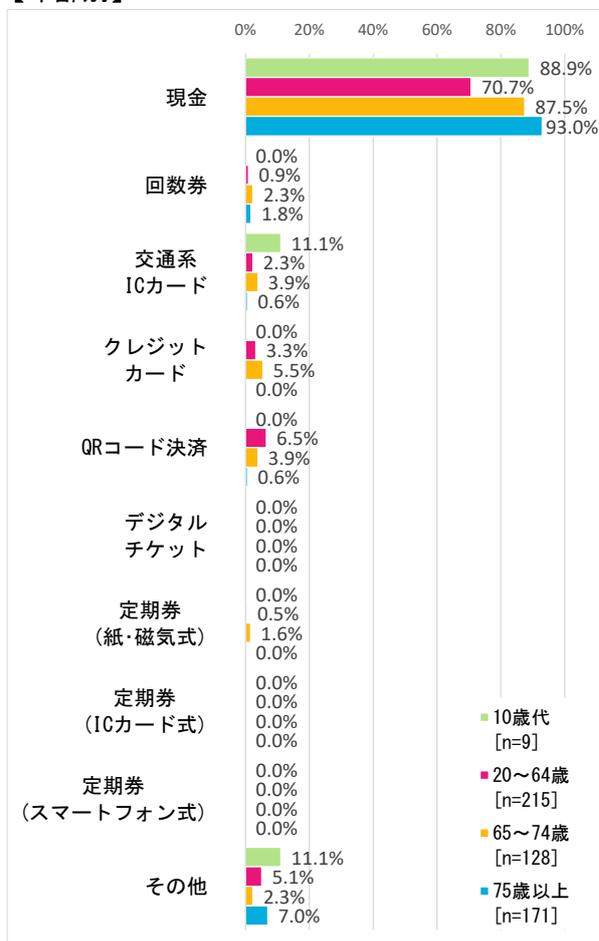
④ タクシーの運賃の支払い方法

タクシーの運賃の支払い方法については、「現金」が約88%で圧倒的に多くなっています。

【地域別】



【年齢別】



※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.3 公共交通の利用満足度【質問5】

2.3 公共交通の利用満足度【質問5】

(1) 鉄道の利用満足度

「運行の定時性（時刻表通りの運行）」の満足度が最も高く、次いで「乗務員や駅員の対応」となっています。一方、「普通列車の本数、運行間隔」「待ち時間」「特急列車の本数、運行間隔」について満足度が低くなっています。

地域別にみると、紀中では「普通列車の本数、運行間隔」、紀南では「普通列車の本数、運行間隔」「待ち時間」が他地域に比べて満足度が低くなっています。年齢別にみると、10歳代で「普通列車の本数、運行間隔」「待ち時間」が他の年代に比べて満足度が低くなっています。

《鉄道に関する満足度（地域別）》

項目	全県	紀北	紀中	紀南	
1 普通列車の本数、運行間隔	2.59	2.75	2.35	2.43	
2 普通列車の運行時間帯(始発・最終)	2.88	3.02	2.85	2.60	
3 特急列車の本数、運行間隔	2.73	2.82	2.81	2.52	
4 特急列車の運行時間帯(始発・最終)	2.79	2.89	2.78	2.63	
5 運行の定時性(時刻表通りの運行)	3.72	3.77	3.83	3.52	
6 駅での乗り継ぎ(バス等)	2.76	2.80	2.78	2.66	
7 待ち時間	2.64	2.73	2.53	2.50	
8 自宅から駅までの距離	2.86	2.84	2.94	2.85	
9 駅の待合施設	3.04	2.99	3.06	3.15	
10 駅のバリアフリー(エレベータ、スロープ等の設備面)	3.05	3.07	3.18	2.89	
11 駅のバリアフリー(音声案内、介助等のサポート面)	3.05	3.05	3.10	2.98	
12 駅での情報提供(行き先、遅延案内等)	3.08	3.08	3.16	3.02	
13 駅周辺の駐車場や駐輪場	2.91	2.80	3.22	2.87	
14 運賃	2.77	2.80	2.82	2.67	
15 キャッシュレス決済の導入状況	3.10	3.13	3.14	2.98	
16 乗務員や駅員の対応	3.38	3.36	3.37	3.44	
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

《鉄道に関する満足度（年齢別）》

項目	全年代	10歳代	20-64歳	65-74歳	75歳以上
1 普通列車の本数、運行間隔	2.59	2.17	2.52	2.75	2.88
2 普通列車の運行時間帯(始発・最終)	2.88	2.99	2.78	3.00	3.06
3 特急列車の本数、運行間隔	2.73	3.05	2.66	2.71	2.89
4 特急列車の運行時間帯(始発・最終)	2.79	3.05	2.71	2.79	2.98
5 運行の定時性(時刻表通りの運行)	3.72	3.78	3.68	3.74	3.83
6 駅での乗り継ぎ(バス等)	2.76	2.98	2.77	2.74	2.60
7 待ち時間	2.64	2.34	2.60	2.76	2.81
8 自宅から駅までの距離	2.86	2.98	2.87	2.86	2.80
9 駅の待合施設	3.04	2.84	2.98	3.12	3.28
10 駅のバリアフリー(エレベータ、スロープ等の設備面)	3.05	3.15	3.03	3.01	3.07
11 駅のバリアフリー(音声案内、介助等のサポート面)	3.05	3.27	3.02	3.00	3.04
12 駅での情報提供(行き先、遅延案内等)	3.08	3.29	3.05	3.03	3.11
13 駅周辺の駐車場や駐輪場	2.91	3.14	2.84	2.81	3.12
14 運賃	2.77	2.97	2.72	2.67	2.93
15 キャッシュレス決済の導入状況	3.10	3.48	3.16	2.98	2.71
16 乗務員や駅員の対応	3.38	3.57	3.37	3.33	3.35
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

2.3 公共交通の利用満足度【質問5】

※数値の算出方法：満足=5～不満=1 と点数化し、それぞれの回答者数に点数を乗じた総和を回答者数で除したもの
(点数が高いほど、満足度が高い)

$$\text{点数} = [(5(\text{満足})\text{選択者数}) \times 5 + (4(\text{やや満足})\text{選択者数}) \times 4 + (3(\text{普通})\text{選択者数}) \times 3 \\ + (2(\text{やや不満})\text{選択者数}) \times 2 + (1(\text{不満})\text{選択者数}) \times 1] \div (\text{総回答者数})$$

2.3 公共交通の利用満足度【質問5】

(2) 路線バスの満足度

「乗務員の対応」の満足度が最も高くなっていますが、それ以外の項目はすべて3点未満となっており、特に「運行本数、運行間隔」「バス停の待合環境」「バス停での情報提供」「自転車等を停めるバス停周辺スペース」について、満足度が低くなっています。

地域差はそれほど見られませんが、紀中では「待ち時間」「バス停での情報提供」「運行本数、運行間隔」が他地域に比べてやや低くなっています。年齢別にみると、全年代で満足度の低い「バス停での情報提供」「バス停の待合環境」「自転車等を停めるバス停周辺スペース」については、高齢ほど満足度が低い傾向となっています。

《路線バスに関する満足度（地域別）》

項目	全県	紀北	紀中	紀南	
1 運行ルート	2.69	2.64	2.63	2.83	
2 自宅からバス停までの距離	2.85	2.79	2.67	3.07	
3 運行時間帯(始発・最終)	2.55	2.50	2.49	2.69	
4 運行本数、運行間隔	2.31	2.27	2.21	2.49	
5 運行の定時性(時刻表通りの運行)	2.96	2.88	2.88	3.18	
6 列車への乗り継ぎ	2.61	2.59	2.54	2.68	
7 待ち時間	2.53	2.53	2.35	2.64	
8 バス停の待合環境(屋根やベンチ)	2.31	2.31	2.24	2.37	
9 バス停での情報提供(行き先、遅延案内等)	2.47	2.45	2.32	2.61	
10 自転車等を停めるバス停周辺スペース	2.30	2.26	2.24	2.40	
11 乗り降りのしやすさ	2.99	2.95	2.83	3.14	
12 運賃	2.76	2.72	2.68	2.90	
13 キャッシュレス決済の導入状況	2.79	2.87	2.76	2.64	
14 乗務員の対応	3.21	3.21	3.10	3.27	
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

《路線バスに関する満足度（年齢別）》

項目	全年代	10歳代	20-64歳	65-74歳	75歳以上
1 運行ルート	2.69	2.81	2.71	2.64	2.66
2 自宅からバス停までの距離	2.85	2.95	2.82	2.98	2.80
3 運行時間帯(始発・最終)	2.55	2.63	2.50	2.59	2.62
4 運行本数、運行間隔	2.31	2.32	2.30	2.40	2.29
5 運行の定時性(時刻表通りの運行)	2.96	2.83	2.87	2.99	3.21
6 列車への乗り継ぎ	2.61	2.71	2.63	2.60	2.53
7 待ち時間	2.53	2.42	2.54	2.53	2.57
8 バス停の待合環境(屋根やベンチ)	2.31	2.35	2.34	2.29	2.25
9 バス停での情報提供(行き先、遅延案内等)	2.47	2.55	2.48	2.43	2.46
10 自転車等を停めるバス停周辺スペース	2.30	2.32	2.31	2.27	2.24
11 乗り降りのしやすさ	2.99	3.06	2.93	3.03	3.06
12 運賃	2.76	2.85	2.66	2.80	2.94
13 キャッシュレス決済の導入状況	2.79	3.17	2.84	2.69	2.59
14 乗務員の対応	3.21	3.32	3.09	3.24	3.41
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

(3) コミュニティバス・デマンド交通について

「乗務員の対応」の満足度が最も高くなっていますが、それ以外の項目はすべて3点未満となっており、特に「運行本数、運行間隔」「停留所の待合環境」「自転車等を停める停留所周辺スペース」について、満足度が低くなっています。

地域差はそれほど見られませんが、紀中では「自宅から停留所までの距離」や「待ち時間」「キャッシュレス決済の導入状況」「予約のしやすさ(デマンド交通)」が他地域に比べてやや低くなっています。年齢別にみると、全年代で満足度の低い「運行本数、運行間隔」「停留所での情報提供」「停留所の待合環境」「自転車等を停める停留所周辺スペース」については、高齢ほど満足度が低い傾向となっています。

《コミュニティバス・デマンド交通に関する満足度（地域別）》

項目	全県	紀北	紀中	紀南	
1 運行ルート	2.64	2.53	2.51	2.88	
2 自宅から停留所までの距離	2.84	2.76	2.45	3.16	
3 運行時間帯(始発・最終)	2.58	2.49	2.41	2.83	
4 運行曜日	2.67	2.57	2.46	2.94	
5 運行本数、運行間隔	2.40	2.33	2.34	2.56	
6 運行の定時性(時刻表通りの運行)	2.89	2.81	2.73	3.10	
7 列車への乗り継ぎ	2.54	2.55	2.54	2.54	
8 待ち時間	2.61	2.57	2.49	2.73	
9 停留所の待合環境(屋根やベンチ)	2.33	2.26	2.36	2.43	
10 停留所での情報提供(行き先、遅延案内等)	2.51	2.46	2.38	2.65	
11 自転車等を停める停留所周辺スペース	2.36	2.32	2.36	2.45	
12 乗り降りのしやすさ	2.92	2.81	2.79	3.15	
13 運賃	2.98	2.96	2.80	3.10	
14 キャッシュレス決済の導入状況	2.59	2.61	2.48	2.62	
15 乗務員の対応	3.10	3.08	2.91	3.22	
16 予約のしやすさ(デマンド交通)	2.65	2.67	2.44	2.73	
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

《コミュニティバス・デマンド交通に関する満足度（年齢別）》

項目	全年代	10歳代	20-64歳	65-74歳	75歳以上
1 運行ルート	2.64	2.87	2.60	2.67	2.66
2 自宅から停留所までの距離	2.84	2.84	2.74	3.05	2.90
3 運行時間帯(始発・最終)	2.58	2.71	2.50	2.61	2.74
4 運行曜日	2.67	2.77	2.59	2.69	2.82
5 運行本数、運行間隔	2.40	2.58	2.43	2.38	2.33
6 運行の定時性(時刻表通りの運行)	2.89	3.06	2.75	2.87	3.20
7 列車への乗り継ぎ	2.54	2.65	2.54	2.54	2.54
8 待ち時間	2.61	2.68	2.58	2.63	2.65
9 停留所の待合環境(屋根やベンチ)	2.33	2.60	2.38	2.30	2.19
10 停留所での情報提供(行き先、遅延案内等)	2.51	2.63	2.49	2.59	2.47
11 自転車等を停める停留所周辺スペース	2.36	2.60	2.40	2.32	2.26
12 乗り降りのしやすさ	2.92	3.00	2.80	3.00	3.12
13 運賃	2.98	2.93	2.87	3.08	3.18
14 キャッシュレス決済の導入状況	2.59	2.83	2.64	2.45	2.52
15 乗務員の対応	3.10	3.03	2.94	3.12	3.45
16 予約のしやすさ(デマンド交通)	2.65	2.69	2.63	2.60	2.75
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

2.3 公共交通の利用満足度【質問5】

(4) タクシーについて

「運行の安全性」「車内の快適性・清潔性」の満足度が最も高く、これに次いで、「乗務員の対応」「速達性(目的地までの速さ)」が高くなっています。一方、「タクシーの拾いやすさ」「運賃」について、満足度が低くなっています。

地域別にみると、全般的に、紀南、紀中、紀北の順に満足度が高くなっています。年齢別にみると、全般的に、高齢ほど満足度が高い傾向となっています。

《タクシーに関する満足度（地域別）》

項目	全県	紀北	紀中	紀南	
1 運行の安全性(安全運転)	3.52	3.40	3.57	3.69	
2 車内の快適性・清潔性	3.52	3.41	3.57	3.66	
3 乗務員の対応	3.47	3.34	3.55	3.64	
4 速達性(目的地までの速さ)	3.45	3.37	3.52	3.54	
5 タクシーの拾いやすさ	2.61	2.54	2.45	2.86	
6 予約のしやすさ	3.20	3.16	3.14	3.32	
7 キャッシュレス決済の導入状況	2.82	2.81	2.73	2.90	
8 運賃	2.61	2.52	2.71	2.71	
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

《タクシーに関する満足度（年齢別）》

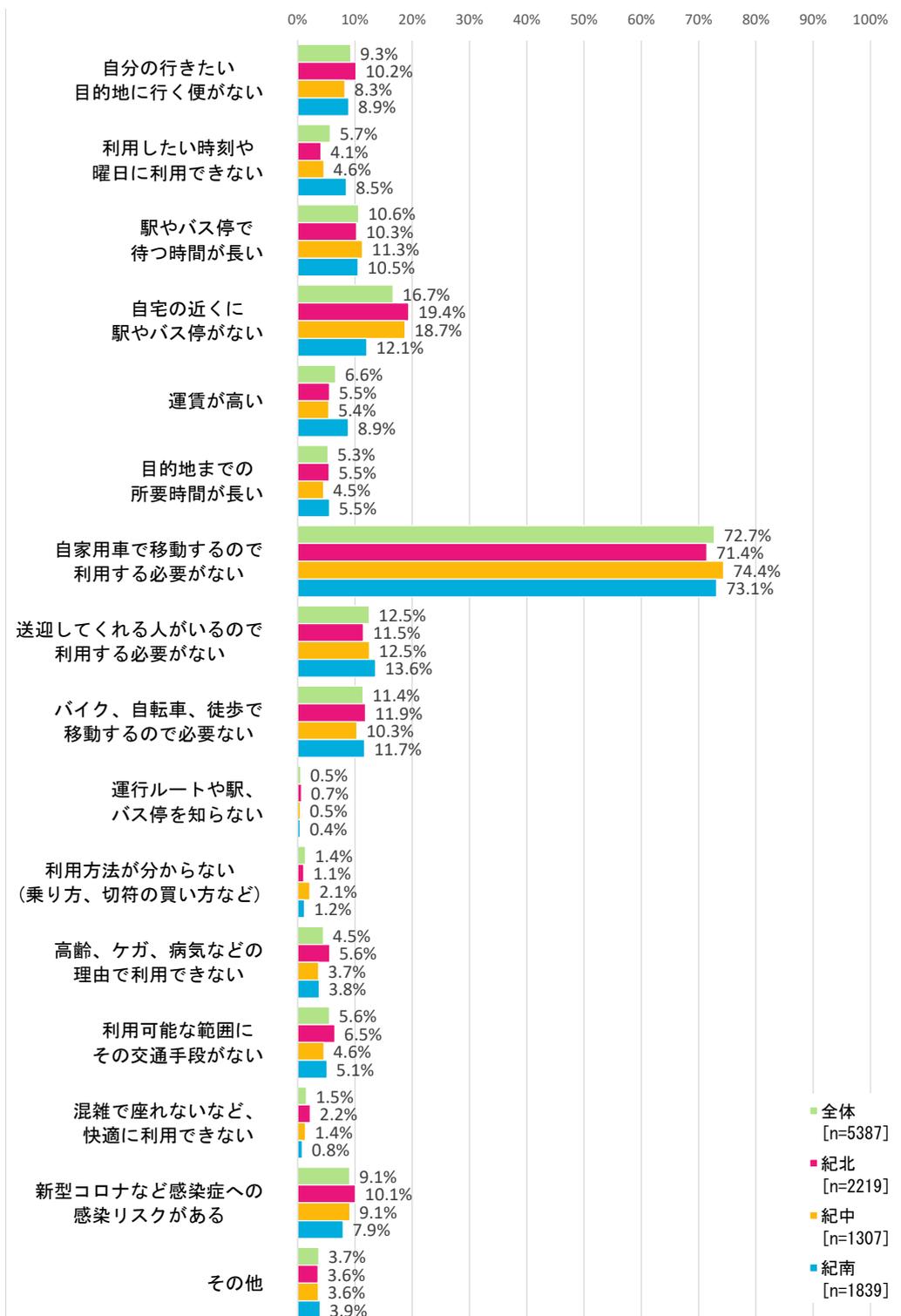
項目	全年代	10歳代	20-64歳	65-74歳	75歳以上
1 運行の安全性(安全運転)	3.52	3.20	3.19	3.60	3.97
2 車内の快適性・清潔性	3.52	3.17	3.25	3.63	3.87
3 乗務員の対応	3.47	3.20	3.17	3.54	3.90
4 速達性(目的地までの速さ)	3.45	3.20	3.20	3.56	3.79
5 タクシーの拾いやすさ	2.61	2.47	2.49	2.64	2.81
6 予約のしやすさ	3.20	2.83	2.90	3.30	3.64
7 キャッシュレス決済の導入状況	2.82	2.93	2.88	2.74	2.74
8 運賃	2.61	2.50	2.46	2.59	2.89
	2.50未満	2.50～2.75	2.75～3.25	3.25～3.50	3.50以上

2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】

(1) 鉄道を利用しない理由

鉄道を利用しない理由については、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約73%で最も高く、これに次いで「自宅の近くに駅やバス停がない」が約17%となっています。

【地域別】

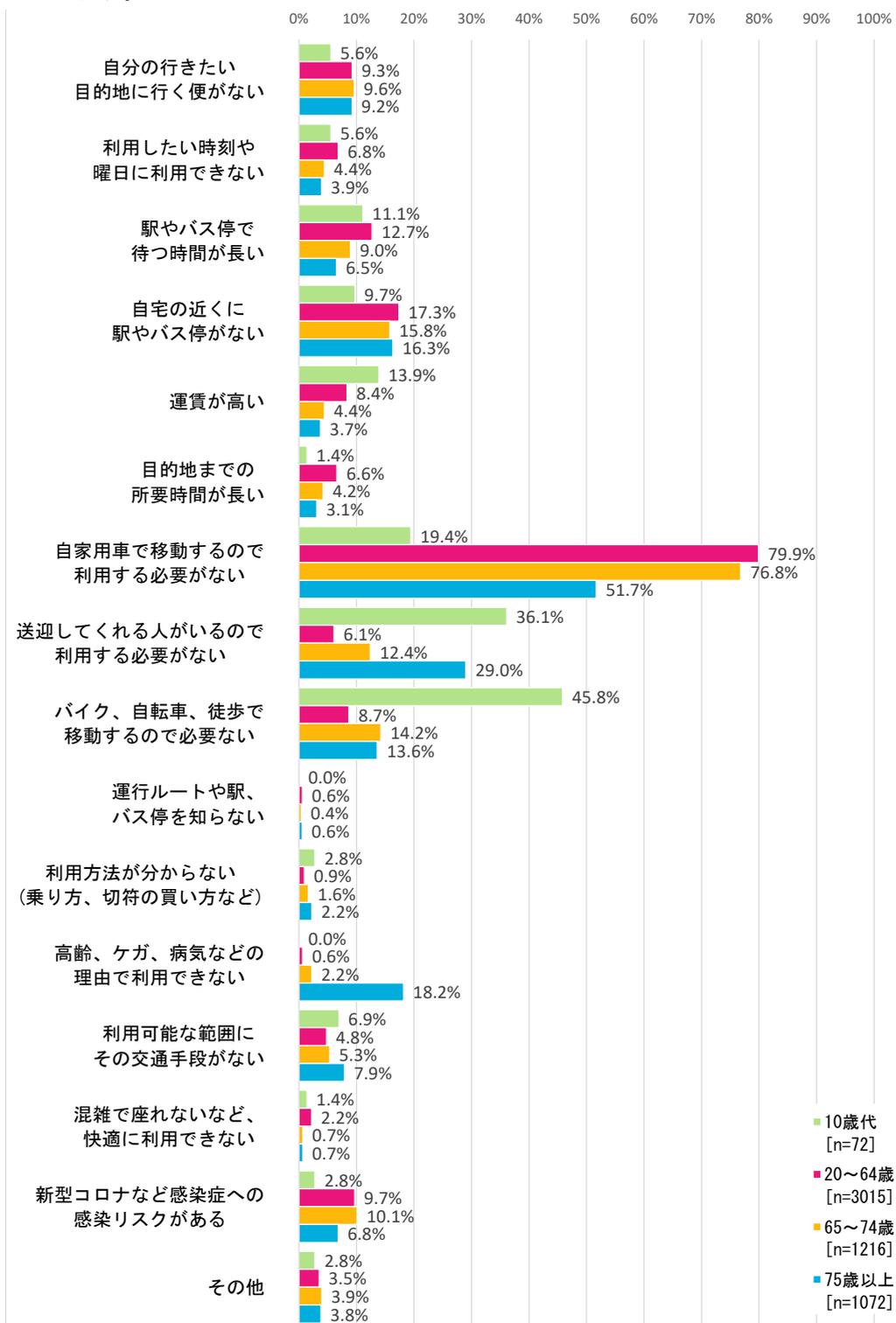


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】

年齢別にみると、10歳代は、「バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない」が約46%で最も多く、これに次いで「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約36%となっています。20～64歳、65～74歳では「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約77～80%を占めています。75歳以上では、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約52%とやや下がりますが、「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約29%となっており、自家用車への依存が高い状況となっています。

【年齢別】

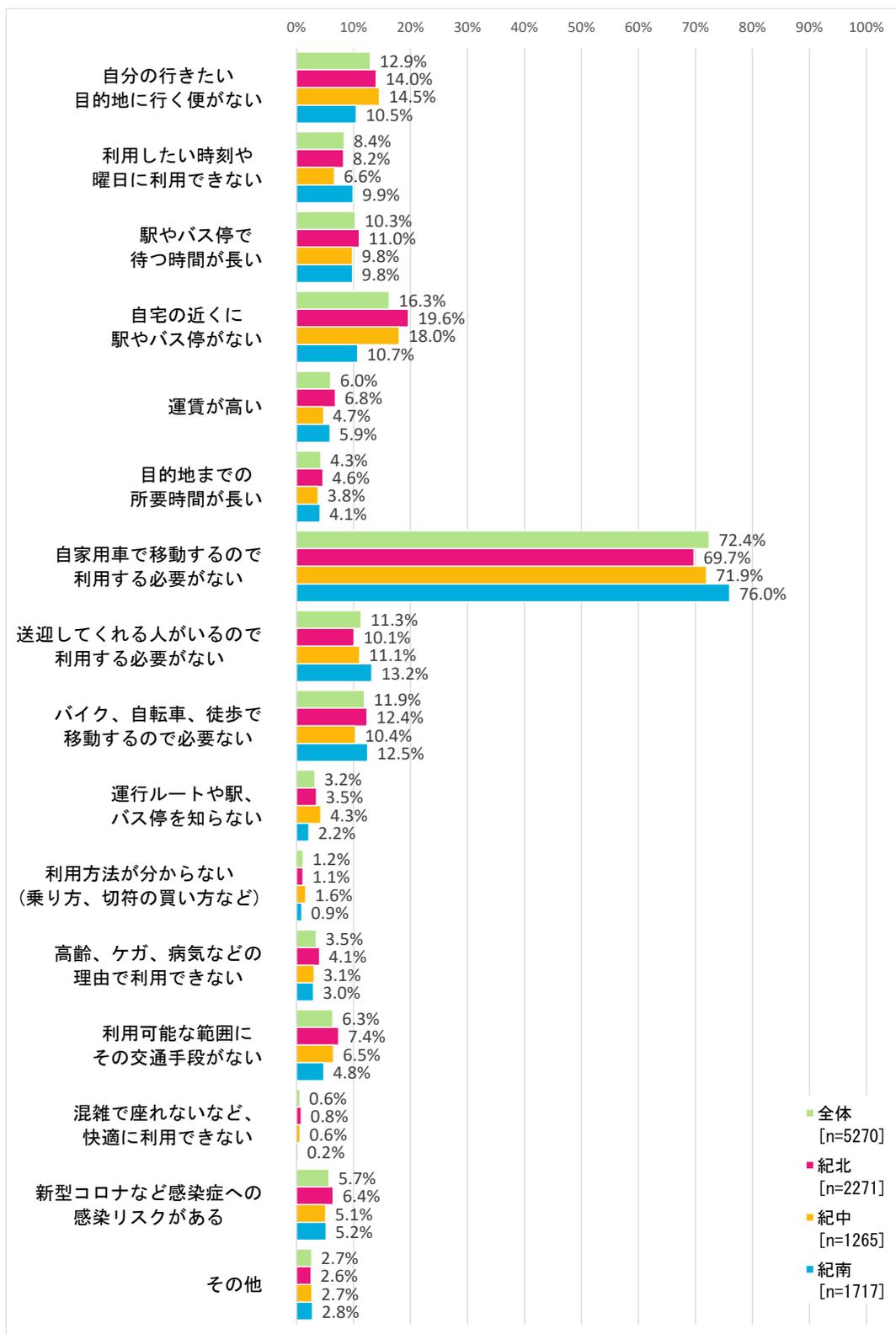


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

(2) 路線バスを利用しない理由

路線バスを利用しない理由については、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約72%で最も高く、南部地域ほど割合が高くなっています。これに次いで「自宅の近くに駅やバス停がない」が約16%となっています。

【地域別】

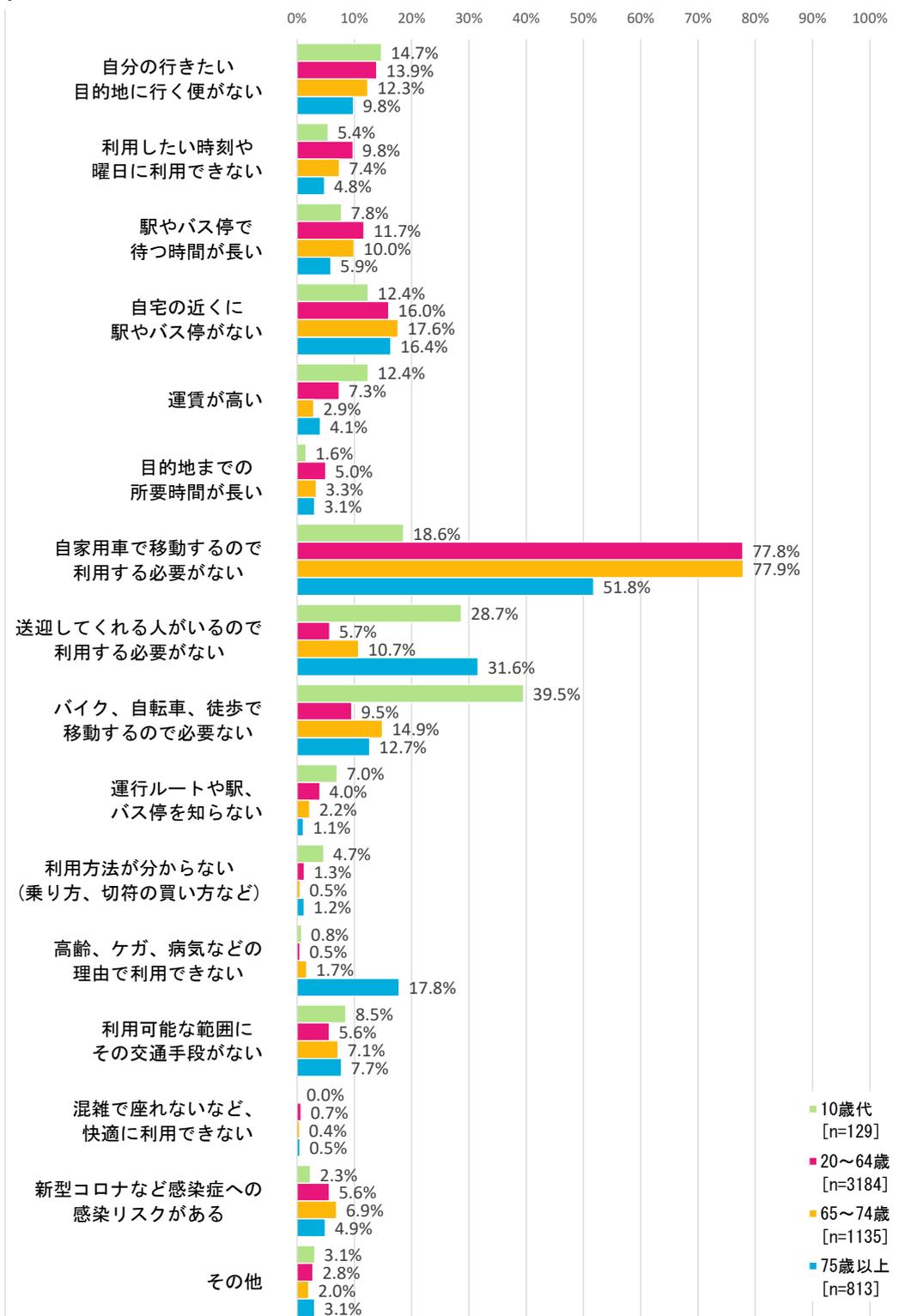


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】

年齢別にみると、10歳代は、「バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない」が約40%で最も多く、これに次いで「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約29%となっています。20～64歳、65～74歳では「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約78%を占めています。75歳以上では、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約52%とやや下がりますが、「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約32%となっており、鉄道と同様の傾向となっています。

【年齢別】

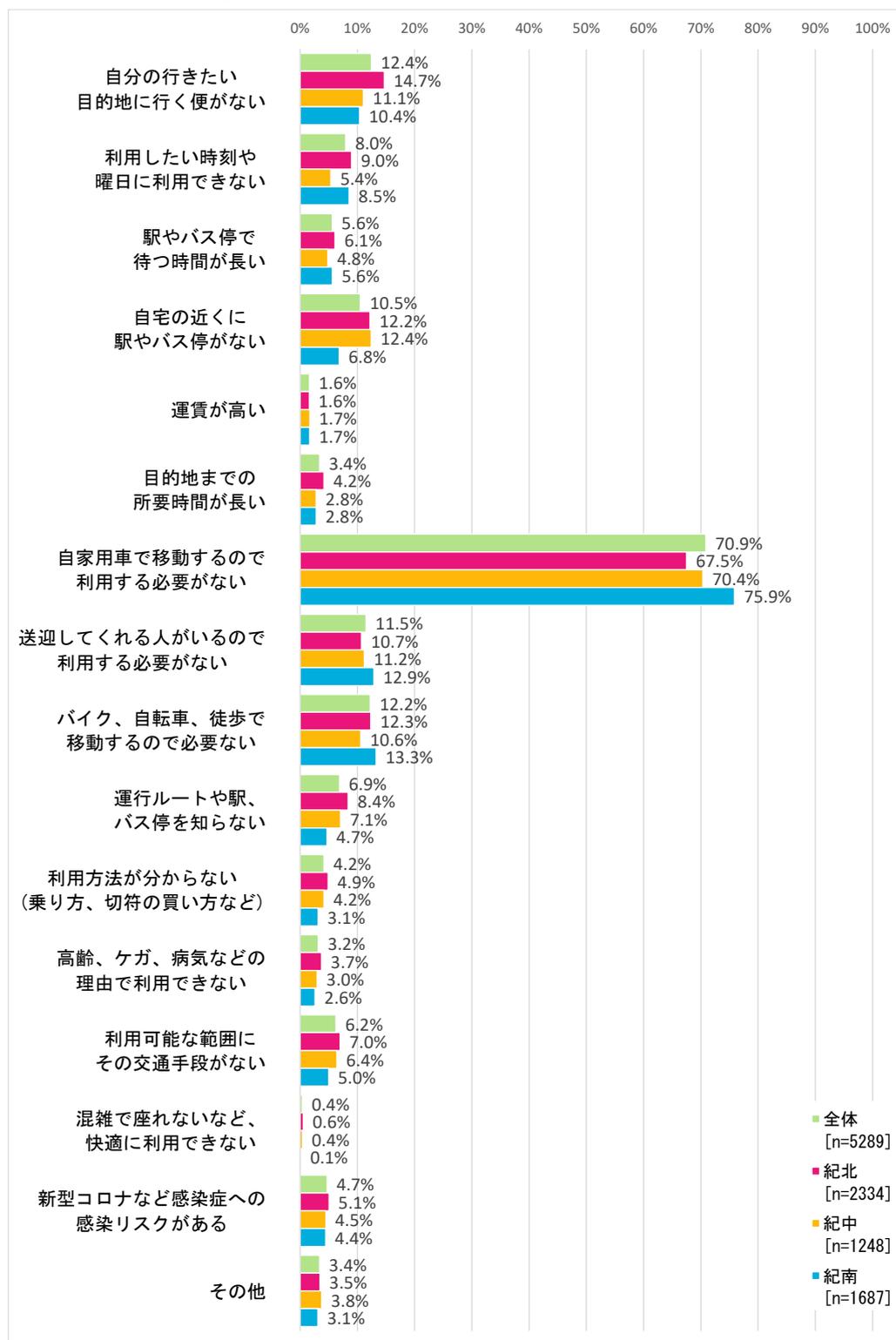


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

(3) コミュニティバス・デマンド交通を利用しない理由

コミュニティバス・デマンド交通を利用しない理由については、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約71%で最も高く、南部地域ほど割合が高くなっています。これに次いで「自分の行きたい目的地に行く便がない」「バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない」「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約12%となっています。

【地域別】

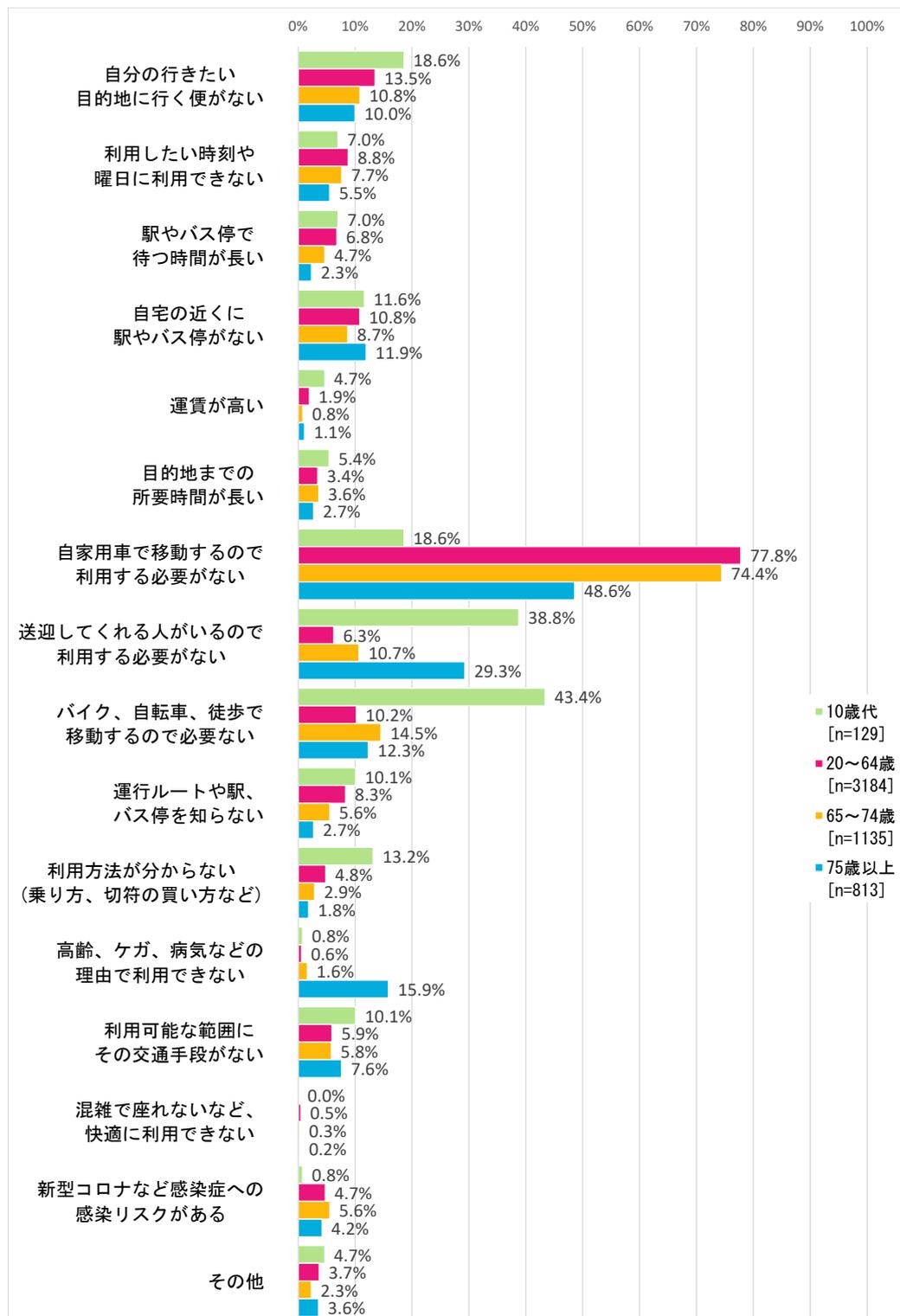


※ 複数回答可
 ※ 不明・未回答を除く割合

2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】

年齢別にみると、10歳代は、「バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない」が約43%で最も多く、これに次いで「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約39%となっています。また10歳代では、「利用方法が分からない」が約13%で他年代に比べて高くなっています。20-64歳、65-74歳では「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約74~78%を占めています。75歳以上では、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約49%とやや下がりますが、「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約29%となっています。

【年齢別】

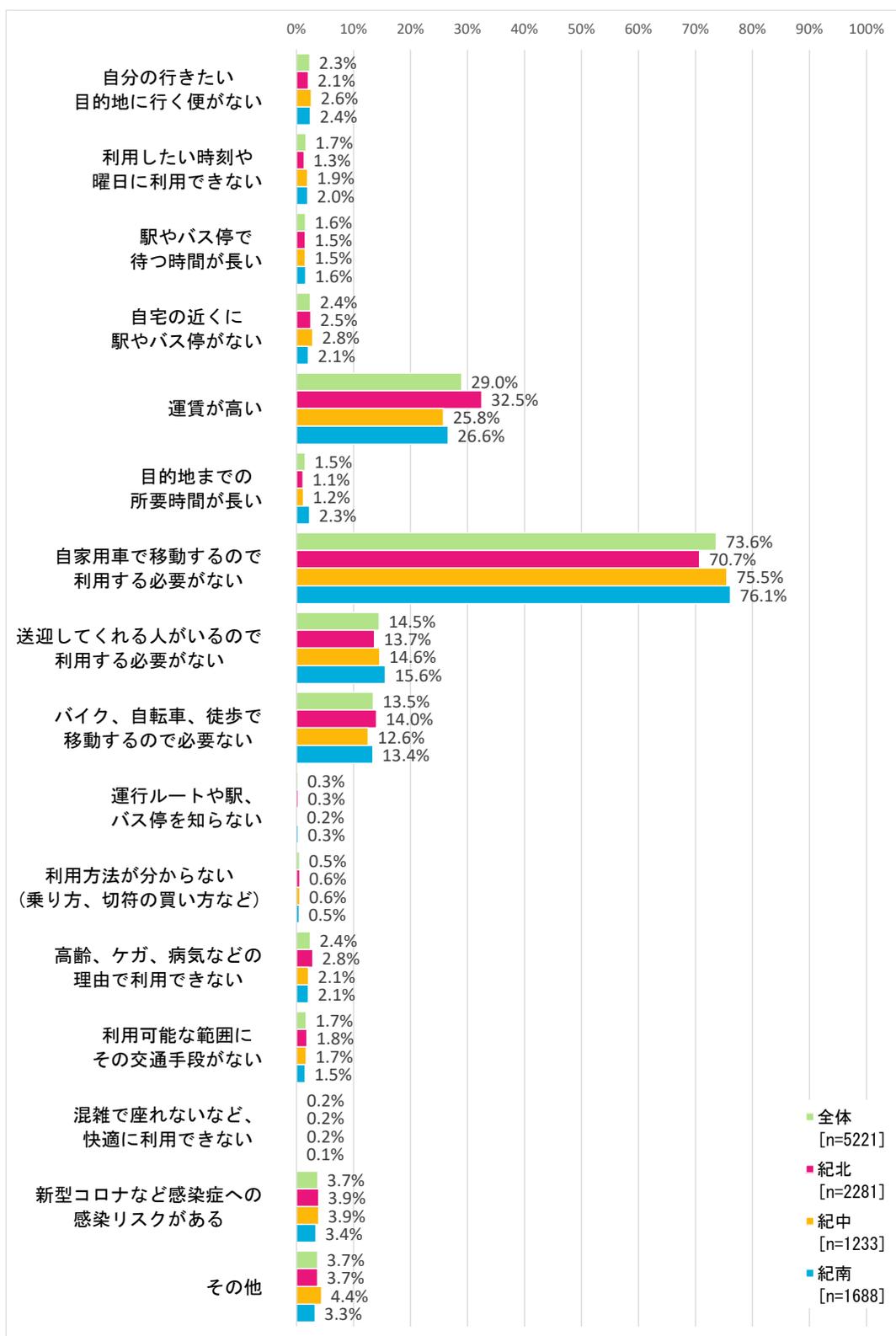


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

(4) タクシーを利用しない理由

タクシーを利用しない理由については、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約74%で最も高く、これに次いで「運賃が高い」が約29%となっています。

【地域別】

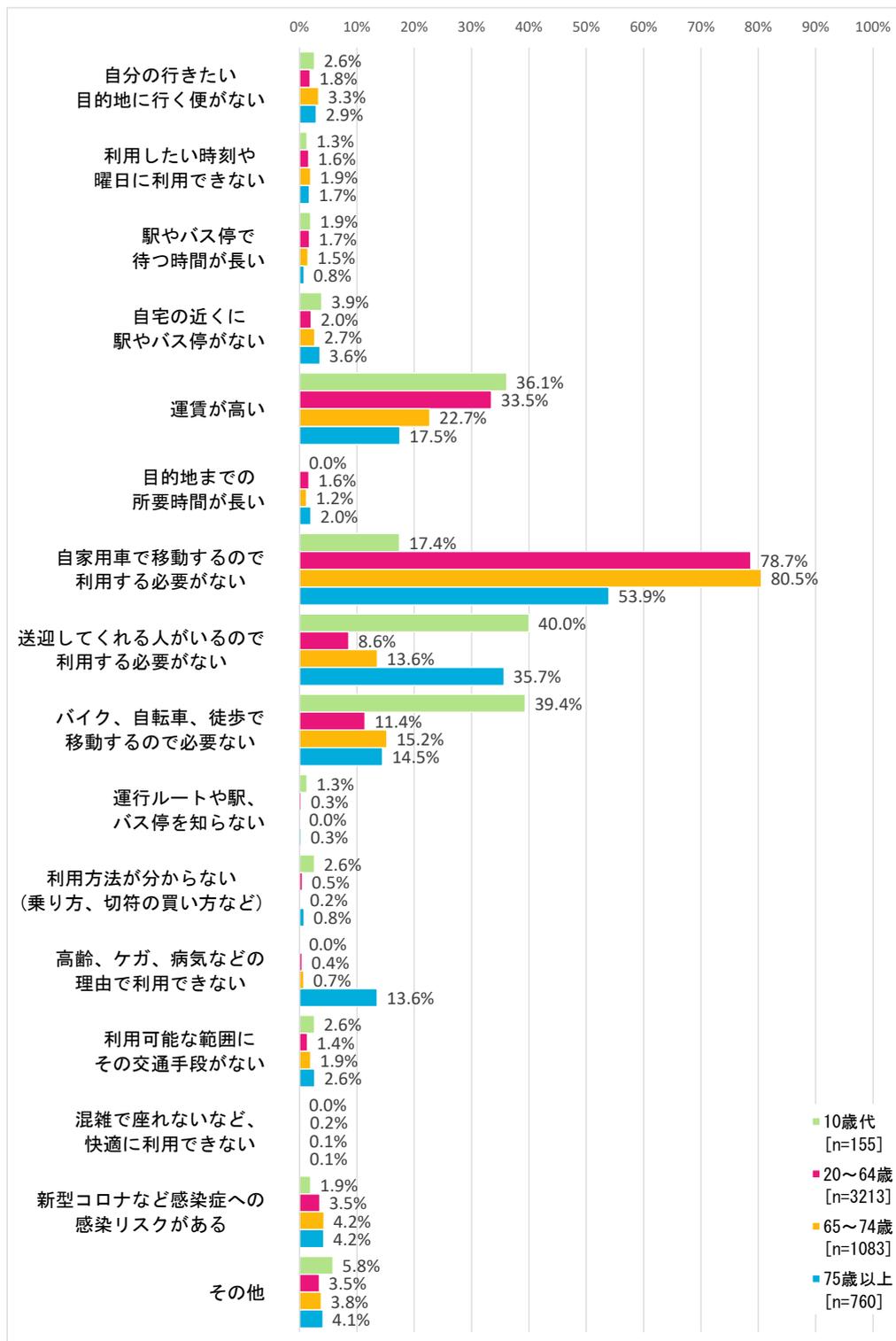


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.4 公共交通を利用しない理由【質問6】

年齢別にみると、10歳代は、「バイク、自転車、徒歩で移動するので必要ない」「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約39～40%で最も高くなっています。20～64歳、65～74歳では「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約79～81%を占めています。75歳以上では、「自家用車で移動するので利用する必要がない」が約54%とやや下がりますが、「送迎してくれる人がいるので利用する必要がない」が約36%となっています。また、若い世代ほど「運賃が高い」と答えた割合が高くなっています。

【年齢別】



※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

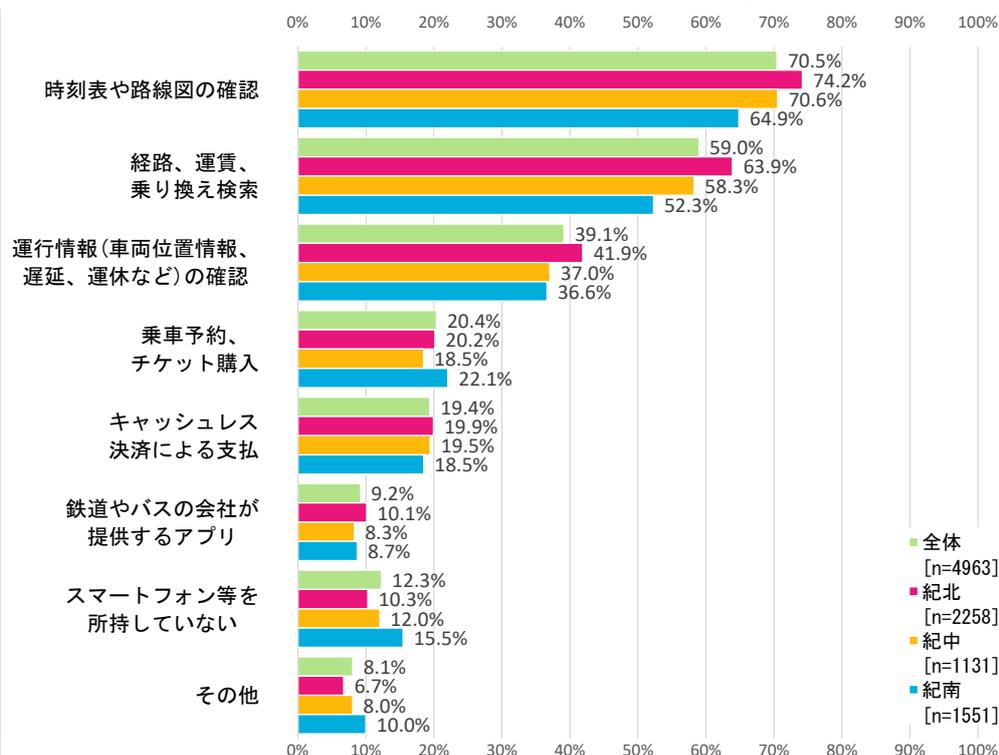
2.5 スマートフォン等を使って利用したことがある公共交通サービス【質問7】

2.5 スマートフォン等を使って利用したことがある公共交通サービス【質問7】

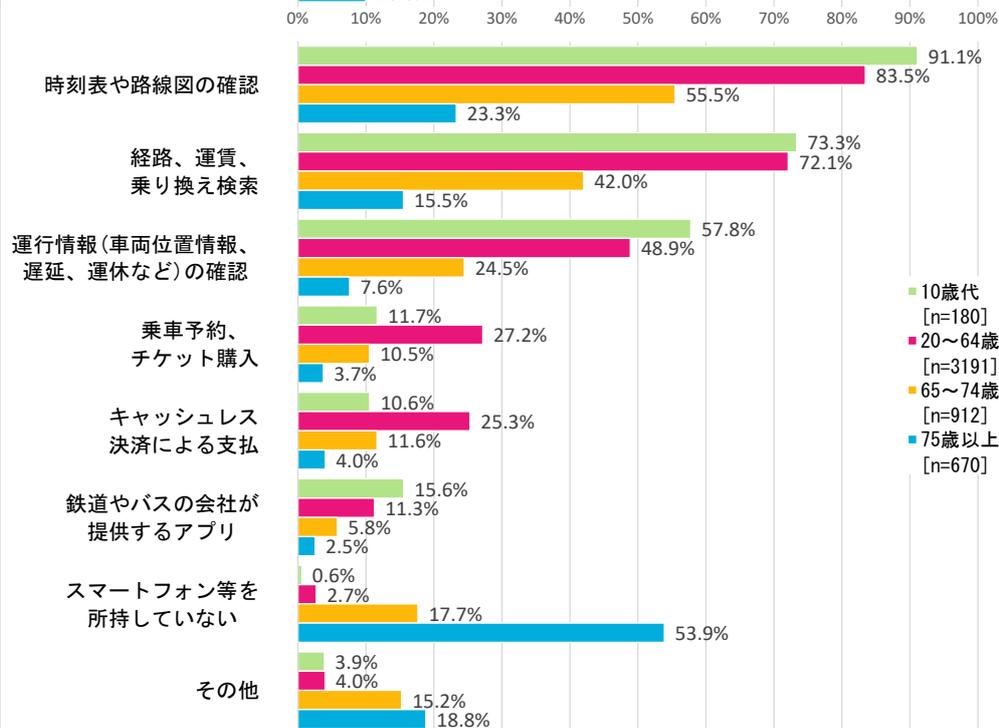
「時刻表や路線図の確認」が約71%で最も多く、これに次いで「経路、運賃、乗り換え検索」が約59%となっています。この2項目のみが半数を超えており、「乗車予約、チケット購入」、「キャッシュレス決済による支払い」は約2割にとどまっています。スマートフォンの所有状況としては、北部に比べて、中部、南部はやや低くなっており、概ね北部のほうが高い割合となっています。

年齢別にみると、高齢になるほどスマートフォン所持率が低く、特に75歳以上は半数以上がスマートフォンを所持しておらず、利用するサービスの割合は低くなっています。

【地域別】



【年齢別】



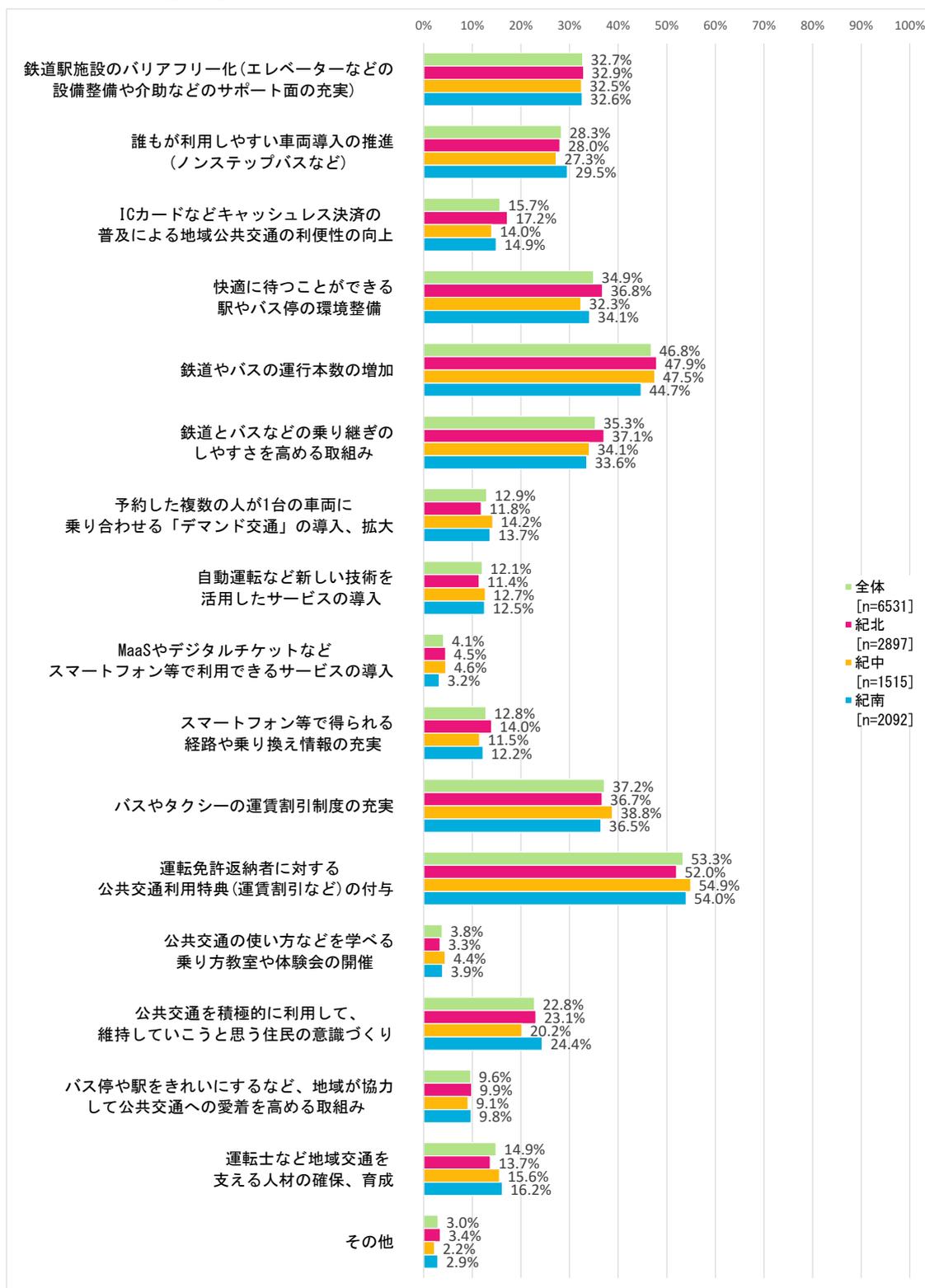
※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.6 今後、地域公共交通を維持するために必要だと思う取組み【質問8】

2.6 今後、地域公共交通を維持するために必要だと思う取組み【質問8】

「運転免許返納者に対する公共交通利用特典の付与」が約53%で最も多く、これに次いで、「鉄道やバスの運行本数の増加」、「バスやタクシーの運賃割引制度の充実」、「鉄道やバスなどの乗り継ぎのしやすさを高める取組み」、「快適に待つことができる駅やバス停の環境整備」となっており、公共交通のサービス向上と運賃施策の必要性を求める声が多くなっています。

【地域別】

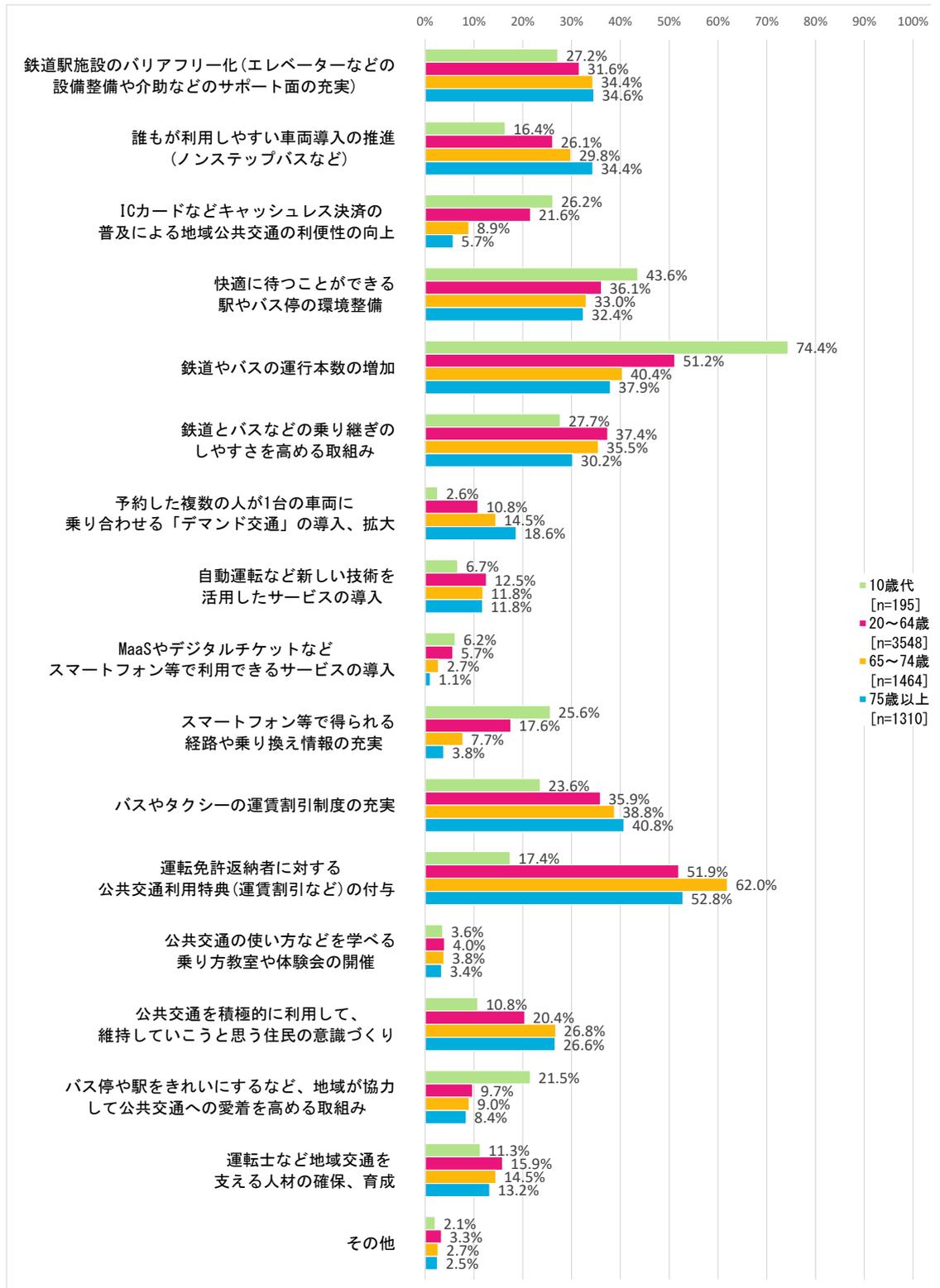


※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合

2.6 今後、地域公共交通を維持するために必要だと思う取組み【質問8】

年齢別にみると、10歳代では「鉄道やバスの運行本数の増加」や「快適に待つことができる駅やバス停の環境整備」を求める声が多いのに対し、高齢になるほど「バスやタクシーの運賃割引制度の充実」「運転免許返納者に対する公共交通利用特典の付与」「鉄道駅施設のバリアフリー化」「誰もが利用しやすい車両導入の推進」を求める声が多く、若い世代はサービス向上、高齢者は運賃施策や施設・車両のバリアフリー化を求める傾向が強くなっています。

【年齢別】



※ 複数回答可
※ 不明・未回答を除く割合